

小野市
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査結果報告書

平成31年3月

小野市

目次

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2

II 調査結果・就学前児童

1. お子さんご家族の状況	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境	5
3. 保護者の就労状況・就労希望	8
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況、利用希望	16
5. 子どもが病気やケガの際の対応	25
6. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	31
7. 不定期の教育・保育事業の利用状況	38
8. 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況	42
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望	44
10. 保護者の育児休業取得状況	51
11. 地域子育て支援拠点事業の利用状況、利用希望	57
12. 子育て全般	59
13. 自由記述	65

III 調査結果・小学生児童

1. お子さんご家族の状況	75
2. 子どもの育ちをめぐる環境	77
3. 保護者の就労状況・就労希望	81
4. 平日の放課後の過ごし方、放課後児童クラブの利用状況	89
5. 放課後児童クラブの利用希望	92
6. 子どもが病気やケガの際の対応	100
7. 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況	106
8. 子育て全般	108
9. 自由記述	113

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

就学前児童及び小学生児童を養育されている市内全ての保護者を対象に、子ども・子育てに関する支援制度の利用状況や利用希望（ニーズ）を調査し、「小野市第2期子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

種類	項目
就学前児童	1. お子さんご家族の状況 2. 子どもの育ちをめぐる環境 3. 保護者の就労状況・就労希望 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望 5. 子どもが病気やケガの際の対応 6. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望 7. 不定期の教育・保育事業の利用状況 8. 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望 10. 保護者の育児休業取得状況 11. 地域子育て支援拠点事業の利用状況・利用希望 12. 子育て全般 13. 自由記述
小学生児童	1. お子さんご家族の状況 2. 子どもの育ちをめぐる環境 3. 保護者の就労状況・就労希望 4. 平日の放課後の過ごし方、放課後児童クラブの利用状況 5. 放課後児童クラブの利用希望 6. 子どもが病気やケガの際の対応 7. 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況 8. 子育て全般 9. 自由記述

I 調査の概要

3. 調査設計

(1) 調査対象

種類	対象
就学前児童	小野市在住の就学前児童の保護者 1,886 世帯
小学生児童	小野市在住の小学生児童の保護者 1,500 世帯 ※就学前児童がいる家庭は原則対象外 (一部例外あり)

(2) 調査期間

種類	期間
就学前児童	平成 30 年 12 月 1 日 (土) ~ 平成 30 年 12 月 17 日 (月)
小学生児童	

(3) 調査方法

種類	方法
就学前児童	郵送配布・回収
小学生児童	

4. 回収結果

種類	全児童数	配布数	回収数		回収率	有効回収数
				集計不可分		
就学前児童	2,629 人	1,886 件	1,142 件	5 件	60.6%	1,137 件
小学生児童	2,896 人	1,500 件	894 件	6 件	59.6%	888 件

5. 報告書の見方

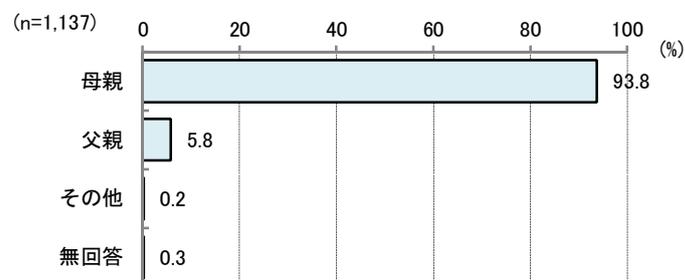
- ① 回答は、各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で示してある。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ② 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を上回る。
なお、本文中、表やグラフに次のような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。
・MA%(Multiple Answer)=回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
- ③ 回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している場合がある。
- ④ 回答者数 (n) が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになる。
- ⑤ 報告書において、設問の文章、グラフの回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

Ⅱ 調査結果・就学前児童

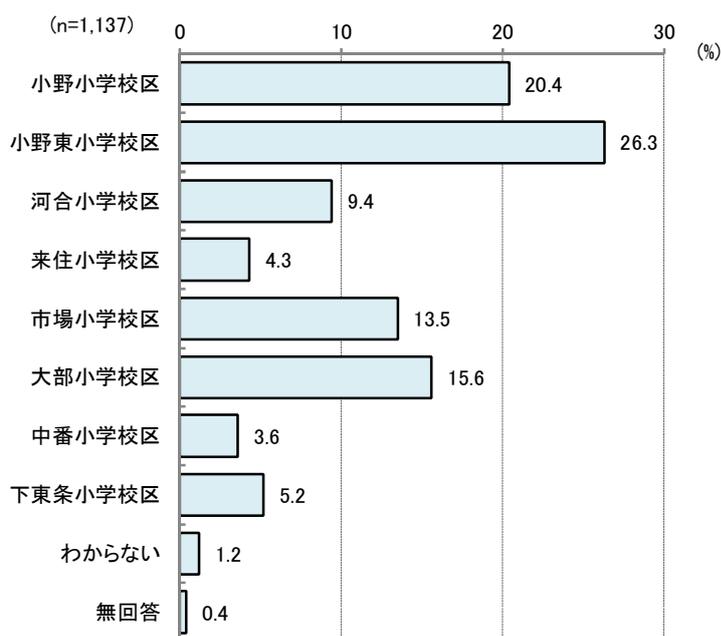
II 調査結果・就学前児童

1. お子さんご家族の状況

(1) 調査回答者(問1)

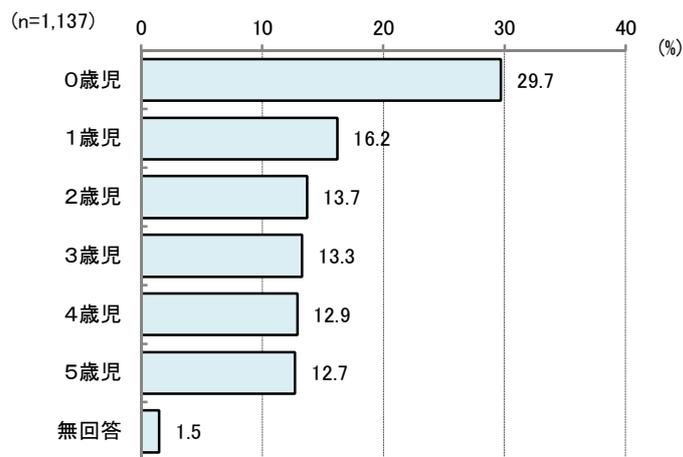


(2) 居住地区(問2:小学校区)



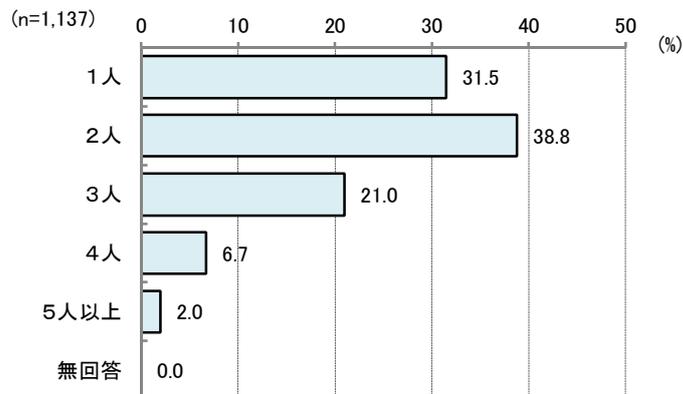
II 調査結果・就学前児童

(3) 子どもの年齢 (問3: 調査対象の子どもの年齢)

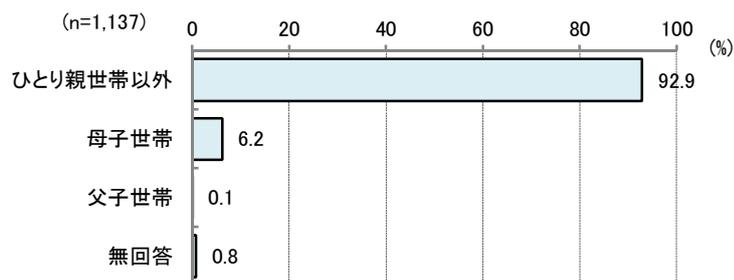


(注) 平成29年・30年生まれを0歳児としているため、0歳児の比率が高くなっている。

(4) 世帯の子ども数 (問4)



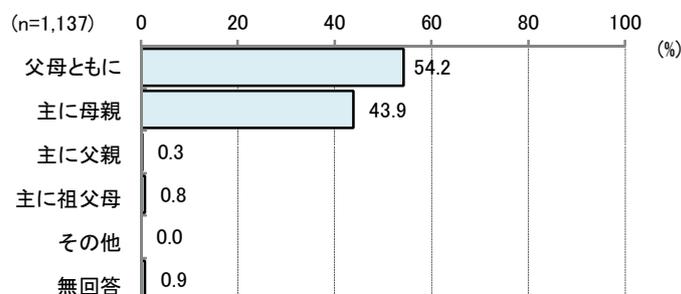
(5) 記入者の世帯構成 (問5)



2. 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てを主に行っている人

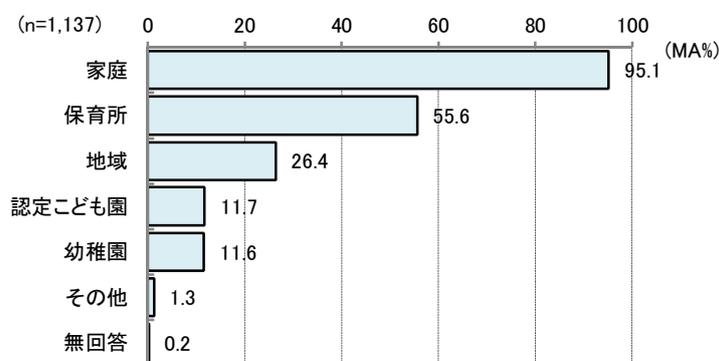
問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つ】



子育てを主に行っている人を見ると、「父母ともに」が 54.2% で最も高く、次いで「主に母親」(43.9%) の順となっている。

(2) 子育てに影響すると思う環境

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。
【〇はいくつでも】



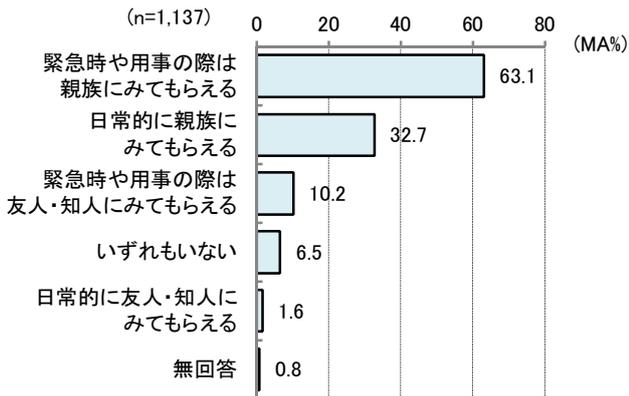
子育てに影響すると思う環境を見ると、「家庭」が 95.1% で最も高く、次いで「保育所」(55.6%)、「地域」(26.4%) の順となっている。

問7 その他の内容	件数
祖父母・実家	4
学校（小・中・高）	3
習い事	3
公共施設（公園や児童館等）	2
友だち	2
その他	2

(3) 子どもを預かってもらえる人の有無・親族への預けやすさ

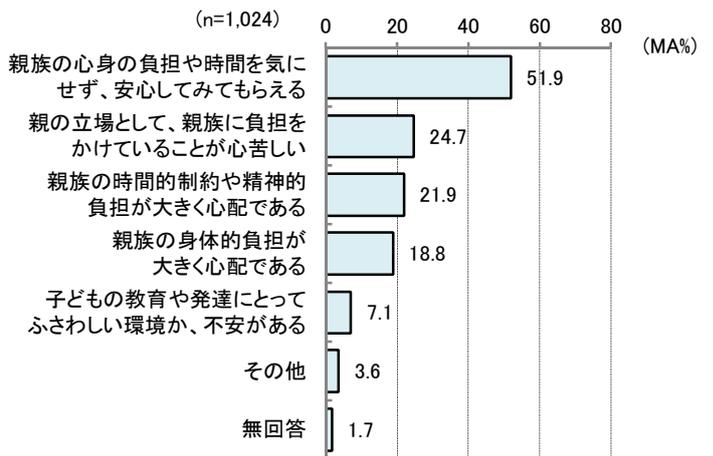
問8 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。【〇はいくつでも】
 問8-1 祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。
 【〇はいくつでも】

【子どもを預かってくれる人の有無】



【親族への預けやすさ】

※子どもを預かってくれる親族がいる人のみ



子どもを預かってもらえる人の有無をみると、「緊急時や用事の際は親族にみてもらえる」が63.1%で最も高く、次いで「日常的に親族にみてもらえる」(32.7%)、「緊急時や用事の際は友人・知人にみてもらえる」(10.2%)の順となっている。

親族への預けやすさをみると、「親族の心身の負担や時間を気にせず、安心してみてもらえる」が51.9%で最も高くなっている。次いで「親の立場として、親族に負担をかけていることが心苦しい」(24.7%)、「親族の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」(21.9%)の順となっている。

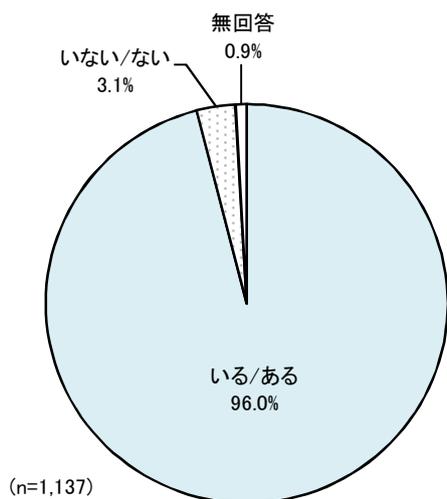
問8-1 その他の内容	件数
近くにいないので頼みにくい	9
調整しながらみてもらっている	5
気をつかってしまう	4
祖父母の仕事に影響がないか心配	2
大きな心配はないが、少しは心配がある	2
まだ見てもらったことがない	2
その他	8

(4) 子育てに関する相談先の有無、相談先

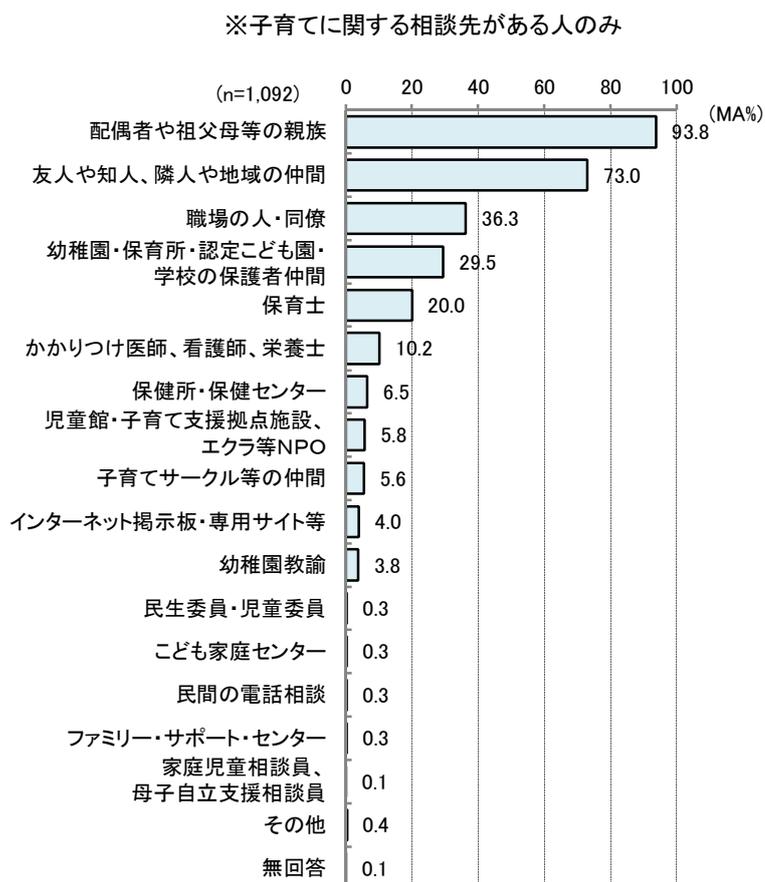
問9 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人、相談できる場所がありますか。【〇は1つ】

問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【〇はいくつでも】

【子育てに関する相談先の有無】



【相談先】



子育てに関する相談先の有無をみると、「いる／ある」が96.0%と大半を占めている。

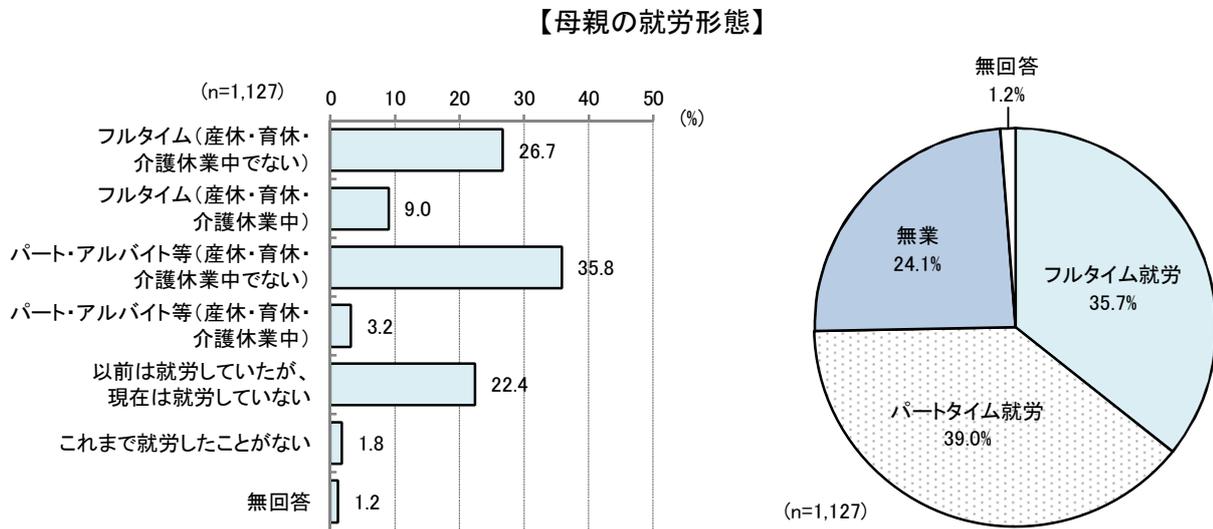
相談先についてみると、「配偶者や祖父母等の親族」が93.8%で最も高く、次いで「友人や知人、隣人や地域の仲間」(73.0%)、「職場の人・同僚」(36.3%)の順となっている。

問9-1 その他の内容	件数
発達支援センター	2
市役所の相談員	1
子育てグループ	1

3. 保護者の就労状況・就労希望

(1) 母親の就労状況・就労希望（父子世帯以外が回答）

問10 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。【○は1つ】



母親の就労形態をみると、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中でない）」が35.8%で最も高く、次いで「フルタイム（産休・育休・介護休業中でない）」(26.7%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(22.4%)の順となっている。

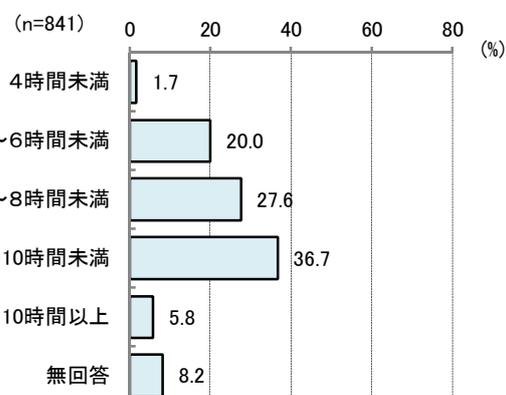
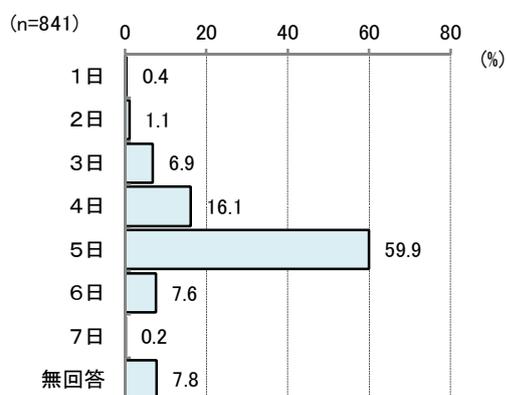
また、フルタイム就労とパートタイム就労を比較すると、パートタイム就労の割合の方が高く(39.0%)、無業については24.1%となっている。

問 10-1 母親の1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」と「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をご記入ください。

【母親の就労日数(週あたり)】

【母親の就労時間(1日あたり)】

※母親が就労している人のみ



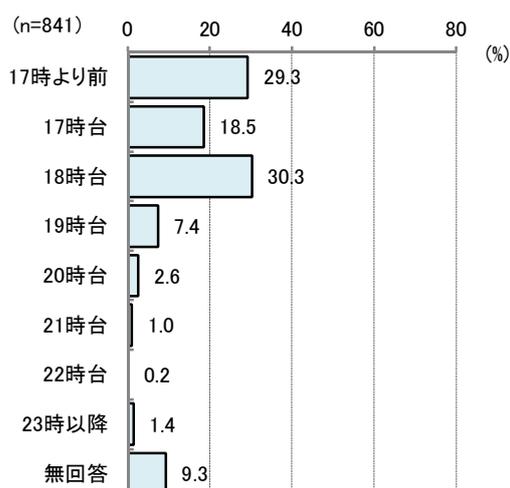
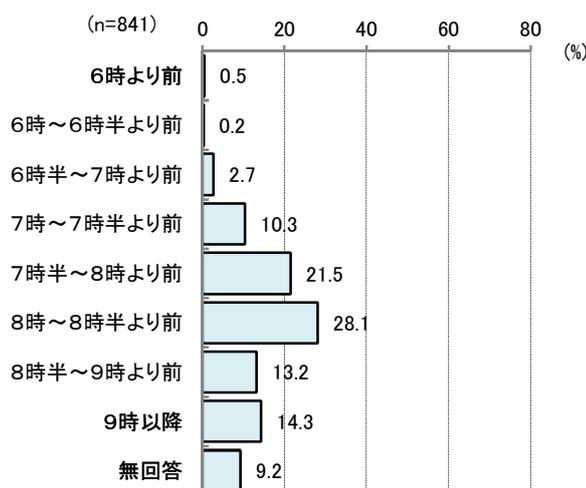
母親の就労日数（週あたり）をみると、「5日」が59.9%で最も高く、次いで「4日」（16.1%）の順となっている。

母親の就労時間（1日あたり）をみると、「8～10時間未満」が36.7%で最も高く、次いで「6～8時間未満」（27.6%）、「4～6時間未満」（20.0%）の順となっている。

【母親の家を出る時刻】

【母親の帰宅時刻】

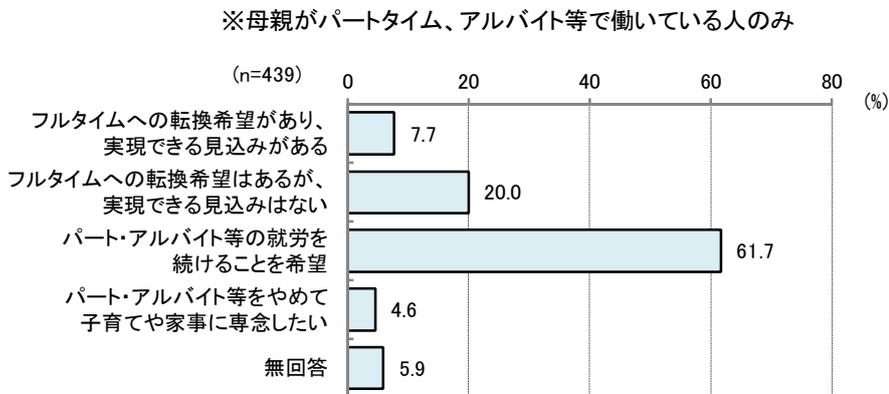
※母親が就労している人のみ



母親の家を出る時刻をみると、「8時～8時半より前」が28.1%で最も高く、次いで「7時半～8時より前」（21.5%）、「9時以降」（14.3%）の順となっている。

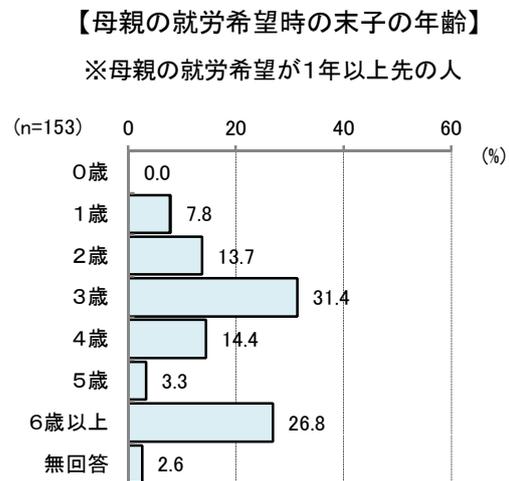
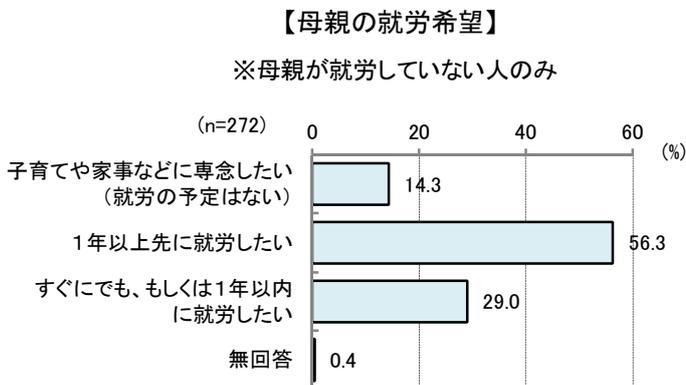
母親の帰宅時刻をみると、「18時台」が30.3%で最も高く、次いで「17時より前」（29.3%）の順となっている。

問 10-2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。
【〇は1つ】



母親のフルタイムへの転換希望をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が61.7%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(20.0%)の順となっている。

問 10-3 就労したいという希望はありますか。【〇は1つ】
また、該当する箇所に数字をご記入ください。

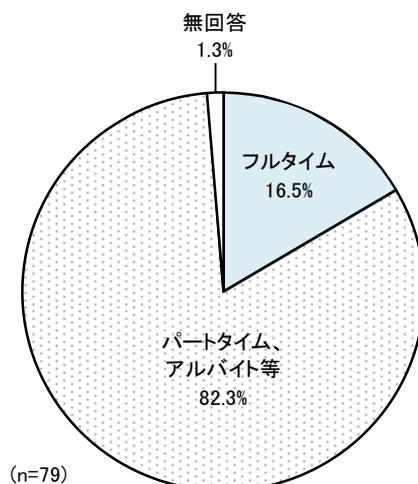


母親の就労希望をみると、「1年以上先に就労したい」が56.3%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.0%)、「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」(14.3%)の順となっている。

母親の就労希望時の末子の年齢をみると、「3歳」が31.4%で最も高く、次いで「6歳以上」(26.8%)、「4歳」(14.4%)の順となっている。

【母親の希望就労形態】

※母親の就労希望が1年以内の人のみ

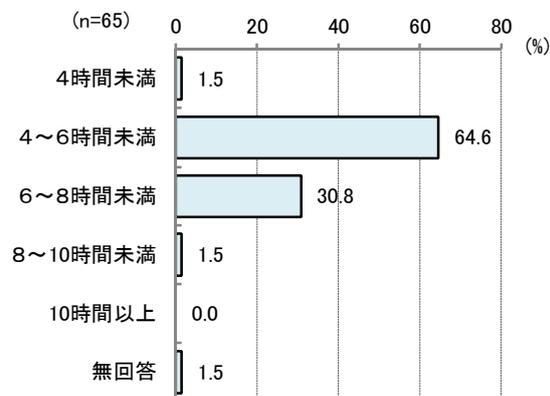
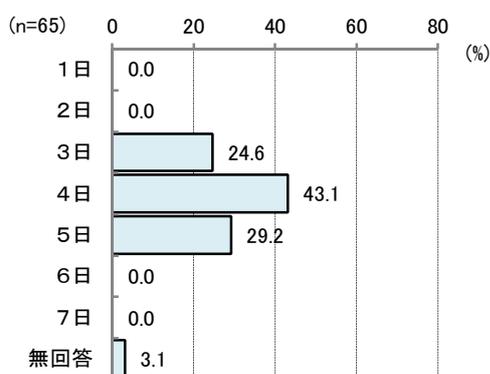


母親の希望する就労形態をみると、「パート・アルバイト等」が 82.3%と大半を占め、「フルタイム」は 16.5%となっている。

【母親の希望就労日数(週あたり)】

【母親の希望就労時間(1日あたり)】

※母親の就労希望が1年以内で、希望就労形態がパートタイム、アルバイトの人のみ



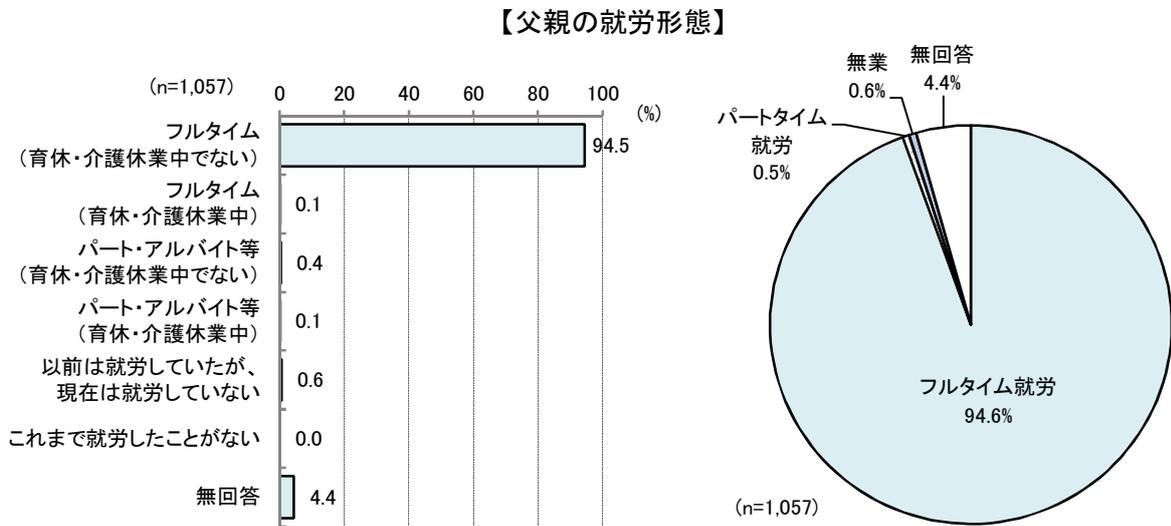
母親の就労希望日数(週あたり)をみると、「4日」が 43.1%で最も高く、次いで「5日」(29.2%)、「3日」(24.6%)の順となっている。

母親の就労希望時間(1日あたり)をみると、「4～6時間未満」が 64.6%で最も高く、次いで「6～8時間未満」(30.8%)の順となっている。

II 調査結果・就学前児童

(2) 父親の就労状況・就労希望（母子世帯以外が回答）

問 11 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。【〇は1つ】

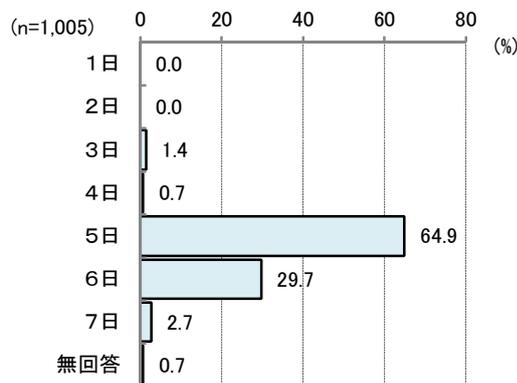


父親の就労形態をみると、「フルタイムで就労（育休・介護休業中でない）」が 94.5%と大半を占めている。

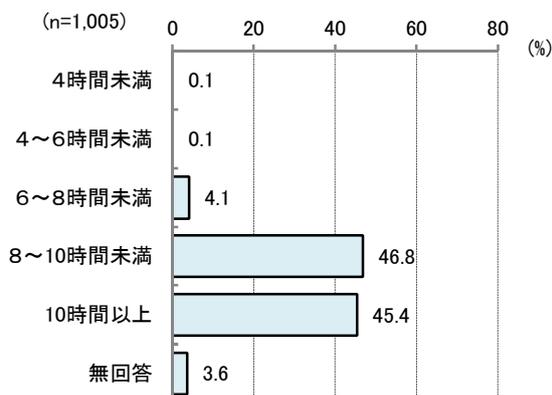
問 11-1 父親の1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」と「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をご記入ください。

【父親の就労日数(週あたり)】

※父親が就労している人のみ



【父親の就労時間(1日あたり)】

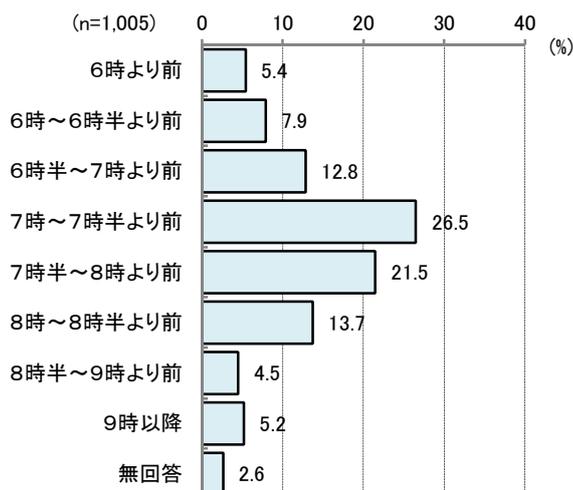


父親の就労日数（週あたり）をみると、「5日」が64.9%で最も高く、次いで「6日」（29.7%）の順となっている。

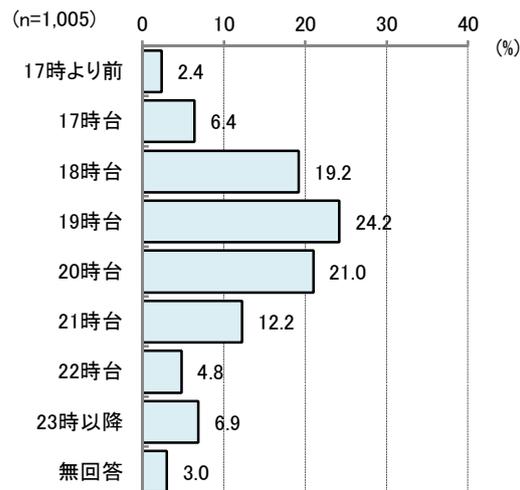
父親の就労時間（1日あたり）をみると、「8～10時間未満」が46.8%で最も高く、次いで「10時間以上」（45.4%）の順となっている。

【父親の家を出る時刻】

※父親が就労している人のみ



【父親の帰宅時刻】

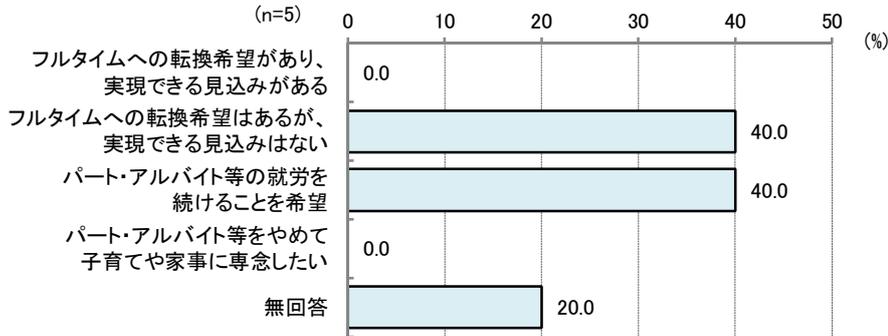


父親の家を出る時刻をみると、「7時～7時半より前」が26.5%で最も高く、次いで「7時半～8時より前」（21.5%）、「8時～8時半より前」（13.7%）の順となっている。

父親の帰宅時刻をみると、「19時台」が24.2%で最も高く、次いで「20時台」（21.0%）、「18時台」（19.2%）の順となっている。

問 11-2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。
【〇は1つ】

※父親がパートタイム、アルバイト等で働いている人のみ

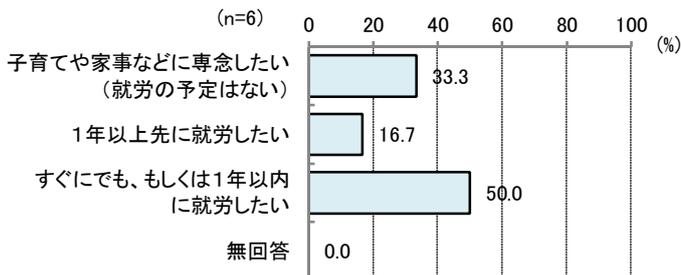


父親のフルタイムへの転換希望をみると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が多く回答されている。

問 11-3 就労したいという希望はありますか。【〇は1つ】
また、該当する箇所にご記入ください。

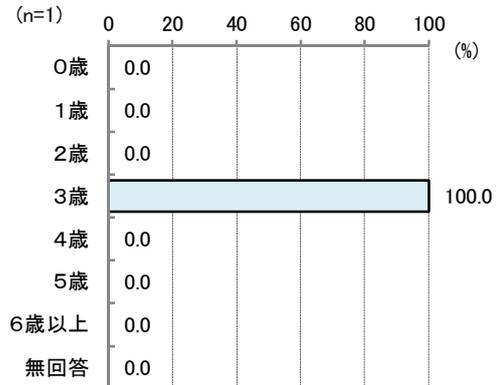
【父親の就労希望】

※父親が就労していない人のみ



【父親の就労希望時の末子の年齢】

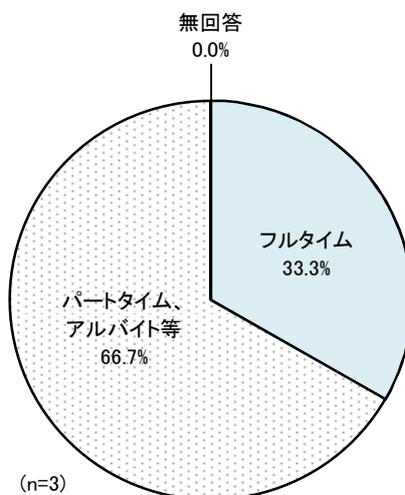
※父親の就労希望が1年以上先の人



父親の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く回答されている。また、「1年以上先に就労したい」と回答した人は、「子どもが3歳になったら働きたい」と回答している。

【父親の希望就労形態】

※父親の就労希望が1年以内の人のみ

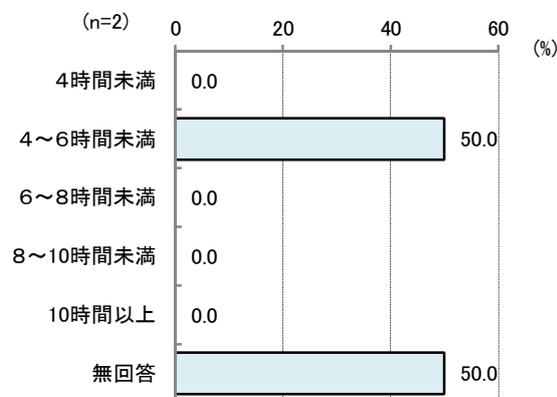
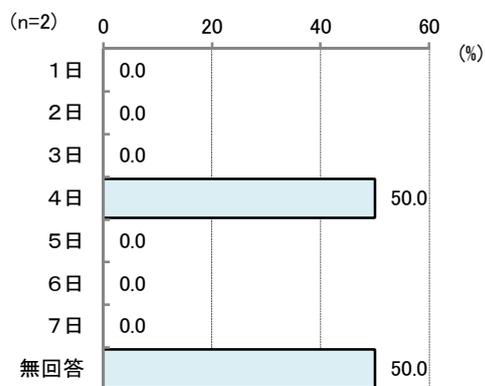


父親の希望就労形態をみると、「パートタイム・アルバイト等」が最も多く回答されている。

【父親の希望就労日数(週あたり)】

【父親の希望就労時間(1日あたり)】

※父親の就労希望が1年以内で、希望就労形態がパートタイム、アルバイトの人のみ



父親の就労希望日数(週あたり)は「4日」、就労希望時間(1日あたり)は「4～6時間未満」と回答されている。

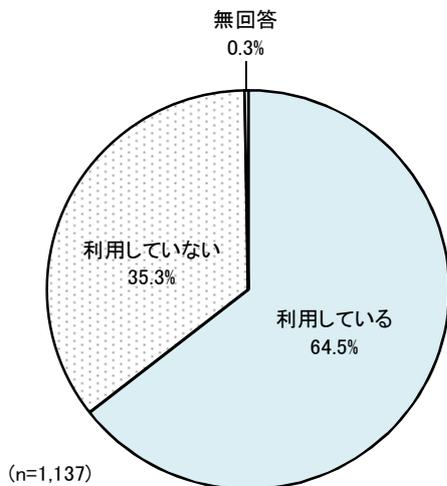
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況、利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 12 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。【〇は1つ】

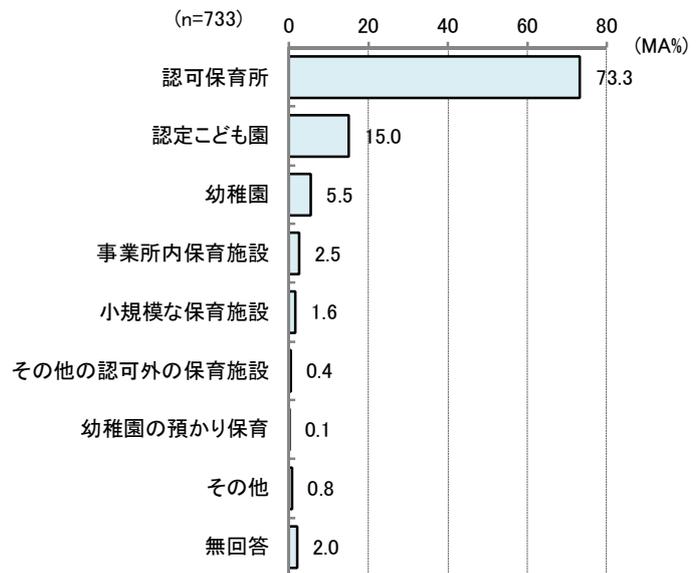
問 12-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。【〇はいくつでも】

【定期的な教育・保育事業の利用状況】



【利用している事業】

※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ



平日の定期的な教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」が 64.5%、「利用していない」が 35.3%となっている。

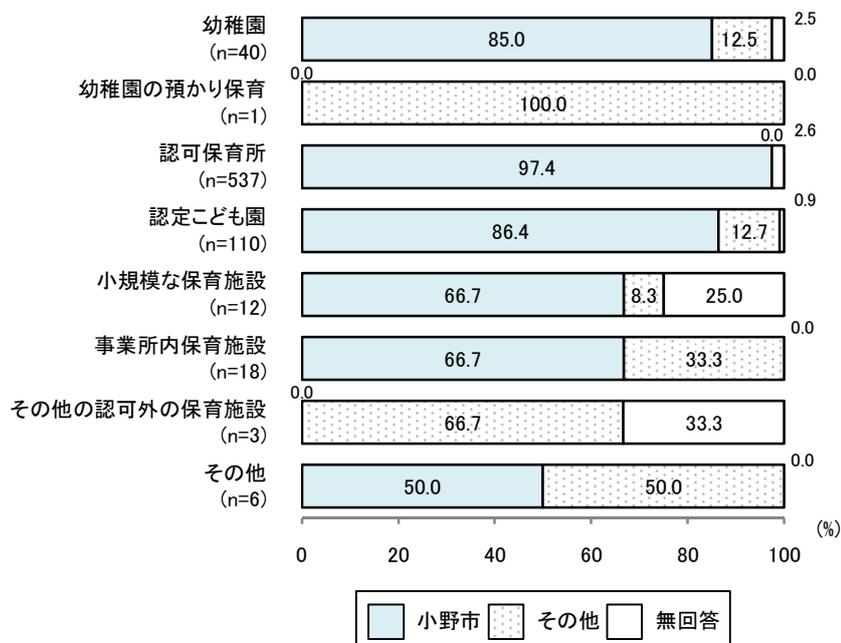
利用している事業をみると、「認可保育所」が 73.3%で最も高く、次いで「認定こども園」(15.0%)の順となっている。

問 12-1 その他の内容	件数
発達支援施設	2
託児所	2
特別支援学級	1
ベビーシッター	1

問 12-1 利用している事業の利用場所をお答えください。【〇は1つ】
また、利用している事業の利用状況についてもお答えください。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用場所】

※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ



定期的な教育・保育事業の利用場所をみると、幼稚園、認可保育所、認定こども園については、「小野市内」が8割台半ば以上と大半を占めている（幼稚園：85.0%、認可保育所：97.4%、認定こども園：86.4%）。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用状況】

※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ

	調査数	(利用日数)						(利用時間)					
		1日	2日	3日	4日	5日	無回答	4時間未満	4時間6時間未満	6時間8時間未満	8時間以上0時間	無回答	
幼稚園	40	-	-	-	-	40	-	-	14	25	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	35.0	62.5	2.5	-	-
幼稚園の預かり保育	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
認可保育所	537	1	-	1	5	523	7	-	2	111	307	91	26
	100.0	0.2	-	0.2	0.9	97.4	1.3	-	0.4	20.7	57.2	16.9	4.8
認定こども園	110	-	-	-	2	107	1	-	5	17	60	21	7
	100.0	-	-	-	1.8	97.3	0.9	-	4.5	15.5	54.5	19.1	6.4
小規模な保育施設	12	-	-	1	1	7	3	-	1	2	5	1	3
	100.0	-	-	8.3	8.3	58.3	25.0	-	8.3	16.7	41.7	8.3	25.0
事業所内保育施設	18	-	-	1	1	16	-	-	-	4	9	4	1
	100.0	-	-	5.6	5.6	88.9	-	-	-	22.2	50.0	22.2	5.6
その他の認可外の保育施設	3	-	-	-	-	2	1	-	-	1	1	-	1
	100.0	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3
その他	6	3	1	-	1	1	-	-	3	1	2	-	-
	100.0	50.0	16.7	-	16.7	16.7	-	-	50.0	16.7	33.3	-	-

上段：件数、下段：%

II 調査結果・就学前児童

※定期的な教育・保育事業を利用している人のみ

(利用開始時間)

	調査数	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答
幼稚園	40	-	29	11	-	-
	100.0	-	72.5	27.5	-	-
幼稚園の預かり保育	1	-	-	-	1	-
	100.0	-	-	-	100.0	-
認可保育所	537	89	298	111	1	38
	100.0	16.6	55.5	20.7	0.2	7.1
認定こども園	110	19	59	24	-	8
	100.0	17.3	53.6	21.8	-	7.3
小規模な保育施設	12	1	6	4	-	1
	100.0	8.3	50.0	33.3	-	8.3
事業所内保育施設	18	1	10	5	1	1
	100.0	5.6	55.6	27.8	5.6	5.6
その他の認可外の保育施設	3	-	1	1	-	1
	100.0	-	33.3	33.3	-	33.3
その他	6	-	2	2	1	1
	100.0	-	33.3	33.3	16.7	16.7

上段：件数、下段：%

(利用終了時間)

	調査数	前15時より	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
幼稚園	40	38	-	1	1	-	-	-	-
	100.0	95.0	-	2.5	2.5	-	-	-	-
幼稚園の預かり保育	1	-	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
認可保育所	537	2	41	194	184	69	9	-	38
	100.0	0.4	7.6	36.1	34.3	12.8	1.7	-	7.1
認定こども園	110	6	6	26	41	22	1	-	8
	100.0	5.5	5.5	23.6	37.3	20.0	0.9	-	7.3
小規模な保育施設	12	-	1	3	4	3	-	-	1
	100.0	-	8.3	25.0	33.3	25.0	-	-	8.3
事業所内保育施設	18	-	1	3	7	6	-	-	1
	100.0	-	5.6	16.7	38.9	33.3	-	-	5.6
その他の認可外の保育施設	3	-	1	-	1	-	-	-	1
	100.0	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3
その他	6	1	1	-	3	-	-	-	1
	100.0	16.7	16.7	-	50.0	-	-	-	16.7

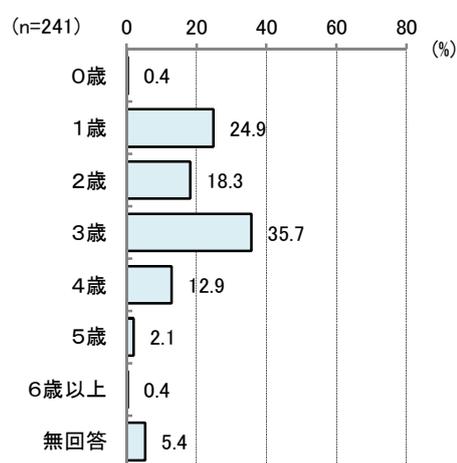
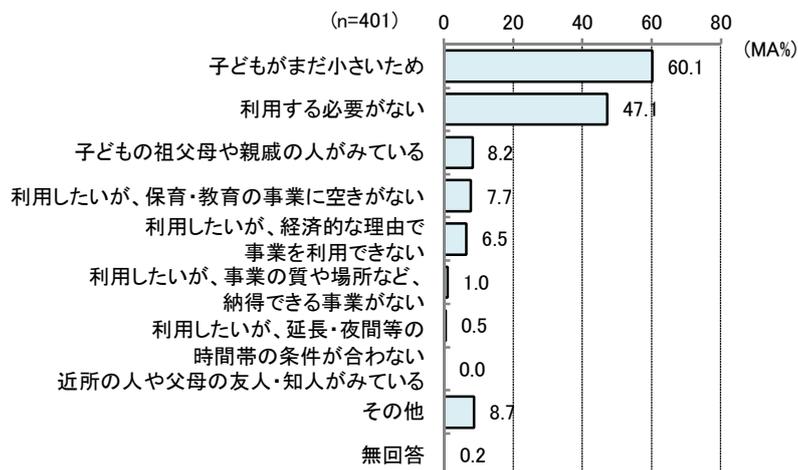
(2) 平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由

問 12-2 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

【平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由】

【子どもが何歳くらいに利用したいか】

※子どもが小さいから定期的な教育・保育事業を利用していない人のみ



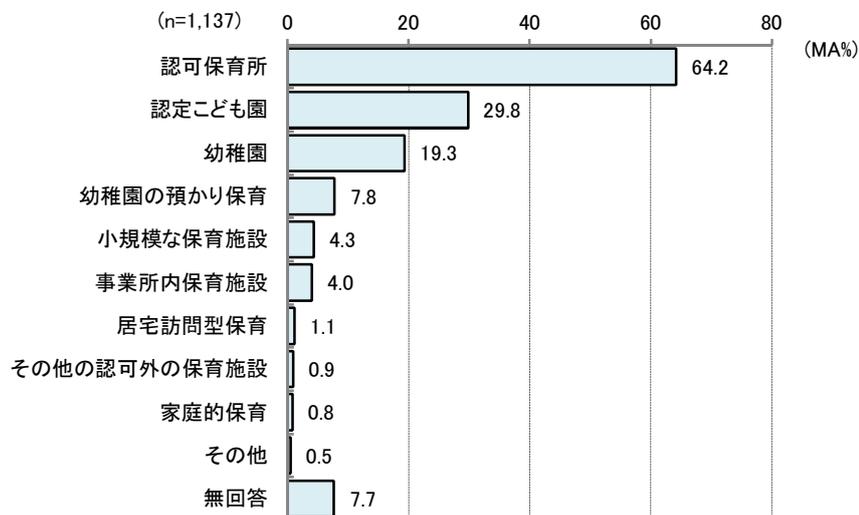
平日に定期的な教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため」が60.1%で最も高く、次いで「利用する必要がない」(47.1%)の順となっている。

子どもが何歳くらいに利用したいかをみると、「3歳」が35.7%で最も高く、次いで「1歳」(24.9%)、「2歳」(18.3%)の順となっている。

問 12-2 その他の内容	件数
入所申請中・来春入所予定	14
幼稚園に入りたい(対象年齢外等)	9
出産を控えている	4
不定期の事業等を利用している	3
母親が未就労のため利用できない	2
その他	2

(3) 平日の定期的な教育・保育事業として希望する事業

問 13 現在、利用の有無にかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【〇はいくつでも】



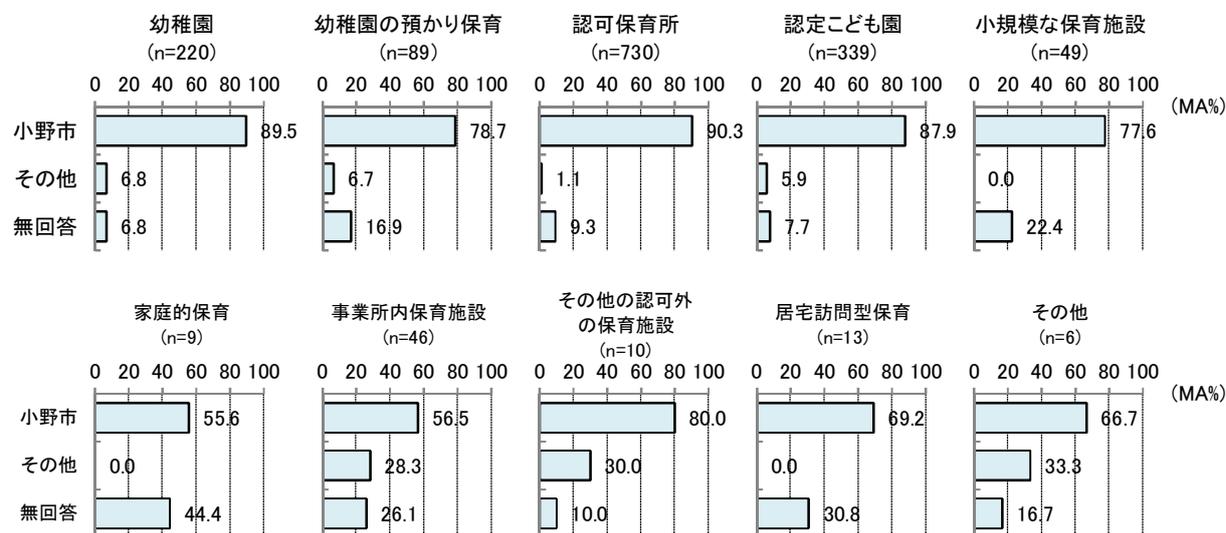
平日の定期的な教育・保育事業として希望する事業をみると、「認可保育所」が 64.2%で最も高く、次いで「認定こども園」(29.8%)、「幼稚園」(19.3%)の順となっている。

問 13 その他の内容	件数
インターナショナルスクール	2
その他	3

問 13 希望する事業の希望利用場所をお答えください。【〇はいくつでも】
また、希望する事業の希望利用状況についてもご記入ください。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望利用場所】

※平日に定期的な教育・保育事業の利用を希望する人のみ



平日の定期的な教育・保育事業の希望利用場所をみると、どの事業も、「小野市内」の割合が高くなっている。

【平日の定期的な教育・保育事業の希望条件】

※平日に定期的な教育・保育事業の利用を希望する人のみ

事業種別	調査数	(希望利用日数)					無回答	(希望利用時間)					無回答	
		1日	2日	3日	4日	5日		4時間未満	4時間6時間未満	6時間8時間未満	8時間以上			
幼稚園	220	2	-	4	4	182	28	220	4	44	88	23	11	50
幼稚園の預かり保育	89	7	5	9	2	50	16	89	19	10	10	19	11	20
認可保育所	730	2	3	6	5	650	64	730	4	14	101	367	144	100
認定こども園	339	6	-	3	5	286	39	339	1	14	51	147	77	49
小規模な保育施設	49	5	-	2	4	30	8	49	3	3	13	16	4	10
家庭的保育	9	2	1	-	-	4	2	9	-	-	3	3	1	2
事業所内保育施設	46	1	1	2	4	27	11	46	2	4	3	15	9	13
その他の認可外の保育施設	10	-	2	-	-	6	2	10	-	-	2	3	2	3
居宅訪問型保育	13	5	3	-	-	2	3	13	4	-	1	4	1	3
その他	6	1	3	-	-	1	1	6	1	-	3	-	1	1

上段：件数、下段：%

II 調査結果・就学前児童

※平日に定期的な教育・保育事業の利用を希望する人のみ

(希望開始時間)

	調査数	7時より前	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答
幼稚園	220	-	11	89	77	4	39
	100.0	-	5.0	40.5	35.0	1.8	17.7
幼稚園の 預かり保育	89	-	7	22	14	26	20
	100.0	-	7.9	24.7	15.7	29.2	22.5
認可保育所	730	-	120	352	156	9	93
	100.0	-	16.4	48.2	21.4	1.2	12.7
認定こども園	339	-	60	143	81	4	51
	100.0	-	17.7	42.2	23.9	1.2	15.0
小規模な保育施設	49	1	5	13	19	3	8
	100.0	2.0	10.2	26.5	38.8	6.1	16.3
家庭的保育	9	-	1	1	2	-	5
	100.0	-	11.1	11.1	22.2	-	55.6
事業所内保育施設	46	-	6	18	8	1	13
	100.0	-	13.0	39.1	17.4	2.2	28.3
その他の認可外 の保育施設	10	-	3	3	2	-	2
	100.0	-	30.0	30.0	20.0	-	20.0
居宅訪問型保育	13	-	-	1	4	2	6
	100.0	-	-	7.7	30.8	15.4	46.2
その他	6	-	-	1	3	1	1
	100.0	-	-	16.7	50.0	16.7	16.7

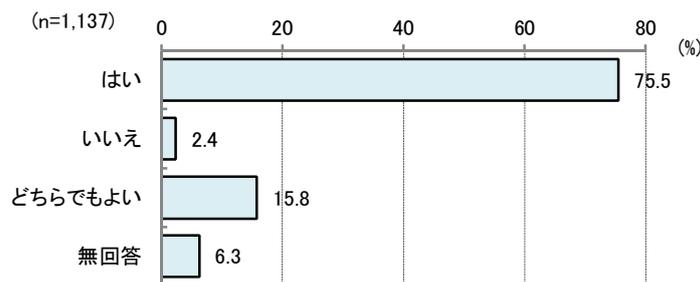
上段：件数、下段：%

(希望終了時間)

	調査数	前15時より	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
幼稚園	220	93	40	22	10	13	2	-	40
	100.0	42.3	18.2	10.0	4.5	5.9	0.9	-	18.2
幼稚園の 預かり保育	89	11	5	16	18	16	3	-	20
	100.0	12.4	5.6	18.0	20.2	18.0	3.4	-	22.5
認可保育所	730	14	21	206	206	156	32	4	91
	100.0	1.9	2.9	28.2	28.2	21.4	4.4	0.5	12.5
認定こども園	339	17	15	78	83	83	10	2	51
	100.0	5.0	4.4	23.0	24.5	24.5	2.9	0.6	15.0
小規模な保育施設	49	5	4	10	10	7	3	1	9
	100.0	10.2	8.2	20.4	20.4	14.3	6.1	2.0	18.4
家庭的保育	9	-	1	1	2	-	-	-	5
	100.0	-	11.1	11.1	22.2	-	-	-	55.6
事業所内保育施設	46	4	2	4	8	14	1	-	13
	100.0	8.7	4.3	8.7	17.4	30.4	2.2	-	28.3
その他の認可外 の保育施設	10	-	1	2	3	2	-	-	2
	100.0	-	10.0	20.0	30.0	20.0	-	-	20.0
居宅訪問型保育	13	2	1	-	2	1	-	1	6
	100.0	15.4	7.7	-	15.4	7.7	-	7.7	46.2
その他	6	-	-	2	1	1	1	-	1
	100.0	-	-	33.3	16.7	16.7	16.7	-	16.7

(4) 住んでいる小学校区での事業の利用希望

問13-1 問13の「利用したい事業」にあげている事業のすべてが居住区（小学校区）にあるとすれば、お住まいの小学校区にある施設を利用したいと思いますか。【○は1つ】



住んでいる小学校区での事業の利用希望をみると、「はい」が75.5%で最も高く、次いで「どちらでもよい」(15.8%)の順となっている。

【(居住地区別)住んでいる小学校区での事業の利用希望】

	調査数	はい	いいえ	どちらでもよい	無回答
全 体	1,137	858	27	180	72
	100.0	75.5	2.4	15.8	6.3
小野小学校区	232	158	6	51	17
	100.0	68.1	2.6	22.0	7.3
小野東小学校区	299	222	6	50	21
	100.0	74.2	2.0	16.7	7.0
河合小学校区	107	85	2	13	7
	100.0	79.4	1.9	12.1	6.5
来住小学校区	49	42	1	3	3
	100.0	85.7	2.0	6.1	6.1
市場小学校区	154	126	4	18	6
	100.0	81.8	2.6	11.7	3.9
大部小学校区	177	135	5	29	8
	100.0	76.3	2.8	16.4	4.5
中番小学校区	41	35	-	3	3
	100.0	85.4	-	7.3	7.3
下東条小学校区	59	43	3	10	3
	100.0	72.9	5.1	16.9	5.1
わからない	14	9	-	3	2
	100.0	64.3	-	21.4	14.3

上段：件数、下段：%

【(世帯構成別)住んでいる小学校区での事業の利用希望】

	調査数	はい	いいえ	どちらでもよい	無回答
全 体	1,137	858	27	180	72
	100.0	75.5	2.4	15.8	6.3
ひとり親世帯以外	1,056	800	26	166	64
	100.0	75.8	2.5	15.7	6.1
母子世帯	71	51	1	12	7
	100.0	71.8	1.4	16.9	9.9
父子世帯	1	1	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-

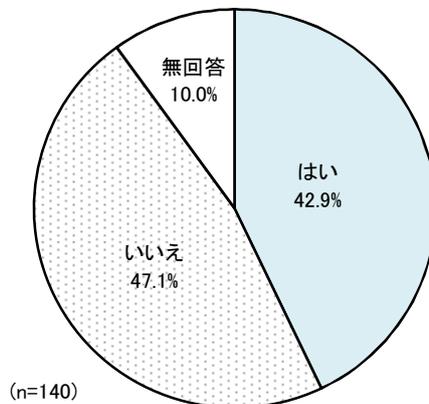
上段：件数、下段：%

II 調査結果・就学前児童

(5) 幼稚園の利用の希望度

問 13-2 幼稚園（預かり保育を含む）の利用を、他の施設よりも強く希望しますか。【〇は1つ】

※幼稚園（預かり保育を含む）の利用を希望し、その他の保育事業の利用も希望する人のみ



幼稚園の利用の希望度（幼稚園の利用を強く希望するか）をみると、「はい」が42.9%、「いいえ」が47.1%となっている。

5. 子どもが病気やケガの際の対応

(1) 病気やケガで事業が利用できなかった経験の有無とその際の対応

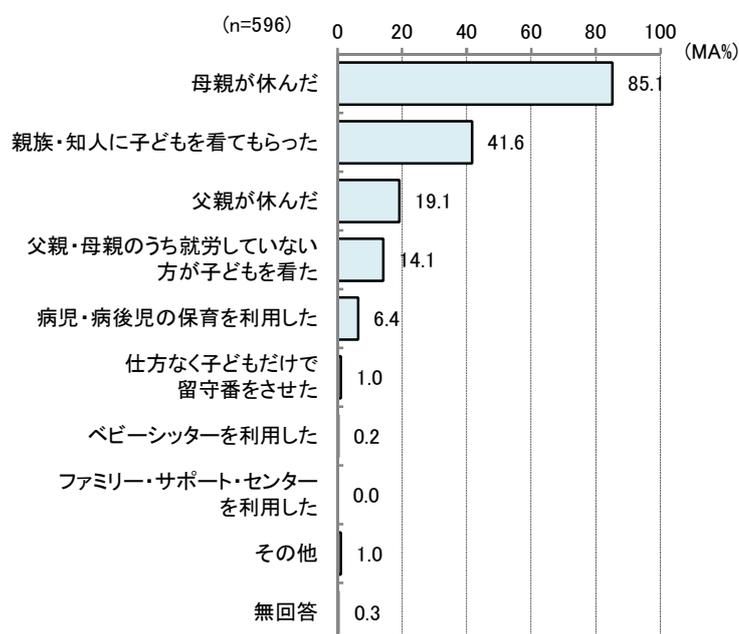
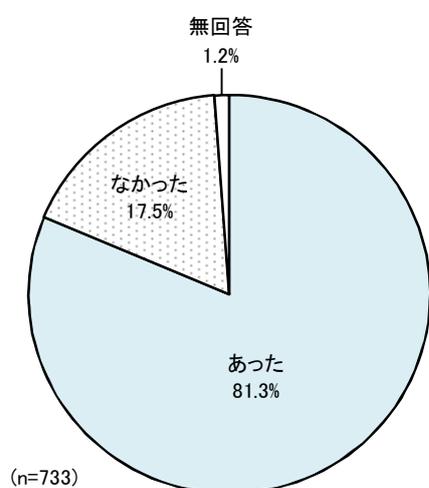
問 14 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
 【○は1つ】

問 14-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合、
 どのように対応しましたか。【○はいくつでも】
 また、利用できなかった日数（対応ごと）の日数は概ね何日ですか。

【病気やケガで事業を利用できなかった経験の有無】

【利用できなかったときの対応】

※病気やケガで事業を利用できなかったことがある人のみ



病気やケガで事業が利用できなかった経験の有無をみると、「あった」が81.3%、「なかった」が17.5%となっている。

利用できなかったときの対応をみると、「母親が休んだ」が85.1%で最も高く、次いで「親族・知人に子どもを看てもらった」(41.6%)、「父親が休んだ」(19.1%)の順となっている。

問 14-1 その他の内容	件数
子どものきょうだいに看てもらった	3
仕事をしながら見た（職場に連れて行った）	2
入院	1

II 調査結果・就学前児童

【病気やケガで事業を利用できなかった日数(対応ごと)】

※利用できなかったことがある人のみ

	調査数	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
父親・母親のうち就労して いない方が子どもを見た	84 100.0	33 39.3	20 23.8	18 21.4	5 6.0	6 7.1	2 2.4
父親が休んだ	114 100.0	81 71.1	24 21.1	7 6.1	- -	- -	2 1.8
母親が休んだ	507 100.0	200 39.4	120 23.7	127 25.0	28 5.5	10 2.0	22 4.3
親族・知人に子どもを 看てもらった	248 100.0	111 44.8	71 28.6	48 19.4	10 4.0	2 0.8	6 2.4
病児・病後児の保育を 利用した	38 100.0	22 57.9	12 31.6	4 10.5	- -	- -	- -
ベビーシッターを利用した	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
ファミリー・サポート・ センターを利用した	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	6 100.0	4 66.7	2 33.3	- -	- -	- -	- -
その他	6 100.0	4 66.7	1 16.7	- -	- -	- -	1 16.7

上段：件数、下段：%

(2) 病児・病後児保育施設の利用希望

問 14-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。

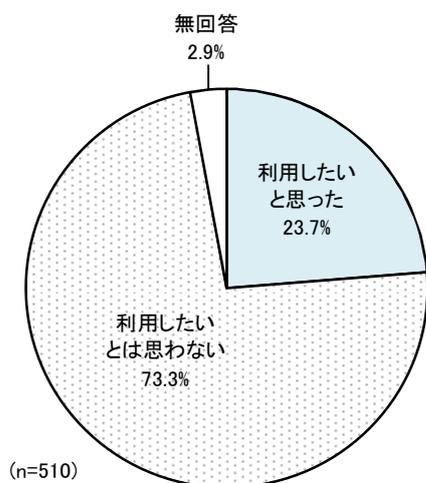
【○は1つ】

また、利用したいと思った日数はどれくらいありますか。

病児・病後児保育施設等を利用したくない場合は、その理由をお答えください。

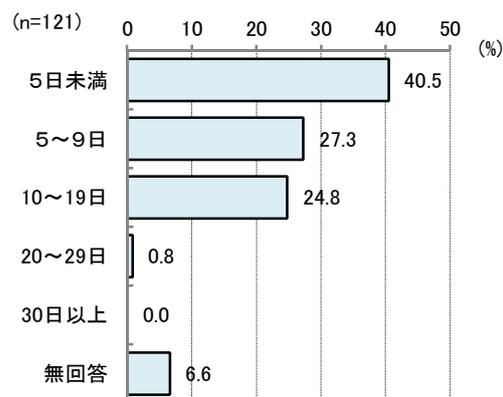
【○はいくつでも】

【病児・病後児保育施設の利用希望】



【希望利用日数(年間)】

※病児・病後児保育施設を利用したいと思った人のみ

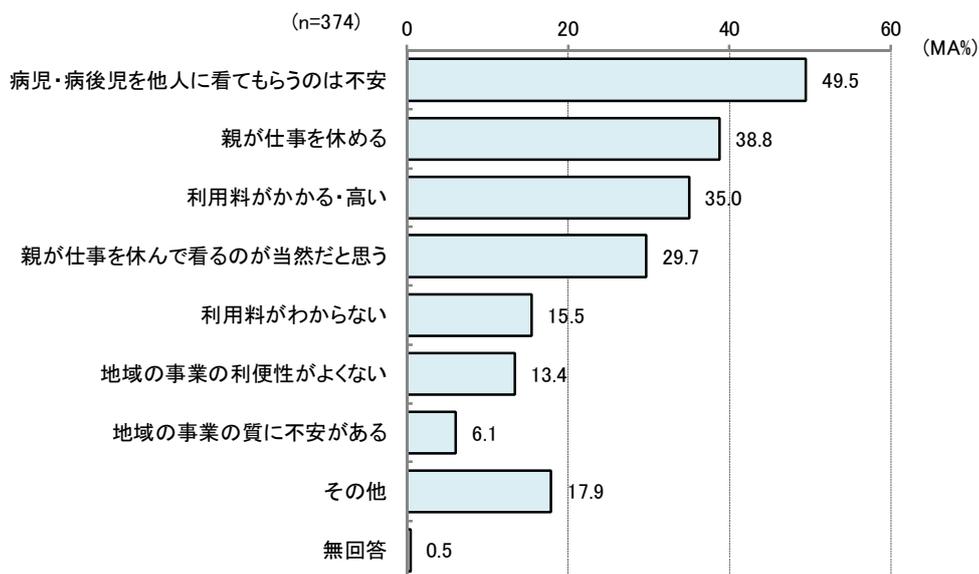


病児・病後児保育施設の利用希望をみると、「利用したいと思った」が23.7%、「利用したいとは思わない」が73.3%となっている。

希望利用日数(年間)をみると、「5日未満」が40.5%で最も高く、次いで「5~9日」(27.3%)、「10~19日」(24.8%)の順となっている。

【病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由】

※病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない人のみ



病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由をみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が49.5%で最も高く、次いで「親が仕事を休める」(38.8%)、「利用料がかかる・高い」(35.0%)の順となっている。

問 14-2 その他の内容	件数
子どもが嫌がる・かわいそう	19
病気ときは側にいてあげたい	13
手続きが面倒	8
病気がうつらないか (うつさないか) 心配	7
施設の内容やシステム等をよく知らない	4
準備が大変	4
利用定員が少ない	4
祖父母に協力してもらえる	4
状況がわからないのは不安	2
その他	5

(3) 父母のいずれかが仕事を休んで見たと思ったか

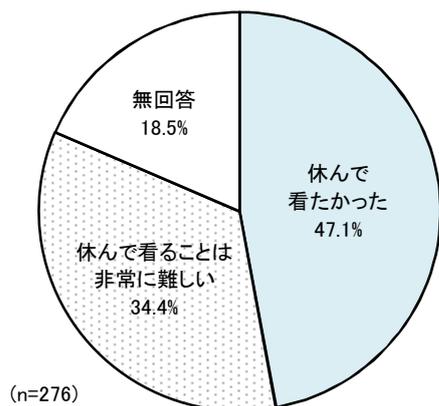
問 14-3 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで見た」と思いましたか。

【○は1つ】

また、仕事を休んで見たかった日数はどれくらいありますか。

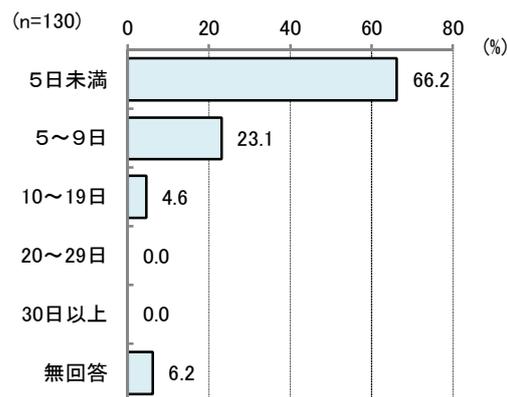
休んで見ることは非常に難しい場合は、その理由をお答えください。

【父母のいずれかが仕事を休んで見たかったか】



【休んで見たかった日数(年間)】

※父母のいずれかが休んで見たと思った人のみ

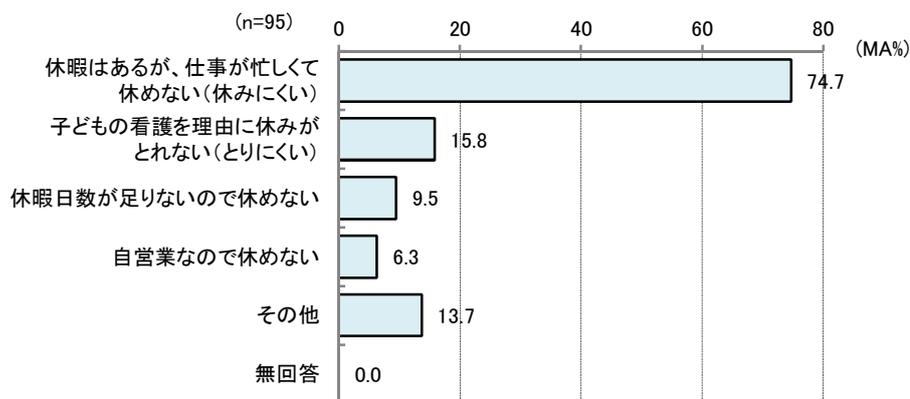


父母のいずれかが仕事を休んで見たかったかをみると、「休んで見たかった」が47.1%、「休んで見ることは非常に難しい」が34.4%となっている。

休んで見たかった日数(年間)をみると、「5日未満」が66.2%で最も高く、次いで「5~9日」(23.1%)の順となっている。

【仕事を休んで看ることが非常に難しい理由】

※父母のいずれかが仕事を休んで看るのは非常に難しい人のみ



父母が仕事を休んで看ることが難しい理由をみると、「休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない（休みにくい）」が74.7%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない(とりにくい)」(15.8%)の順となっている。

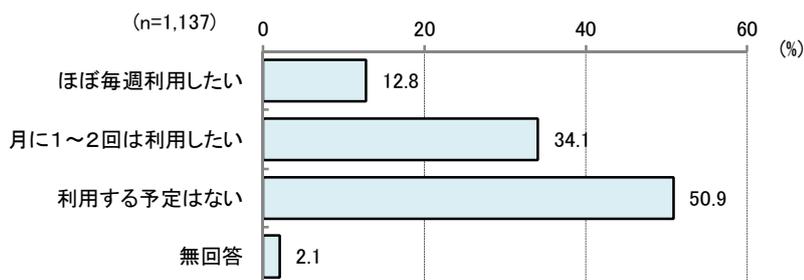
問 14-3 その他の内容	件数
欠勤になる（休みたくない）	4
祖父母に協力してもらえる	3
自分にしかできない仕事がある	2
その他	5

6. 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日、日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 15 お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用ができるとしたら、希望はありますか。一時的な利用は除きます。【○は1つ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。

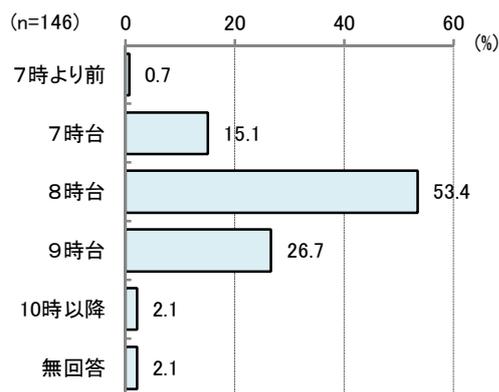
【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望】



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する予定はない」が50.9%で最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」(34.1%)「ほぼ毎週利用したい」(12.8%)の順となっている。

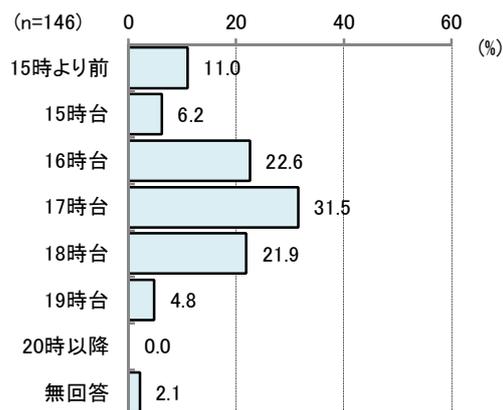
【土曜日の希望開始時間】

※ほぼ毎週利用したい人



【土曜日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人



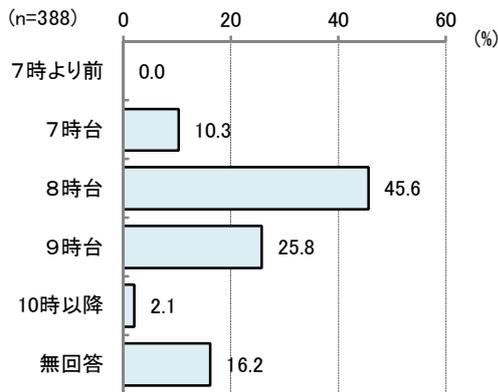
ほぼ毎週利用したい人の希望開始時間をみると、「8時台」が53.4%で最も高く、次いで「9時台」(26.7%)、「7時台」(15.1%)の順となっている。

希望終了時間については、「17時台」が31.5%で最も高く、次いで「16時台」(22.6%)、「18時台」(21.9%)の順となっている。

II 調査結果・就学前児童

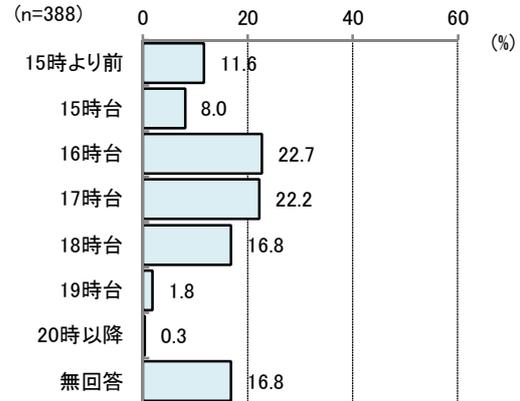
【土曜日の希望開始時間】

※月に1～2回利用したい人



【土曜日の希望終了時間】

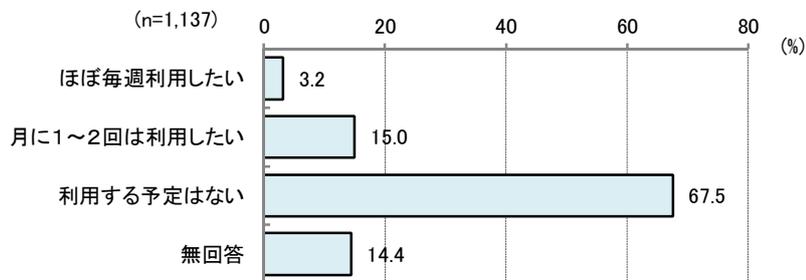
※月に1～2回利用したい人



月に1～2回利用したい人の希望開始時間をみると、「8時台」が45.6%で最も高く、次いで「9時台」(25.8%)、「7時台」(10.3%)の順となっている。

希望終了時間については、「16時台」が22.7%で最も高く、次いで「17時台」(22.2%)、「18時台」(16.8%)の順となっている。

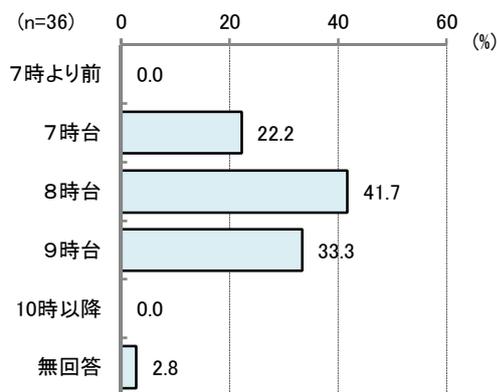
【日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望】



日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する予定はない」が67.5%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(15.0%)の順となっている。

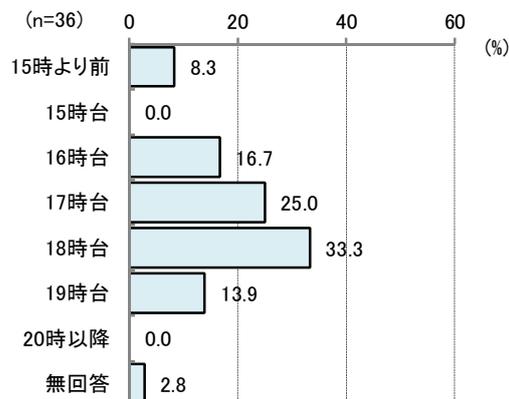
【日曜・祝日の希望開始時間】

※ほぼ毎週利用したい人



【日曜・祝日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人

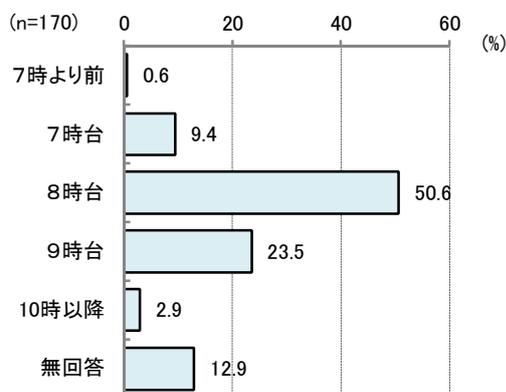


ほぼ毎週利用したい人の希望開始時間をみると、「8時台」が41.7%で最も高く、次いで「9時台」(33.3%)、「7時台」(22.2%)の順となっている。

希望終了時間については、「18時台」が33.3%で最も高く、次いで「17時台」(25.0%)、「16時台」(16.7%)の順となっている。

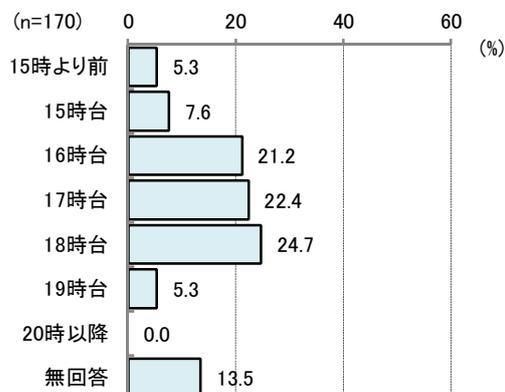
【日曜・祝日の希望開始時間】

※月に1~2回利用したい人



【日曜・祝日の希望終了時間】

※月に1~2回利用したい人



月に1~2回利用したい人の希望開始時間をみると、「8時台」が50.6%で最も高く、次いで「9時台」(23.5%)の順となっている。

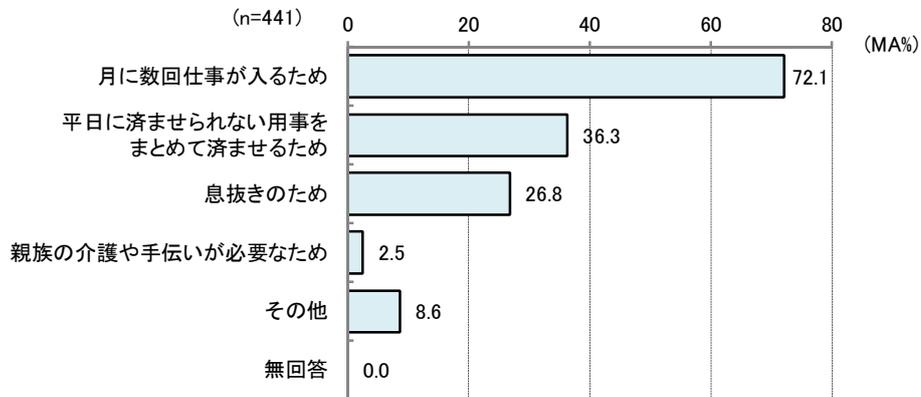
希望終了時間については、「18時台」が24.7%で最も高く、次いで「17時台」(22.4%)、「16時台」(21.2%)の順となっている。

II 調査結果・就学前児童

(2) 土曜日、日曜・祝日に事業をたまに利用したい理由

問 15-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【〇はいくつでも】

※土曜日、日曜・祝日に、たまに(月1~2回程度)、定期的な教育・保育事業を利用したい人のみ



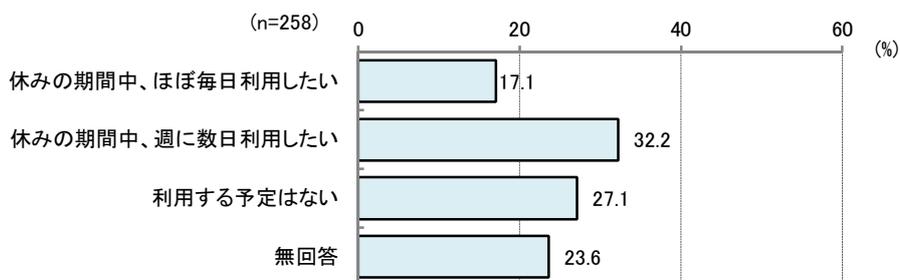
土曜日、日曜・祝日に、たまに、定期的な教育・保育事業を利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」が 72.1%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(36.3%)、「息抜きのため」(26.8%)の順となっている。

問 15-1 その他の内容	件数
上の子どもの行事や用事がある	19
今後仕事が入るかもしれない	7
父母ともにみられないときもある	4
ごくたまに仕事が入る	2
他の子どもの面倒をみなくてはならない	2
その他	3

(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園を利用している・今後利用したい人のみ回答）

問 16 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育事業の利用ができるとしたら、希望はありますか。【〇は1つ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください。

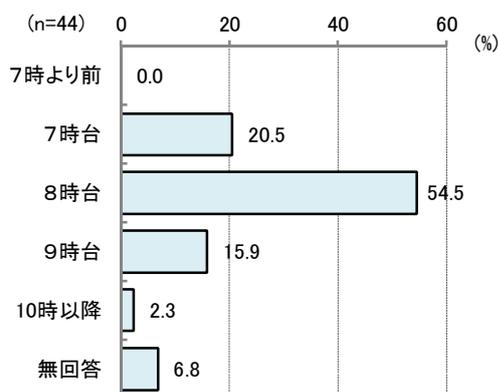
【長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望】



長期休暇中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が32.2%で最も高く、次いで「利用する予定はない」(27.1%)、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(17.1%)の順となっている。

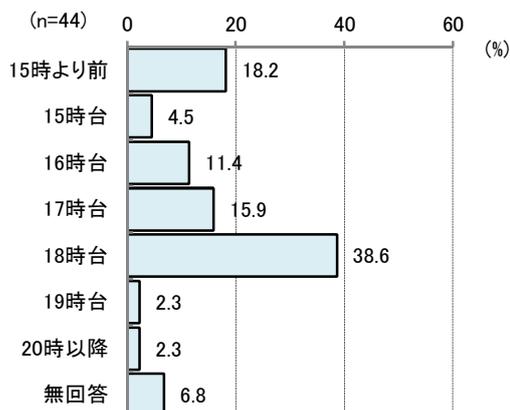
【長期休暇中の希望開始時間】

※ほぼ毎日利用したい人



【長期休暇中の希望終了時間】

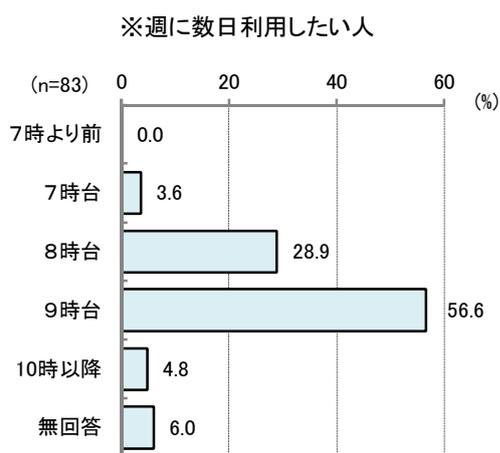
※ほぼ毎日利用したい人



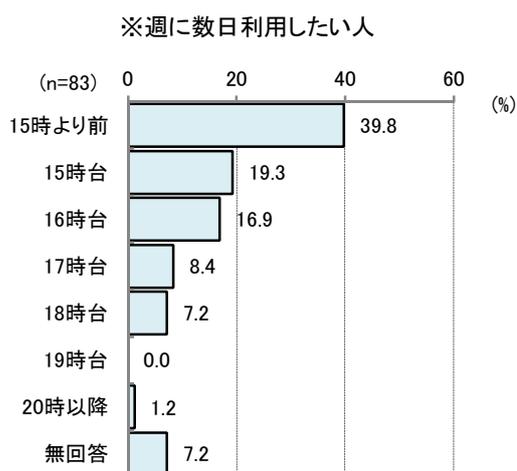
ほぼ毎日利用したい人の希望開始時間をみると、「8時台」が54.5%で最も高く、次いで「7時台」(20.5%)、「9時台」(15.9%)の順となっている。

希望終了時間については、「18時台」が38.6%で最も高く、次いで「15時より前」(18.2%)、「17時台」(15.9%)の順となっている。

【長期休暇中の希望開始時間】



【長期休暇中の希望終了時間】



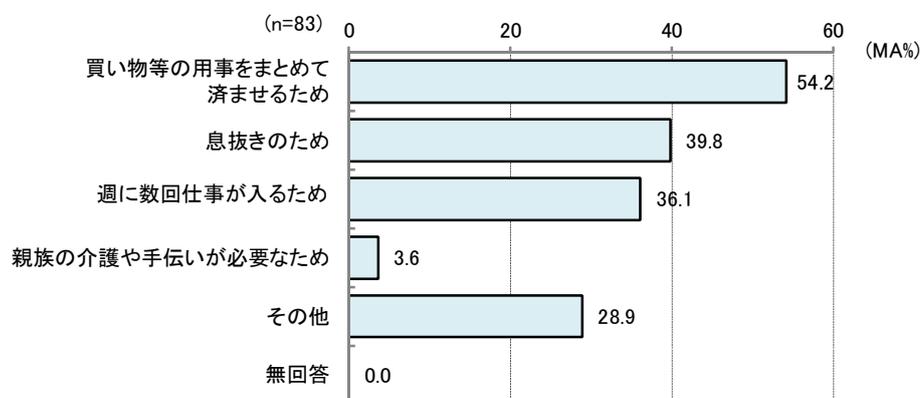
週に数日利用したい人の希望開始時間をみると、「9時台」が 56.6%で最も高く、次いで「8時台」(28.9%) の順となっている。

希望終了時間については、「15時より前」が 39.8%で最も高く、次いで「15時台」(19.3%)、「16時台」(16.9%) の順となっている。

(4) 長期休暇中に事業をたまに利用したい理由

問 16-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。【〇はいくつでも】
--

※長期休暇中、たまに(週に数日)、教育・保育事業を利用したい人のみ



長期休暇中、たまに、教育・保育事業を利用したい理由をみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が54.2%で最も高く、次いで「息抜きのため」(39.8%)、「週に数回仕事が入るため」(36.1%)の順となっている。

問 16-1 その他の内容	件数
今後働きたい・働くかもしれない	6
集団生活や教育のため	3
子どもが友だちと過ごせるから	3
通院のため	2
子どもが退屈になる	2
その他	8

7. 不定期の教育・保育事業の利用状況

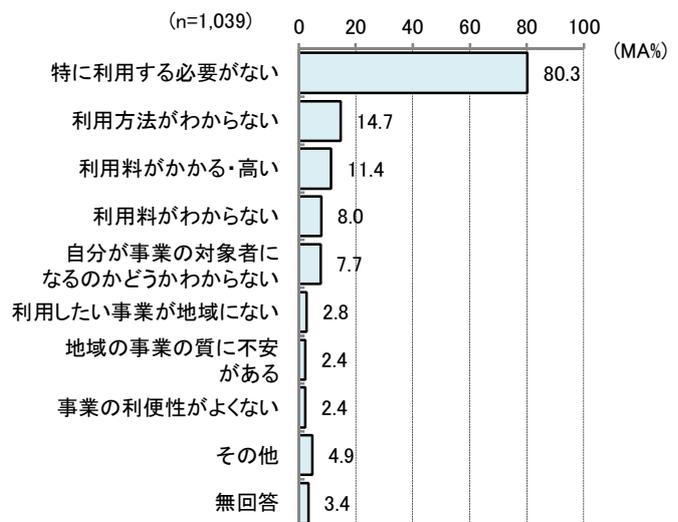
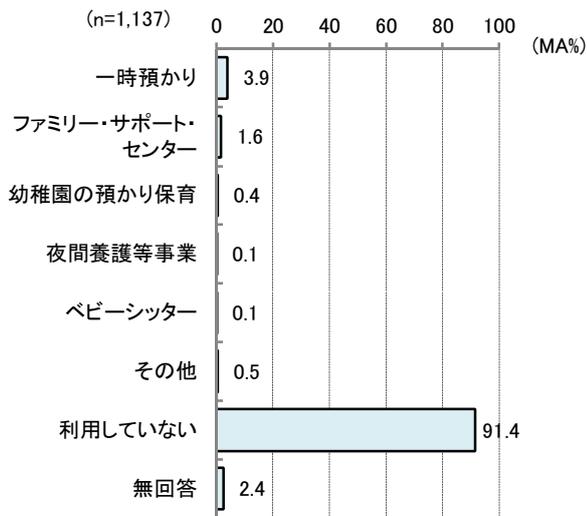
(1) 不定期の教育・保育事業の利用状況（ここ1年間）

問 17 この1年間に、お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期に利用している事業はありますか。【〇はいくつでも】それぞれのおおよその日数もお答えください。

【不定期に利用している教育・保育事業(ここ1年)】

【利用していない理由】

※不定期に教育・保育事業を利用していない人のみ



不定期に利用している教育・保育事業（ここ1年間）をみると、「利用していない」が91.4%と大半を占めている。

利用していない理由をみると、「特に利用する必要がない」が80.3%で最も高く、次いで「利用方法がわからない」(14.7%)、「利用料がかかる・高い」(11.4%)の順となっている。

問 17 不定期に利用している教育・保育事業 その他の内容	件数
エクラ	3
親子ふれあい教室	1
その他	2

問 17 利用していない理由 その他の内容	件数
子どもが小さいため	9
子どもに負担がかかる・嫌がる・寂しがる	7
急な利用ができない	4
事業の内容やシステム等をよく知らない	4
手続きが面倒	3
利用したい事業が対象外で利用できない	3
きっかけがない・ハードルが高い	2
親族に協力してもらえた	2
お弁当持参が面倒・負担	2
ファミリー・サポート・センターを利用するのは不安	2
不慣れな人・場所に子どもを預けるのが不安	2
通常の保育等で対応している	2
その他	9

【不定期に利用している教育・保育事業の利用日数(事業ごと)】

※不定期に事業を利用していない人のみ

	調査数	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
一時預かり	44 100.0	14 31.8	9 20.5	12 27.3	2 4.5	7 15.9	-
幼稚園の預かり保育	5 100.0	2 40.0	-	-	2 40.0	1 20.0	-
ファミリー・サポート・センター	18 100.0	12 66.7	1 5.6	1 5.6	-	3 16.7	1 5.6
夜間養護等事業	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
ベビーシッター	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-
その他	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	-	-	-

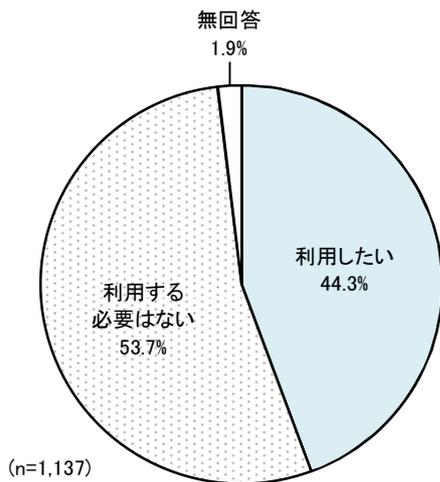
上段：件数、下段：%

(2) 不定期的な教育・保育事業の利用希望、利用の目的

問 18 お子さんについて、利用の有無にかかわらず、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期的に事業を利用したいと思いますか。【○は1つ】

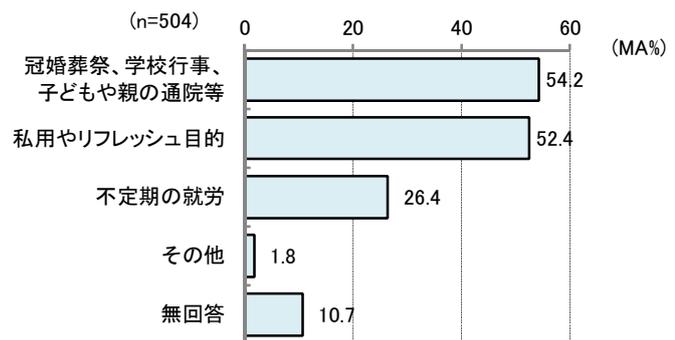
問 18-1 利用したい理由は何ですか。【○はいくつでも】
それぞれのおおよその日数もお答えください。

【不定期的な教育・保育事業の利用希望】



【利用の目的】

※不定期的な教育・保育事業を利用したい人のみ



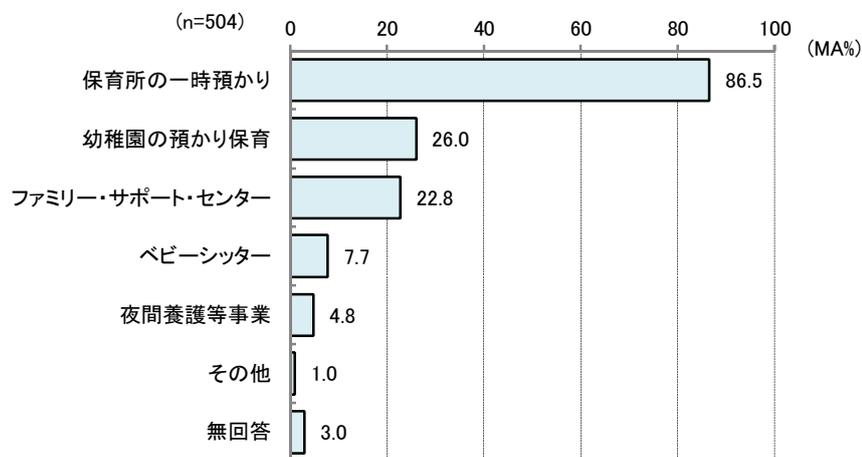
不定期的な教育・保育事業の利用希望をみると、「利用したい」が 44.3%、「利用する必要はない」が 53.7%となっている。

利用の目的をみると、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 54.2%で最も高く、次いで「私用やリフレッシュ目的」(52.4%)、「不定期の就労」(26.4%)の順となっている。

問 18-1 その他の内容	件数
ならし保育	2
万が一の場合	1
その他	2

(3) 不定期的な教育・保育事業として希望する形態

問 18-2 問 18-1 の目的でお子さんを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思いますか。
【〇はいくつでも】



不定期的な教育・保育事業として希望する形態をみると、「保育所の一時預かり」が86.5%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」(26.0%)、「ファミリー・サポート・センター」(22.8%)の順となっている。

問 18-2 その他の内容	件数
市の職員等	1
年齢に関係なく見てもらえるところ	1
1対1での預かりは避けたい	1
わからない	1

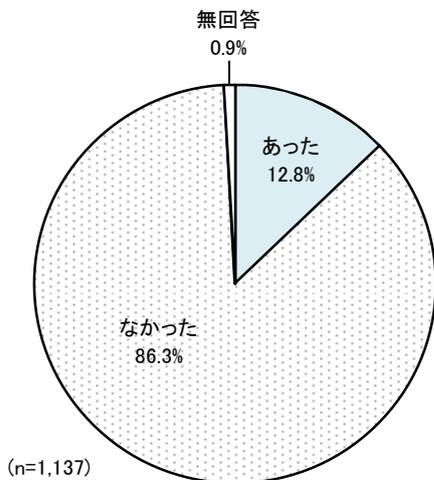
8. 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

(1) 泊まりがけで子どもを預けた経験の有無(ここ1年間)

問 19 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)で、お子さんを泊まりがけで、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか【〇は1つ】(預け先が見つからなかった場合も含みます)。

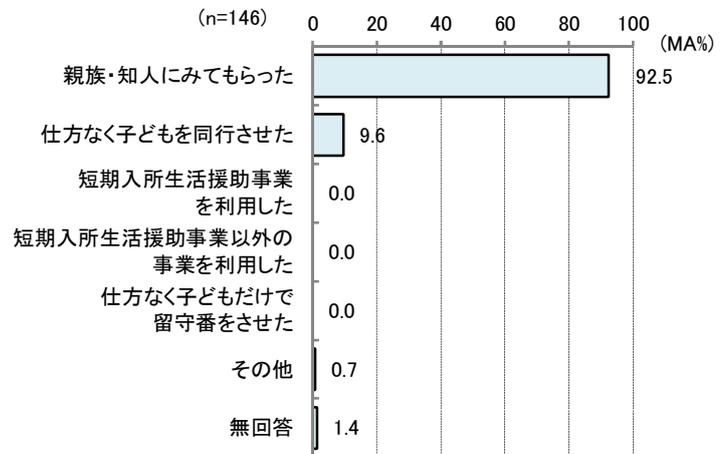
問 19-1 その場合、どのように対応しましたか。【〇はいくつでも】
それぞれのおおよその泊数もお答えください。

【泊まりがけで子どもを預けた経験の有無(ここ1年間)】



【預け先】

※泊りがけで子どもを預けたことがある人のみ



泊まりがけで子どもを預けた経験の有無(ここ1年間)をみると、「なかった」が86.3%と大半を占め、「あった」は12.8%となっている。

預け先をみると、「親族・知人にみてもらった」が92.5%と大半を占めている。

問 19-1 その他の内容	件数
職場の託児所	1

【泊まりがけで子どもを預けた日数(預け先ごと)】

※預けたことがある人のみ

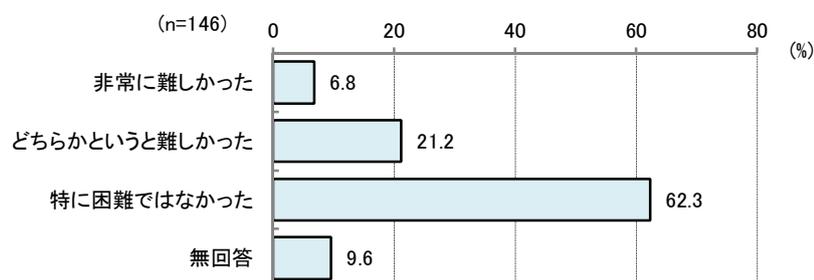
	調査数	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上	無回答
親族・知人にみてもらった	135	38	23	12	5	43	4
	100.0	28.1	17.0	8.9	3.7	31.9	10.4
短期入所生活援助事業 を利用した	-	-	-	-	-	-	-
短期入所生活援助事業以外 の事業を利用した	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	14	5	3	2	-	1	3
	100.0	35.7	21.4	14.3	-	7.1	21.4
仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	100.0

上段：件数、下段：%

(2) 泊まりがけで親族・知人に子どもを預けたときの困難度

問 19-2 その場合、頼みやすかったですか。【〇は1つ】

※親族・知人にみてもらった人のみ



泊まりがけで親族・知人に子どもを預けたときの困難度をみると、「特に困難ではなかった」が62.3%で最も高く、次いで「どちらかというとな難しかった」(21.2%)の順となっている。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

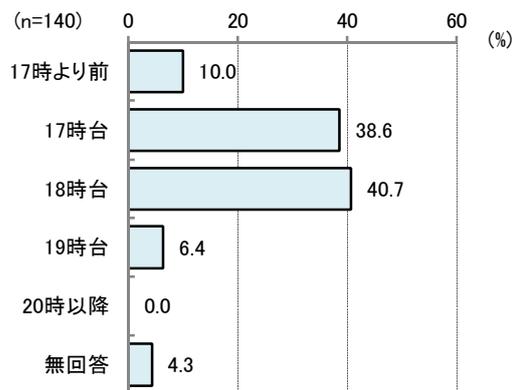
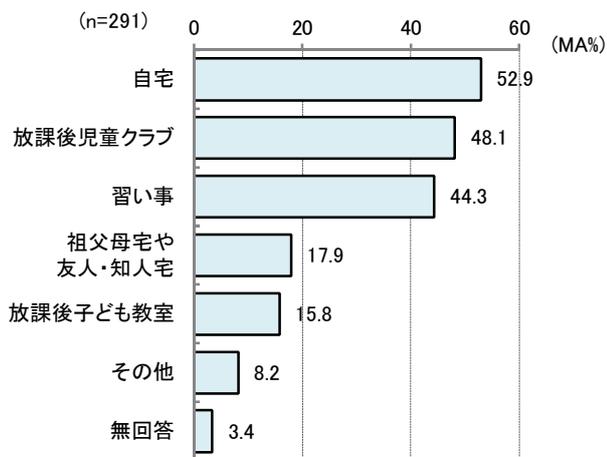
(1) 小学校低学年の放課後の過ごし方の希望

問 20 お子さんが小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はいくつでも】
希望するおおよその日数もご記入ください。また、放課後児童クラブを選んだ場合は、下校時から何時まで利用したいかもお答えください。

【小学校低学年の放課後の過ごし方の希望】

【放課後児童クラブの希望終了時間】

※放課後児童クラブを希望する人のみ



小学校低学年の放課後の過ごし方の希望をみると、「自宅」が52.9%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ」(48.1%)、「習い事」(44.3%)の順となっている。

放課後児童クラブの希望終了時間をみると、「18時台」が40.7%で最も高く、次いで「17時台」(38.6%)の順となっている。

【1週間の希望日数(放課後の居場所ごと)】

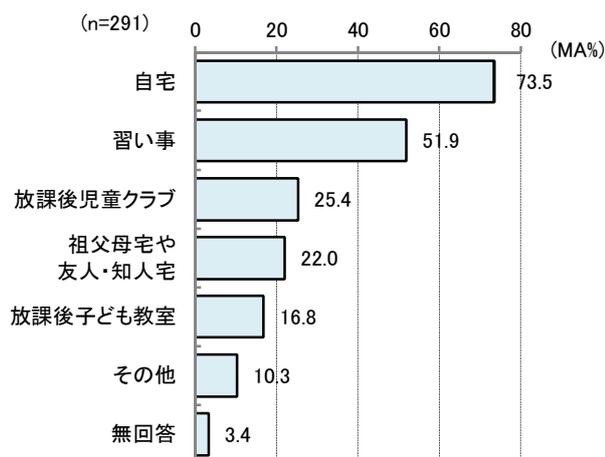
	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	154	15	29	25	15	61	9
	100.0	9.7	18.8	16.2	9.7	39.6	5.8
祖父母宅や友人・知人宅	52	13	16	4	2	14	3
	100.0	25.0	30.8	7.7	3.8	26.9	5.8
習い事	129	42	54	29	3	-	1
	100.0	32.6	41.9	22.5	2.3	-	0.8
放課後児童クラブ	140	4	8	10	19	94	5
	100.0	2.9	5.7	7.1	13.6	67.1	3.6
放課後子ども教室	46	24	9	8	1	2	2
	100.0	52.2	19.6	17.4	2.2	4.3	4.3
その他	24	7	6	7	3	-	1
	100.0	29.2	25.0	29.2	12.5	-	4.2

上段：件数、下段：%

(2) 小学校高学年の放課後の過ごし方の希望

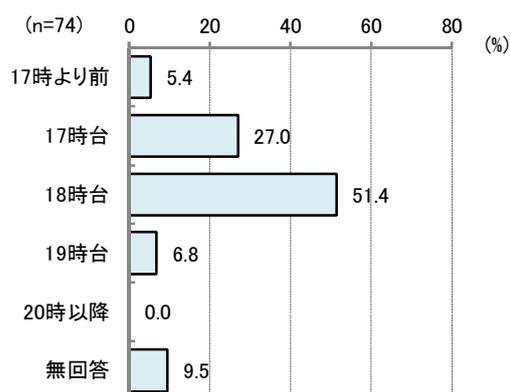
問 21 お子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はいくつでも】
希望するおおよその日数もご記入ください。また、放課後児童クラブを選んだ場合は、下校時から何時まで利用したいかもお答えください。

【小学校高学年の放課後の過ごし方の希望】



【放課後児童クラブの希望終了時間】

※放課後児童クラブを希望する人のみ



小学校高学年の放課後の過ごし方の希望をみると、「自宅」が73.5%で最も高く、次いで「習い事」(51.9%)、「放課後児童クラブ」(25.4%)の順となっている。

放課後児童クラブの希望終了時間をみると、「18時台」が51.4%で最も高く、次いで「17時台」(27.0%)の順となっている。

【1週間の希望日数(放課後の居場所ごと)】

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	214	27	37	25	16	96	13
	100.0	12.6	17.3	11.7	7.5	44.9	6.1
祖父母宅や友人・知人宅	64	15	20	10	3	12	4
	100.0	23.4	31.3	15.6	4.7	18.8	6.3
習い事	151	27	63	52	5	2	2
	100.0	17.9	41.7	34.4	3.3	1.3	1.3
放課後児童クラブ	74	3	11	13	2	41	4
	100.0	4.1	14.9	17.6	2.7	55.4	5.4
放課後子ども教室	49	21	13	11	-	1	3
	100.0	42.9	26.5	22.4	-	2.0	6.1
その他	30	11	7	5	1	2	4
	100.0	36.7	23.3	16.7	3.3	6.7	13.3

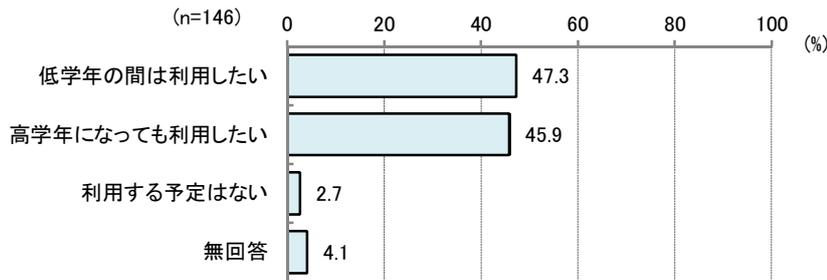
上段：件数、下段：%

(3) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問 22 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（アフタースクール）の利用希望はありますか。【〇は1つ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

【長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望】

※放課後児童クラブの利用を希望する人のみ

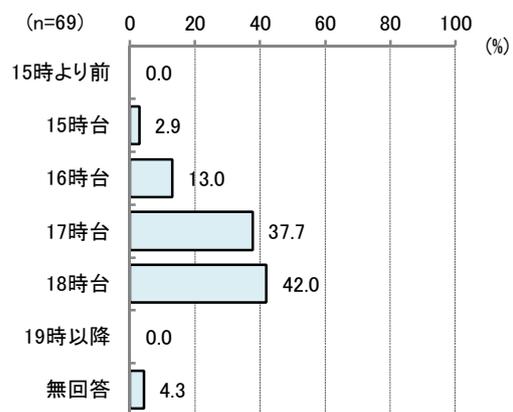
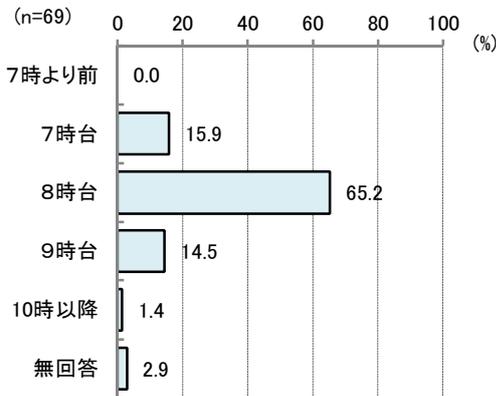


長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」が 47.3%で最も高く、次いで「高学年になっても利用したい」(45.9%)の順となっている。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※低学年の間は利用したい人のみ



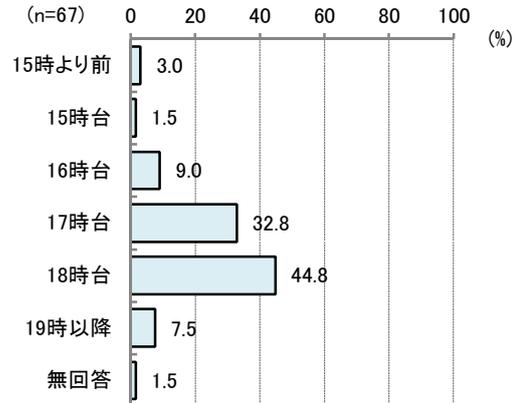
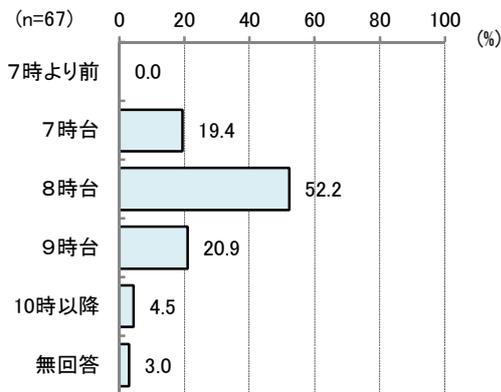
低学年の間は利用したい人の長期休暇中の希望開始時間をみると、「8時台」が 65.2%で最も高く、次いで「7時台」(15.9%)、「9時台」(14.5%)の順となっている。

希望終了時間については、「18時台」が 42.0%で最も高く、次いで「17時台」(37.7%)、「16時台」(13.0%)の順となっている。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※高学年になっても利用したい人のみ



高学年になっても利用したい人の長期休暇中の希望開始時間をみると、「8時台」が52.2%で最も高く、次いで「9時台」(20.9%)、「7時台」(19.4%)の順となっている。

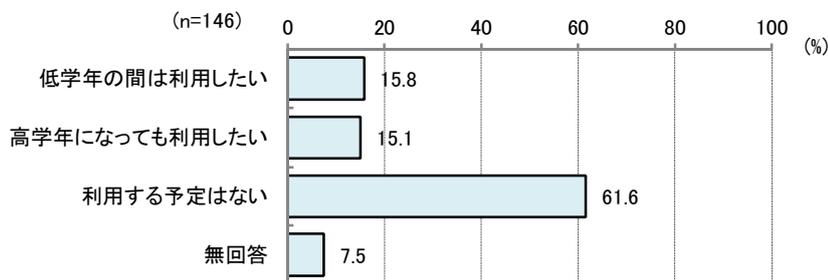
希望終了時間については、「18時台」が44.8%で最も高く、次いで「17時台」(32.8%)の順となっている。

(4) 土曜日、日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問 23 お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブ（アフタースクール）が利用できるとしたら、希望はありますか。【○は1つ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

【土曜日の放課後児童クラブの利用希望】

※放課後児童クラブの利用を希望する人のみ

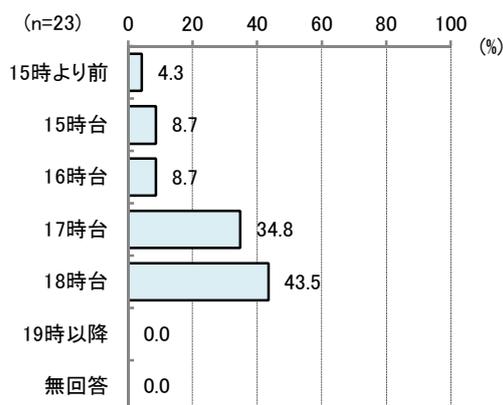
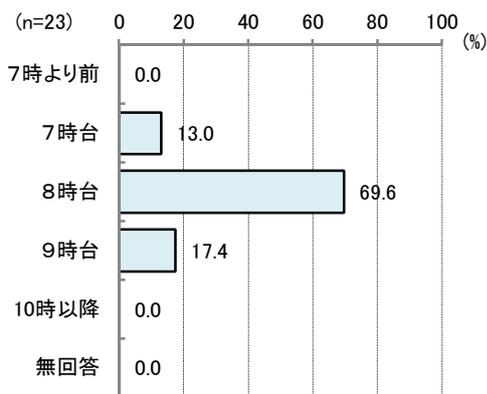


土曜日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する予定はない」が61.6%で最も高く、次いで「低学年の間は利用したい」(15.8%)、「高学年になっても利用したい」(15.1%)の順となっている。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

※低学年の間は利用したい人のみ



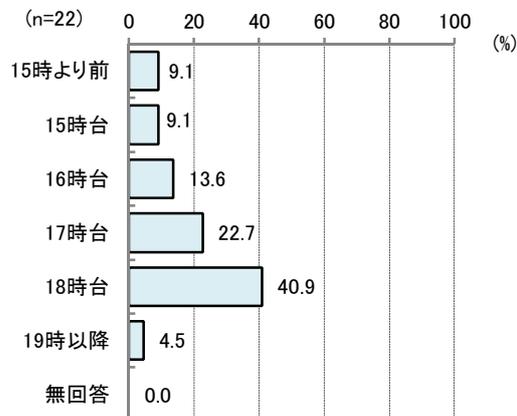
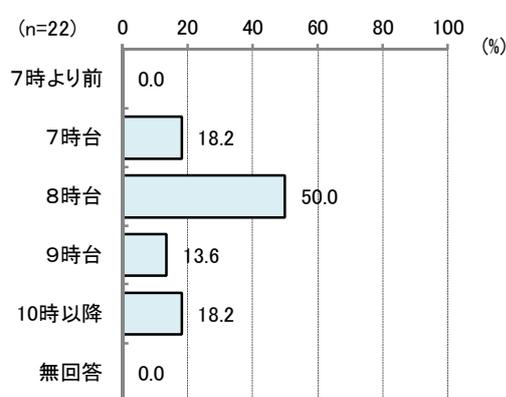
低学年の間は利用したい人の土曜日の希望開始時間をみると、「8時台」が69.6%で最も高く、次いで「9時台」(17.4%)、「7時台」(13.0%)の順となっている。

希望終了時間については、「18時台」が43.5%で最も高く、次いで「17時台」(34.8%)の順となっている。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

※高学年になっても利用したい人のみ

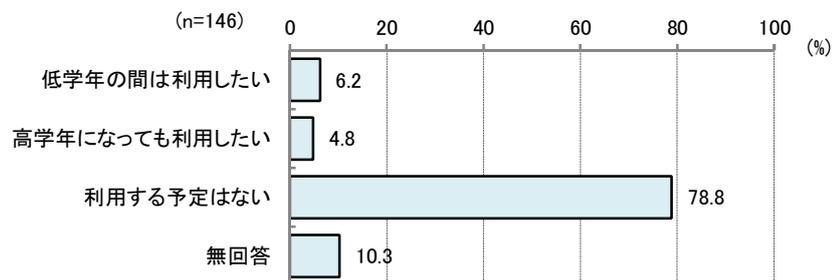


高学年になっても利用したい人の土曜日の希望開始時間をみると、「8時台」が50.0%で最も高く、次いで「7時台」(18.2%)、「9時台」(13.6%)の順となっている。

希望終了時間については、「18時台」が40.9%で最も高く、次いで「17時台」(22.7%)、「16時台」(13.6%)の順となっている。

【日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望】

※放課後児童クラブの利用を希望する人のみ

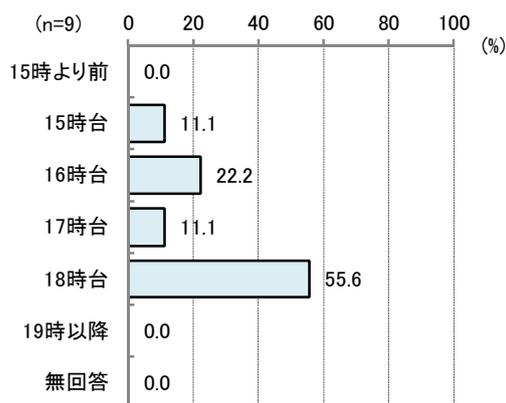
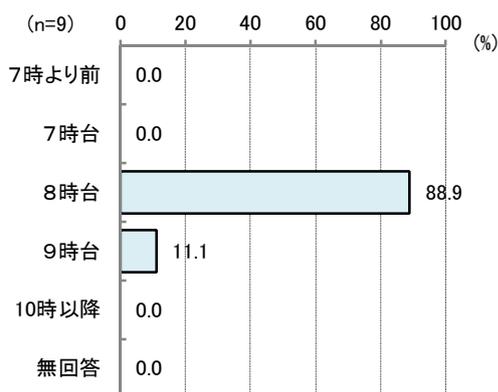


日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する予定はない」が78.8%で最も高く、「低学年の間は利用したい」、「高学年になっても利用したい」については数パーセントとなっている。

【日曜・祝日の希望開始時間】

【日曜・祝日の希望終了時間】

※低学年の間は利用したい人のみ



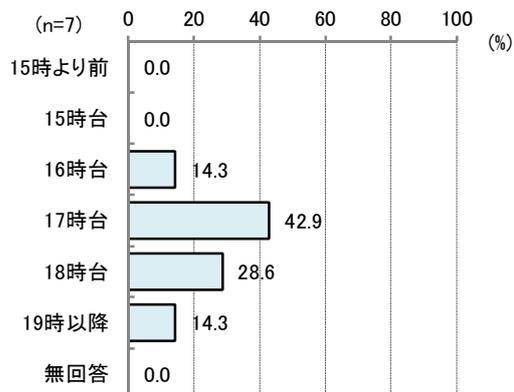
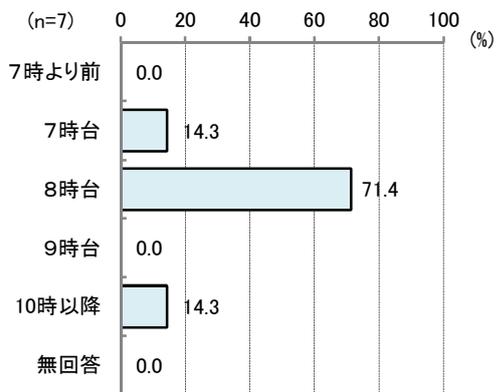
低学年の間は利用したい人の日曜・祝日の希望開始時間をみると、「8時台」が最も多く回答されている。

希望終了時間については、「18時台」が最も多く回答されている。

【日曜・祝日の希望開始時間】

【日曜・祝日の希望終了時間】

※高学年になっても利用したい人のみ



高学年になっても利用したい人の日曜・祝日の希望開始時間をみると、「8時台」が最も多く回答されている。

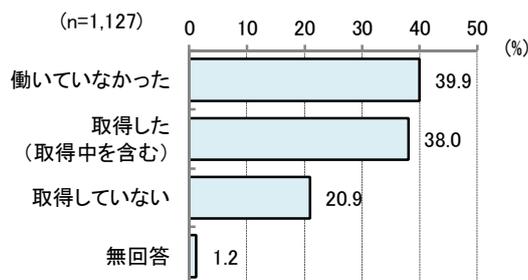
希望終了時間については、「17時台」が最も多く回答されている。

10. 保護者の育児休業取得状況

(1) 母親の育児休業取得状況

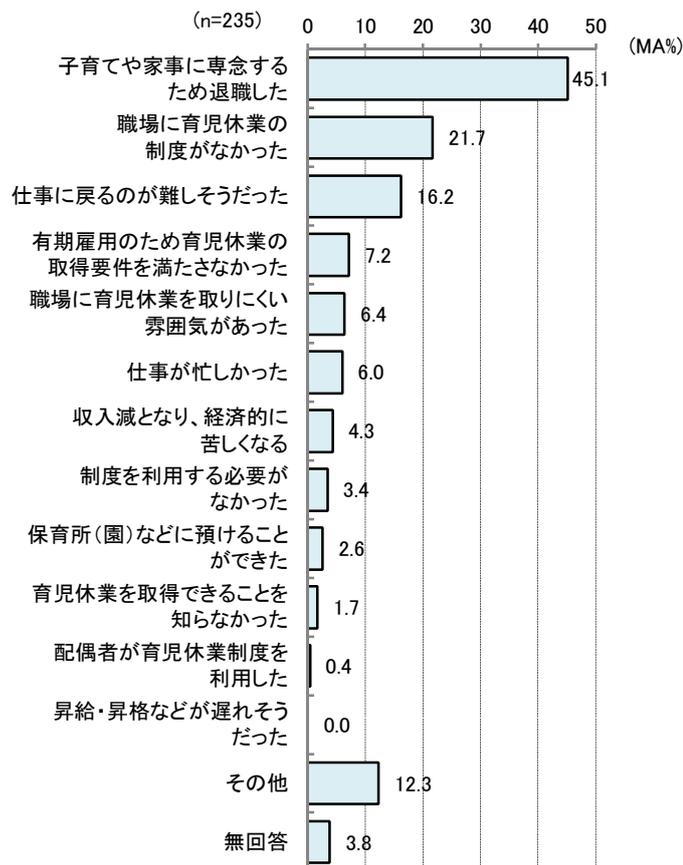
問 24 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。【○は1つ】

【母親の育児休業取得状況】



【取得していない理由】

※母親が育児休業を取得していない人のみ

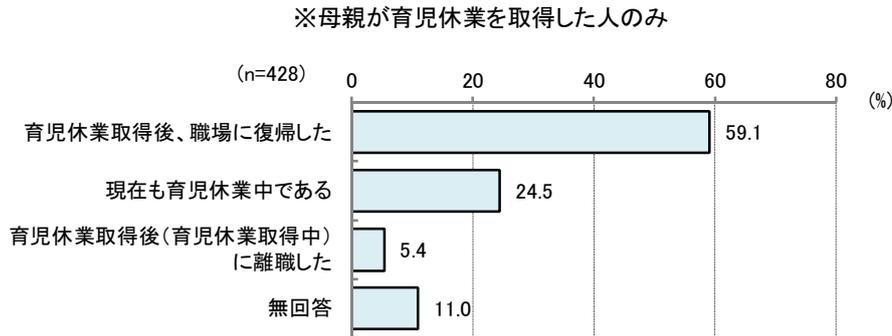


母親の育児休業取得状況をみると、「働いていなかった」が39.9%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」（38.0%）、「取得していない」（20.9%）の順となっている。

取得していない理由をみると、「子育てや家事に専念するために退職した」が45.1%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」（21.7%）、「仕事に戻るのが難しそうだった」（16.2%）の順となっている。

問 24 その他の内容	件数
自営業（自宅勤務を含む）のため	8
退職した	7
パート・アルバイトだった	5
その他	4

問 24-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【〇は1つ】

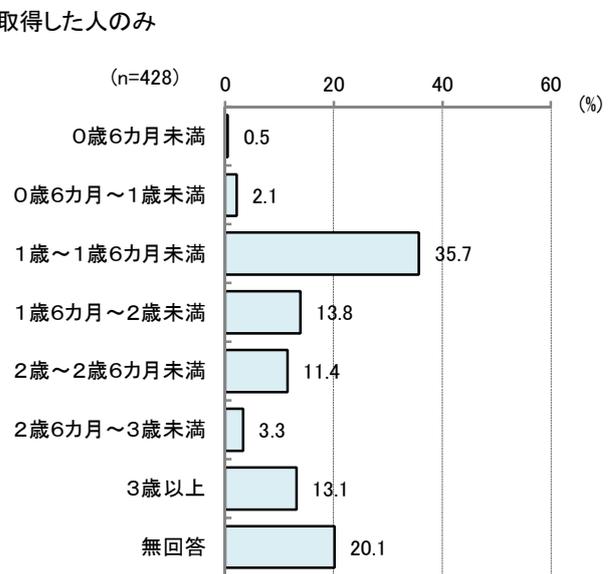
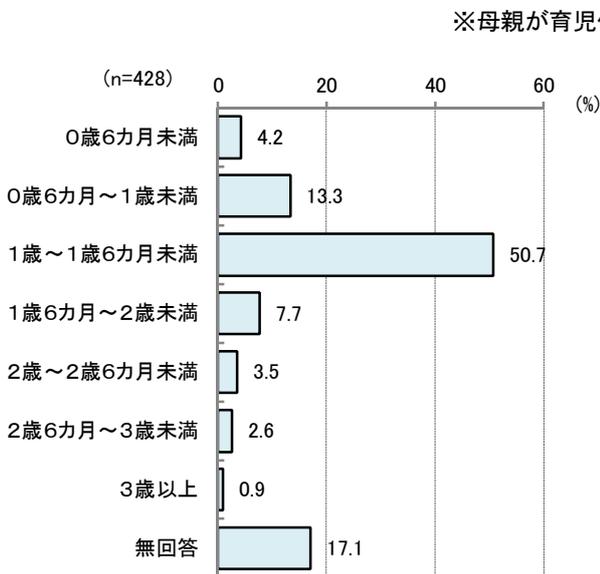


母親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 59.1%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」(24.5%)の順となっている。

問 24-2 実際に育児休業から職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、希望としては、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。お勤め先の育児休業の制度の期間内でお答えください。

【母親の実際の取得期間】

【母親の希望の取得期間】

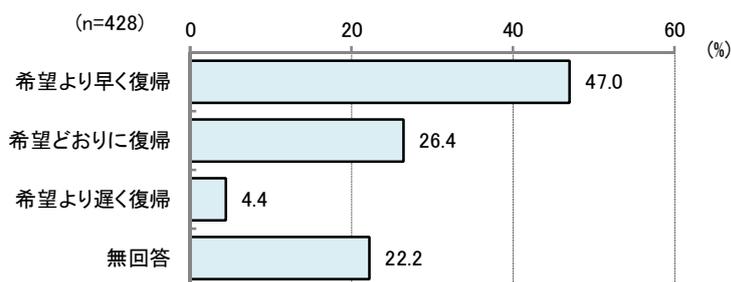


母親の実際の取得期間をみると、「1歳～1歳6カ月未満」が 50.7%で最も高く、次いで「0歳6カ月～1歳未満」(13.3%)の順となっている。

母親の希望の取得期間をみると、「1歳～1歳6カ月未満」が 35.7%で最も高く、次いで「1歳6カ月～2歳未満」(13.8%)、「2歳～2歳6カ月未満」(11.4%)の順となっている。

【母親の職場復帰のタイミング】

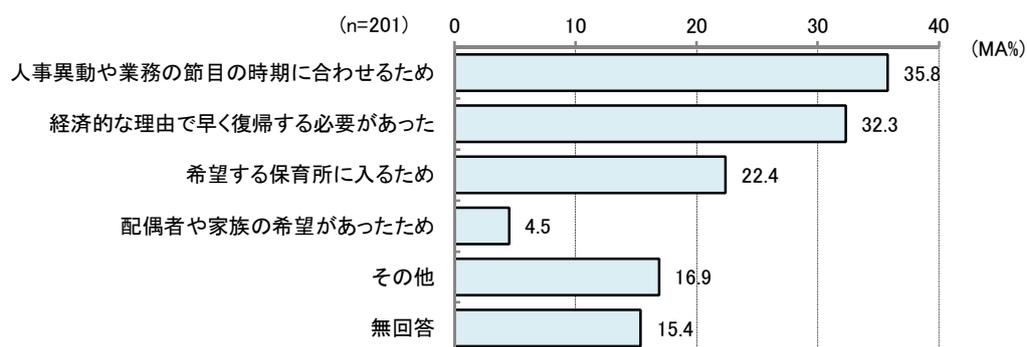
※母親が育児休業を取得した人のみ



母親の職場復帰のタイミングをみると、「希望より早く復帰」が47.0%で最も高く、次いで「希望どおりに復帰」(26.4%)の順となっている。

問 24-3 希望の時期より早く職場復帰した理由をお答えください。【〇はいくつでも】

※母親が希望より早く職場復帰した人のみ



母親が希望の時期より早く職場復帰した理由をみると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が35.8%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(32.3%)、「希望する保育所に入るため」(22.4%)の順となっている。

問 24-3 その他の内容	件数
職場が休みづらい雰囲気だった (前例がない等)	8
職場の要望・職場のルール	6
職場に迷惑がかかる	4
自営業 (自宅勤務を含む) のため	3
復帰を強制された	2
上の子が保育所に通うため	2
保育所に入所できたから	2
その他	5

(2) 父親の育児休業取得状況

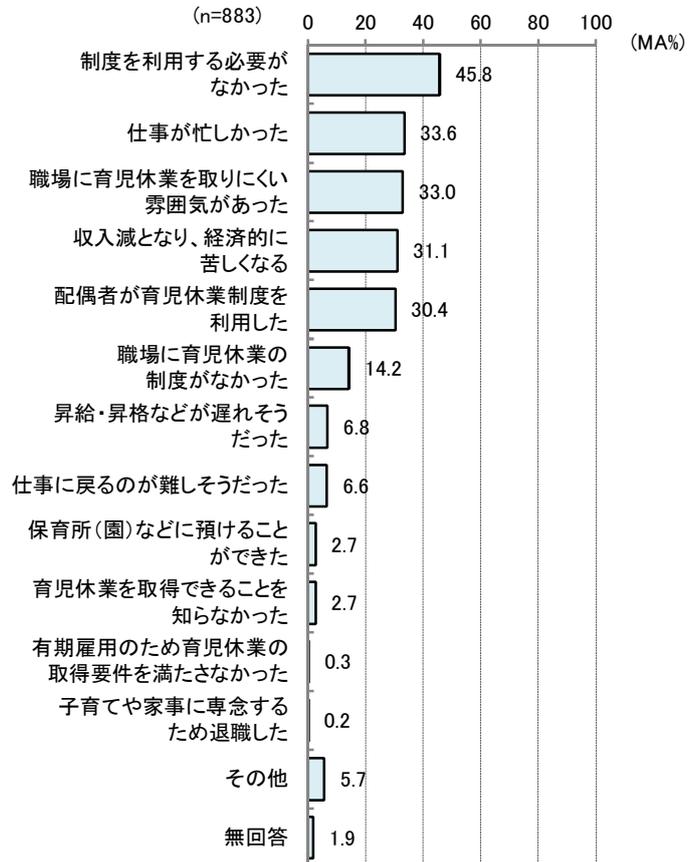
問 25 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。【○は1つ】

【父親の育児休業取得状況】



【取得していない理由】

※父親が育児休業を取得していない人のみ

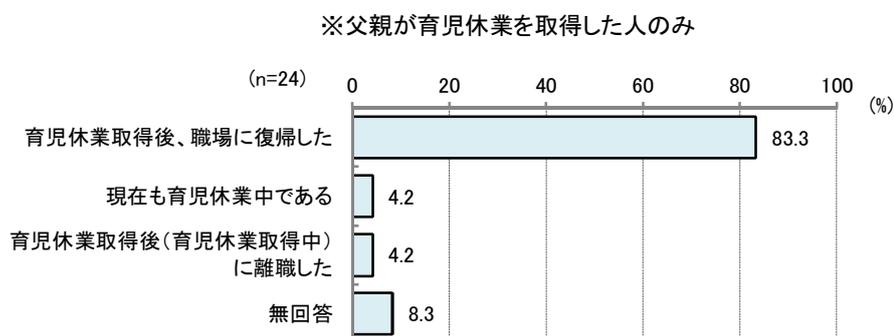


父親の育児休業取得状況を見ると、「取得していない」が83.5%と大半を占めている。

取得していない理由をみると、「制度を利用する必要がなかった」が45.8%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」(33.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(33.0%)の順となっている。

問 25 その他の内容	件数
自営業のため	16
取得する意識がなかった	9
業務や人員の関係	5
有給休暇等で対応した	4
母親が育児をするものだと思っている	4
会社に取得させてもらえなかった	2
会社に前例がなかった	2
海外にいたため	2
その他	8

問 25-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【〇は1つ】

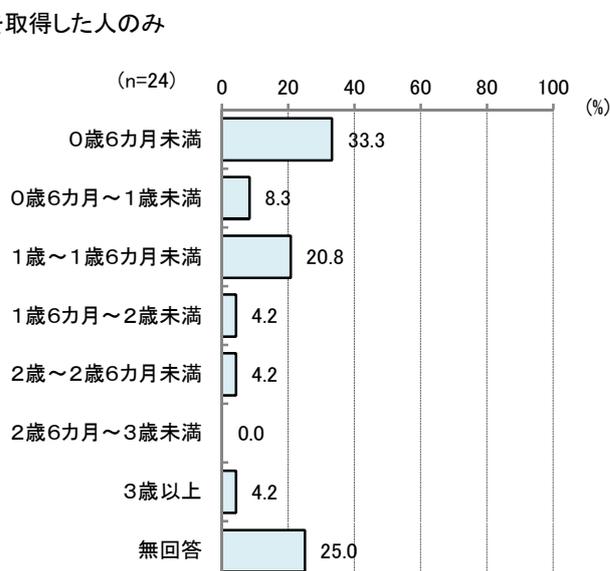
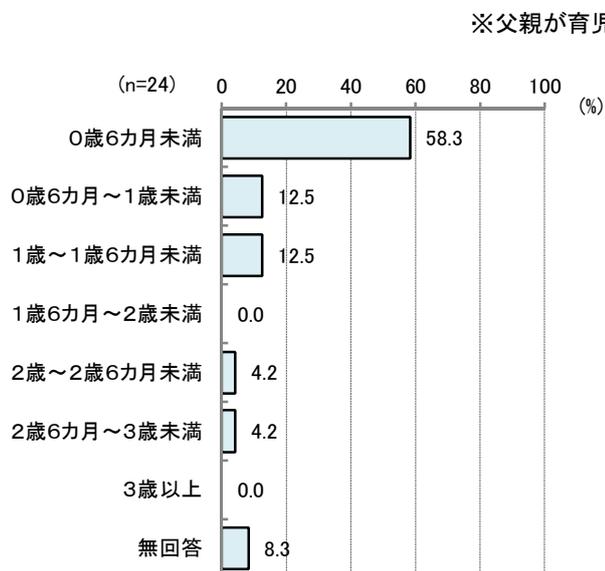


父親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 83.3%と大半を占めている。

問 25-2 実際に育児休業から職場復帰したのは、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、希望としては、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。お勤め先の育児休業の制度の期間内でお答えください。

【父親の実際の取得期間】

【父親の希望の取得期間】

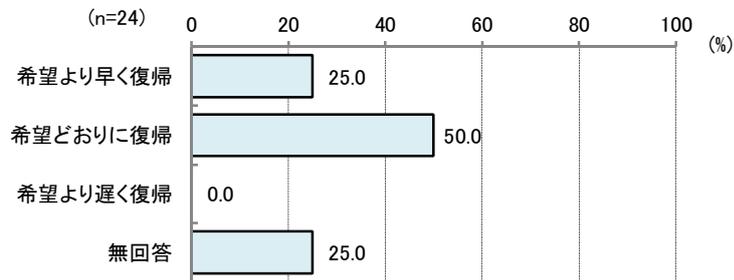


父親の実際の取得期間をみると、「0歳6カ月未満」が 58.3%で最も高く、次いで「0歳6カ月～1歳未満」と「1歳～1歳6カ月未満」が同率が続いている (12.5%)。

父親の希望の取得期間をみると、「0歳6カ月未満」が 33.3%で最も高く、次いで「1歳～1歳6カ月未満」(20.8%)の順となっている。

【父親の職場復帰のタイミング】

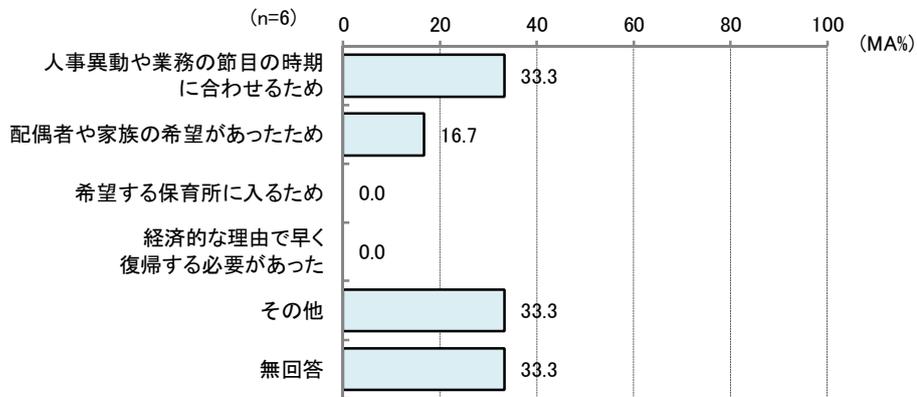
※父親が育児休業を取得した人のみ



父親の職場復帰のタイミングをみると、「希望どおりに復帰」が50.0%で最も高く、次いで「希望より早く復帰」(25.0%)の順となっている。

問 25-3 希望の時期より早く職場復帰した理由をお答えください。【〇はいくつでも】

※父親が希望より早く職場復帰した人のみ



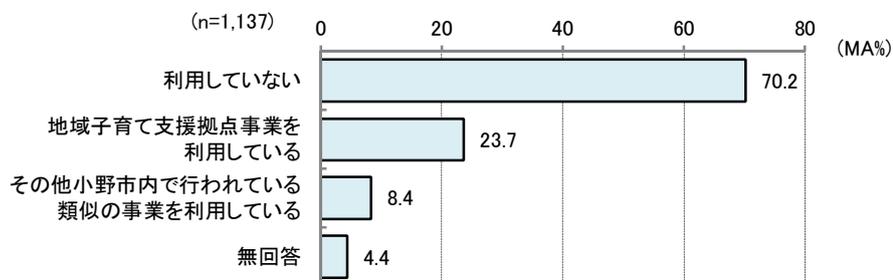
父親が希望の時期より早く職場復帰した理由をみると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が最も多く回答されている。

問 25-3 その他の内容	件数
職場に迷惑がかかる	1
長期期間は休めない	1

11. 地域子育て支援拠点事業の利用状況、利用希望

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 26 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。【〇はいくつでも】
また、利用している方はおおよその利用回数もお答えください。

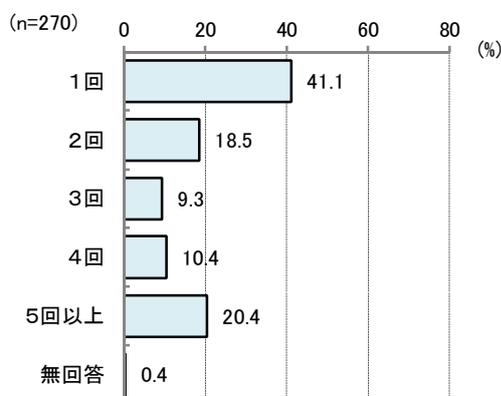


地域子育て支援拠点事業の利用状況を見ると、「利用していない」が70.2%で最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業を利用している」(23.7%)の順となっている。

問 26 類似の事業 具体名	件数
エクラ	9
子育てサロン	4
園庭開放	4
まちの子育て広場	2
その他	5

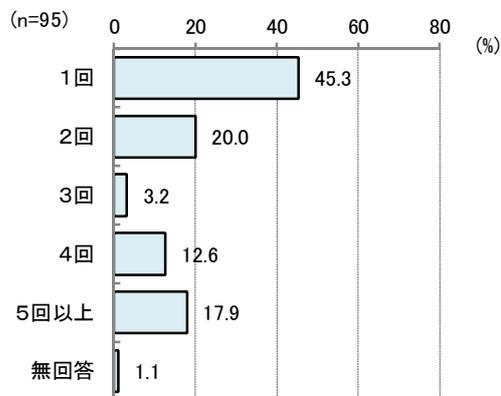
【地域子育て支援拠点事業の利用回数(月あたり)】

※地域子育て支援拠点事業を利用している人のみ



【類似事業の利用回数(月あたり)】

※類似事業を利用している人のみ

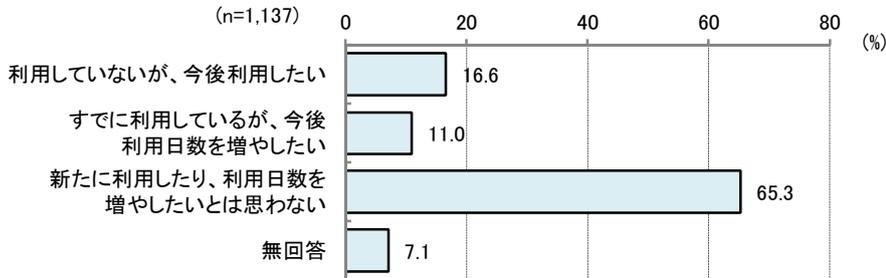


地域子育て支援拠点事業の利用回数(月あたり)を見ると、「1回」が41.1%で最も高く、次いで「5回以上」(20.4%)、「2回」(18.5%)の順となっている。

類似事業の利用回数(月あたり)を見ると、「1回」が45.3%で最も高く、次いで「2回」(20.0%)、「5回以上」(17.9%)の順となっている。

(2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問 27 問 26 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。【○は1つ】
また、希望するおおよその利用回数もお答えください。



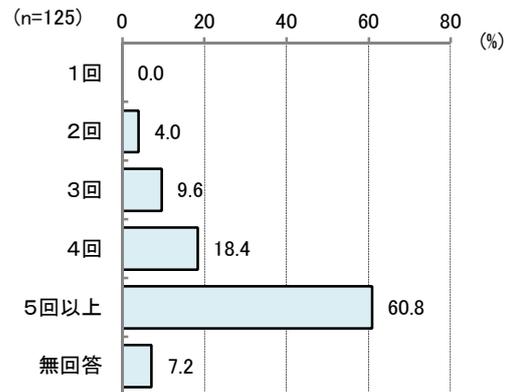
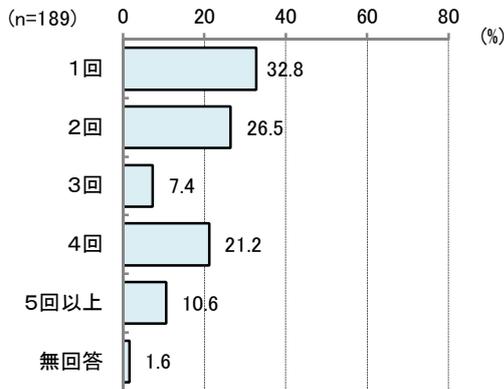
地域子育て支援拠点事業の利用希望をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 65.3%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(16.6%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(11.0%) の順となっている。

【地域子育て支援拠点事業の希望利用回数(月あたり)】

※地域子育て支援拠点事業を利用していない人のみ

※地域子育て支援拠点事業を利用している人のみ

(注)回数は「問 26 利用回数」+「問 27 今後増やしたい回数」



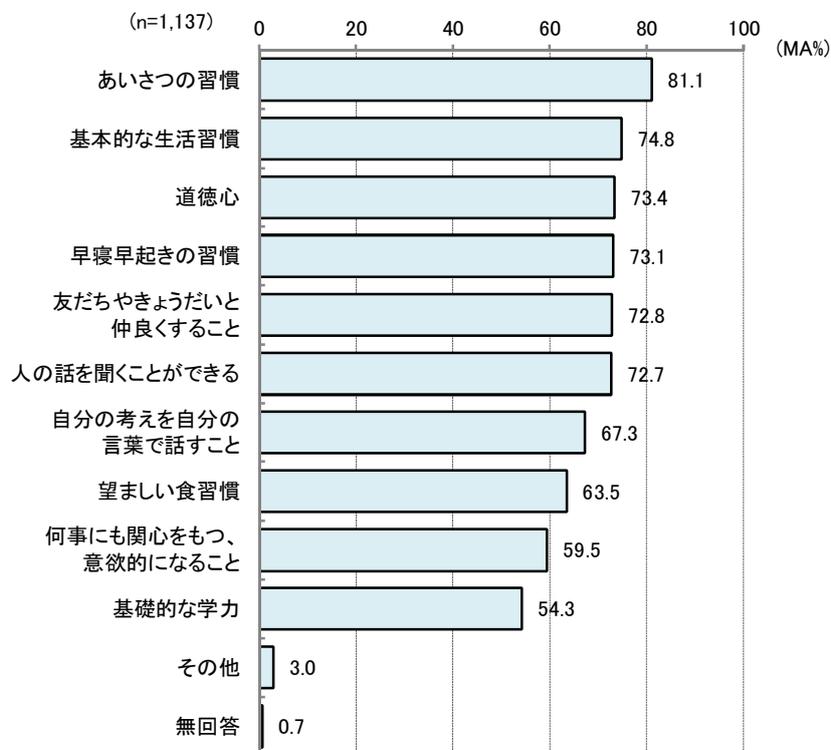
地域子育て支援拠点事業を利用していない人の希望利用回数(月あたり)をみると、「1回」が 32.8%で最も高く、次いで「2回」(26.5%)、「4回」(21.2%) の順となっている。

地域子育て支援拠点事業を利用している人の希望利用回数(月あたり)をみると、「5回以上」が 60.8%で最も高く、次いで「4回」(18.4%) の順となっている。

12. 子育て全般

(1) 小学校入学までに子どもに身につけさせたいこと

問 28 小学校入学までに、お子さんに特に身につけさせたいことは何ですか。【〇はいくつでも】



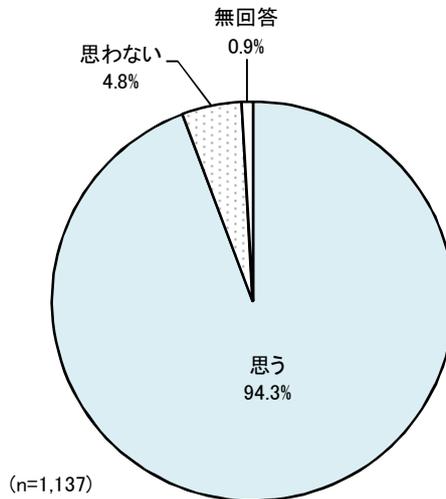
小学校入学までに子どもに身につけさせたいことをみると、「あいさつの習慣」が81.1%で最も高く、次いで「基本的な生活習慣」(74.8%)、「道徳心」(73.4%)の順となっている。

問 28 その他の内容	件数
基礎的な身体能力 (体操・水泳・ダンス等)・運動を楽しむこと	8
英語力	3
自己肯定感	3
体力	3
生きる力・自立心	3
基本的なマナー	3
交通安全意識や防犯意識	3
協調性	2
時間・約束を守ること	2
その他	8

(2) 今後、小野市で子育てをしたいと思うか。

問 29 今後も小野市で子育てをしたいと思いますか。【〇は1つ】

【今後、小野市で子育てをしたいと思うか】



今後、小野市で子育てをしたいと思うかをみると、「思う」が94.3%と大半を占めている。

【(居住地区別)今後、小野市で子育てをしたいと思うか】

	調査数	思う	思わない	無回答
全 体	1,137	1,072	55	10
	100.0	94.3	4.8	0.9
小野小学校区	232	215	15	2
	100.0	92.7	6.5	0.9
小野東小学校区	299	288	10	1
	100.0	96.3	3.3	0.3
河合小学校区	107	102	2	3
	100.0	95.3	1.9	2.8
来住小学校区	49	46	2	1
	100.0	93.9	4.1	2.0
市場小学校区	154	140	13	1
	100.0	90.9	8.4	0.6
大部小学校区	177	169	8	-
	100.0	95.5	4.5	-
中番小学校区	41	40	1	-
	100.0	97.6	2.4	-
下東条小学校区	59	57	2	-
	100.0	96.6	3.4	-
わからない	14	11	2	1
	100.0	78.6	14.3	7.1

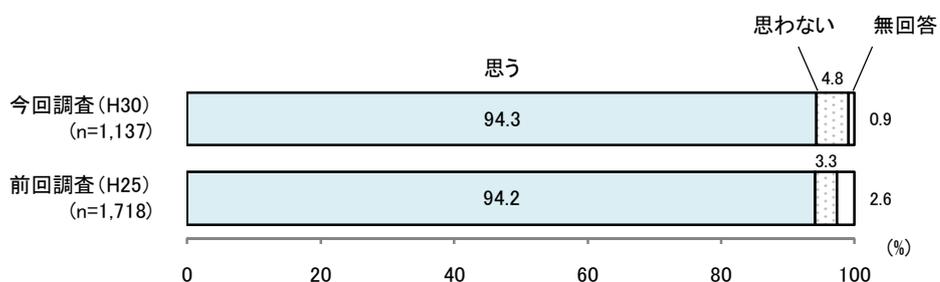
上段：件数、下段：%

【(世帯構成別)今後、小野市で子育てをしたいと思うか】

	調査数	思う	思わない	無回答
全 体	1,137	1,072	55	10
	100.0	94.3	4.8	0.9
ひとり親世帯以外	1,056	995	54	7
	100.0	94.2	5.1	0.7
母子世帯	71	67	1	3
	100.0	94.4	1.4	4.2
父子世帯	1	1	-	-
	100.0	100.0	-	-

上段：件数、下段：%

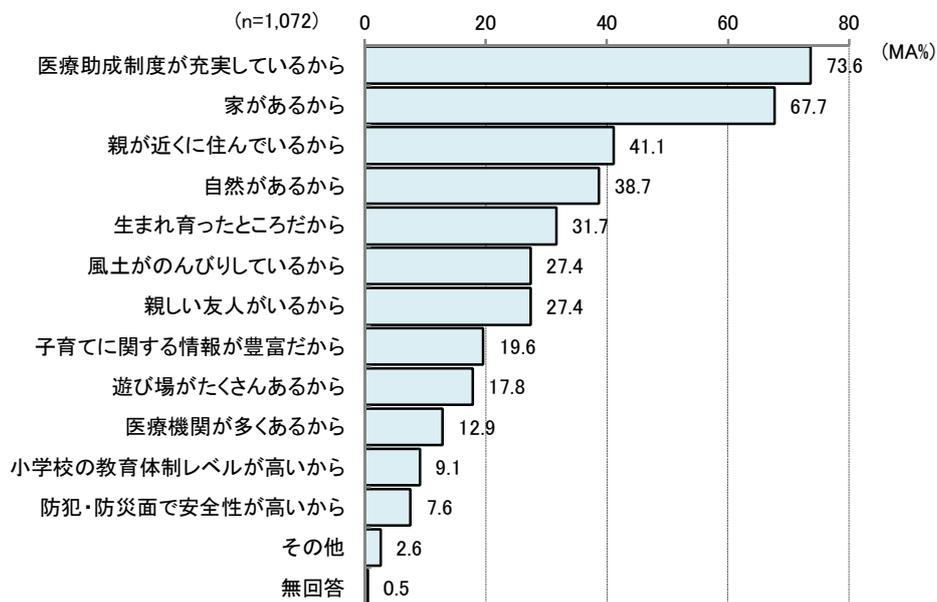
【(経年比較)今後、小野市で子育てをしたいと思うか】



今後、小野市で子育てをしたいと思うかについては、今回調査と前回調査で大きな差はみられない。

【小野市で子育てしたい理由】

※小野市で子育てをしたい人のみ

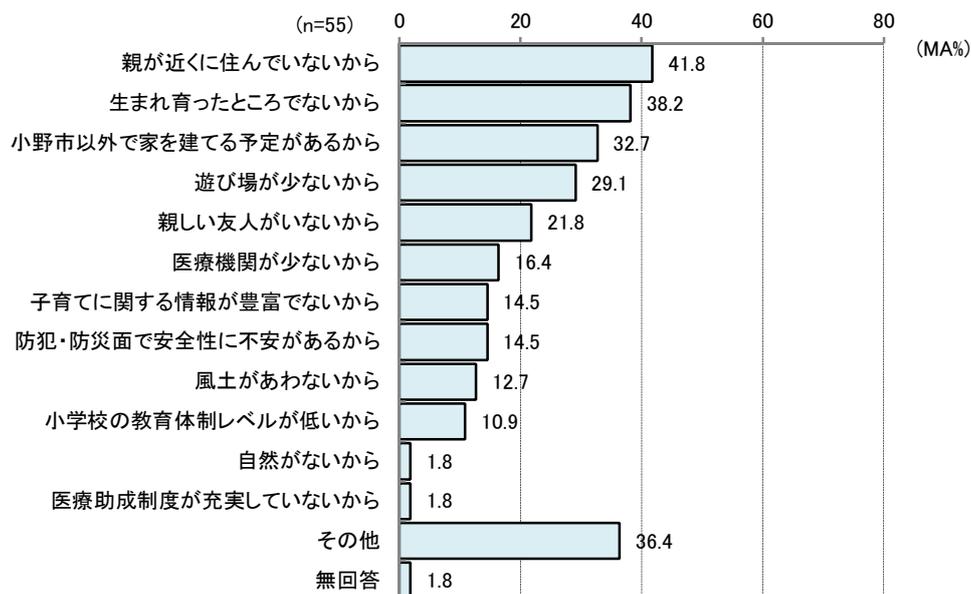


小野市で子育てしたい理由をみると、「医療助成制度が充実しているから」が73.6%で最も高く、次いで「家があるから」(67.7%)、「親が近くに住んでいるから」(41.1%)の順となっている。

問 29 小野市で子育てしたい理由 その他の内容	件数
職場が近いから	7
便利・住みやすい	3
子育て支援が充実しているから	3
小学校・中学校に魅力がある	2
子どもの友だちがいるから	2
他に行く所がないから	2
その他	10

【小野市で子育てしたくない理由】

※小野市で子育てをしたくない人のみ

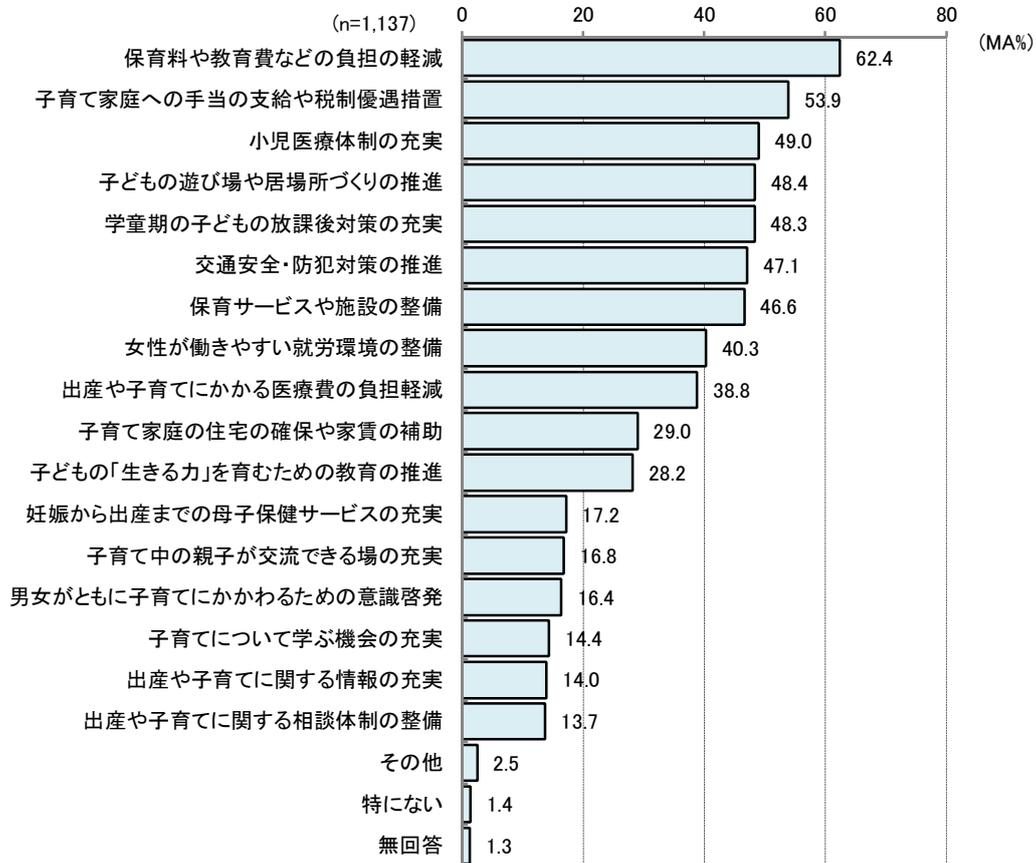


小野市で子育てしたくない理由をみると、「親が近くに住んでいないから」が 41.8%で最も高く、次いで「生まれ育ったところでないから」(38.2%)、「小野市以外で家を建てる予定があるから」(32.7%)の順となっている。

問 29 小野市で子育てしたくない理由 その他の内容	件数
引っ越す予定があるから	4
公共交通機関が少ないから	4
自治会や学校等の役職が面倒	3
日常の買い物が不便	2
その他	10

(3) 子どもを健やかに生み育てるために小野市に期待すること

問 30 子どもを健やかに生み育てるために、小野市にどのようなことを期待しますか。
【〇はいくつでも】



子どもを健やかに生み育てるために小野市に期待することをみると、「保育料や教育費などの負担の軽減」が 62.4%で最も高く、次いで「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」(53.9%)、「小児医療体制の充実」(49.0%)の順となっている。

問 30 その他の内容	件数
保育士・幼稚園教諭の確保・待遇向上	3
学校以外の勉強の場の充実	2
商業施設の誘致	2
生きる力を育む教育、思考力や個性を尊重した教育	2
産後ケアの充実	2
交通手段の充実	2
その他	15

13. 自由記述

【項目ごとの意見件数】

項目	件数
保育について	111
子育て支援について	95
経済的支援について	79
放課後児童クラブ・放課後対策について	54
医療体制について	51
公共施設（公園・遊び場等）について	50
児童館・エクラ等について	47
幼稚園について	36
安全・防犯対策について	29
小学校・中学校について	20
公共交通機関・道路整備について	19
こども園について	14
労働環境について	10
障がいのある子ども・発達障がいへの支援について	8
ファミリー・サポート・センターについて	8
その他の意見	54
合 計	685

II 調査結果・就学前児童

◆ 子育て支援について

内容	件数
小野市は子育て支援は充実している。子育てしやすい。	19
子育てサークルの増や充実を（年齢別・活動周知・参加しやすい環境づくり等）。	8
子育てや保育に関する情報を、ネットやSNS、広報誌等で積極的に発信してほしい。	7
警報、学級閉鎖等によって子ども達が登校できなくなった時の預かり先がほしい。	5
市職員の資質の向上を（子育て相談・発達相談・転入者への説明技術や知識等）。	4
産前産後のケア体制を充実してほしい。	4
休日等に、子どもと行ける場所・イベント・運動教室等を増やしてほしい。	4
一時預かりの内容の充実を（夜間・小さな赤ちゃん・年齢の離れたきょうだい等）。	4
乳児の間は、もっと多く健診をしてほしい（7カ月、10カ月等）。	4
乳幼児健診を受診しやすいよう、日程や時間帯を考えてほしい。	3
市主体の習い事（英語・音楽・体操）の教室やサークルがあればよい。	3
育児教室の充実を（離乳食等のテーマ別・子連れで参加しやすい環境づくり）。	3
習い事や通院時等、送迎サービスがあればよい。	2
母親の交流の場や趣味活動・習い事場の提供など、息抜きのための支援が必要。	2
ひとり親家庭の交流の場をつくってほしい。	2
子育てサロンを2年で卒業しないといけない制度は見直してほしい。	2
BPプログラムのような取り組みがあれば、親同士の横のつながりが広がると思う。	2
小野市の子育て情報誌を作成し、配布してほしい。	2
育児相談の回数を増やしてほしい。インターネットでの相談にも対応してほしい。	2
意識改革のため、男性が子育てを学べる場や相談できる場を増やしてほしい。	2
産後2～3カ月の時点で、新生児訪問があればよい。	2
訪問や健診の実施だけでなく、フォローもしっかりしてほしい。	2
小野市より三木市のほうが子育て支援は進んでいると思う。	1
土・日・祝に利用できる地域子育て支援事業があればよい。	1
小野市はコミュニケーションの場が多くてとてもよいと思う。	1
小野市のホームページは、子育てに関する情報を探しにくい。	1
相談窓口の担当者が変わると相談しにくい。事情が分かった人に相談したい。	1
全ての家庭に対して4・5歳児の発達相談を行ってほしい。	1
他市で実施している子どもの発達についてのメール配信などがあればよい。	1

◆ 保育について

内容	件数
土・日・祝、長期休暇中、年末年始の預かりを充実してほしい。	12
家の近くの保育所や希望通りの保育所が利用できるようにしてほしい。	10
病児保育施設を充実してほしい（定員を増やす、施設を増やすなど）。	8
育休の途中に利用できなくなる制度は見直してほしい。	7

内容	件数
子どもを第一に考えてくれるような、保育士の質の向上を図ってほしい。	6
保育所によって、保育の質の格差がないよう保育の質の向上を図ってほしい。	5
親の病気等、急な場合でも一時預かりに対応してくれるよう改善してほしい。	5
無償化の対象年齢を引き下げてほしい。	5
働いていないのに保育園へ入園させている家庭が少なくないと思う。	4
車で通所する環境を整えてほしい（駐車場の改善や車に配慮した道幅の確保等）。	4
待遇面の改善等、施設の職員が働きやすい環境づくりを進めてほしい。	3
施設が古いのできれいにしてほしい。遊具・空調設備を整えてほしい。	3
利用時間を拡大してほしい（早朝・延長等）。	3
一時預かり等のサービスは、ネットで予約や空き状況の確認ができればよい。	2
病児保育の手続きを簡素化するなど、利用しやすくしてほしい。	2
育休中や出産前でも入所予定がある場合、申し込みを受け付けてほしい。	2
祖父母が同居していると利用できない制度は見直してほしい。	2
小学校区によって保育所の数が異なる。	2
園舎や園庭を広くしてほしい。	2
保育園内の連絡体制を整えてほしい。親と連絡を密にとってほしい。	2
共働きの家庭が参加できない行事が多いので、見直してほしい。	2
4・5歳の既に無償化された予算を他の施策に積極的に活用してほしい。	2
無償化で、保育園に行く人ばかりが増え、幼稚園に行く人が少なくなるのが心配。	2
無償化を進めるより、施設整備や人材の確保等に力をいれてほしい。	2
保育の無償化には反対。きちんと収入によって保育料を支払うべきだと思う。	1
一時預かりを、一定金額を払えば何度利用してもよい制度にしてほしい。	1
病児保育の開始時間を早めてほしい。	1
保育サービスの利用に要する手続きを簡素化してほしい。	1
公立の保育所やこども園をつくってほしい。	1
保育所が見つからず働けない、働き先がないと保育園に入れない矛盾を解消して。	1
きょうだいで同じ保育所に入れるようにしてほしい。	1
保育所の選定に偏りが見られると思う。	1
園児募集を1年に2回にしてほしい。	1
産前産後の保育所利用の期間が短すぎる。	1
手続きの仕方や保育園の種類、場所等について講習会をしてほしい。	1
休んだ日を計算して保育料から減らしてほしい。	1
残業等のやむを得ない場合でも、延長料金を取られることに対して不満がある。	1
週1日程度、体操教室や英語教室等があればよいと思う。	1

II 調査結果・就学前児童

◆ 幼稚園について

内容	件数
3歳から利用できるようにしてほしい。	16
幼稚園をなくさないでほしい。	6
幼稚園は少人数で、きめ細やかに的確に指導してもらえる。	4
延長保育をしてほしい。	3
お弁当は負担がかかるので、完全給食にしてほしい。	2
長期休暇中も預かってほしい。	1
新制度において、保育所ばかり優遇されて幼稚園は恩恵を受けていない。	1
幼稚園でも、地域の小学生と交流できる機会があればよい。	1
音楽・美術・体育など、感性を磨く教育をもっと充実させてほしい。	1
教員の数を増やしてほしい。	1

◆ こども園について

内容	件数
こども園化を進めてほしい。こども園の数や定員枠を増やしてほしい。	5
幼稚園枠が少なすぎる。保育所メインになっているように思う。	3
保育部は保育士による保育、幼稚園部は幼稚園教諭による教育ときちんと線引きをしてほしい。	3
幼稚園に3歳児枠がないので、3歳児枠を増やしてほしい。	2
幼児教育を取り入れながら、保育してほしい。	1

◆ 小学校・中学校について

内容	件数
校区を選べるようにしてほしい	4
学習環境づくりに力を入れているとは思えない。もっと力を入れてほしい。	2
学力向上ばかりが優先されていると思う。	2
小・中学校があれていると聞いて不安がある。	2
おの検定の取り組みはよいと思う。	2
教員の質の向上を図ってほしい。	2
アレルギー対応給食を導入してほしい。	2
教育に対する取り組みが充実しているが、先生の負担が増えているように思う。	1
トイレの洋式化など設備を充実してほしい。	1
全校制服にしてほしい。	1
小学校でも歯磨き習慣を徹底してほしい。	1

◆ 放課後児童クラブ・放課後対策について

内容	件数
4年生以上も利用できるようにしてほしい。	14
定員枠を増やしてほしい。	5
放課後の子どもの居場所づくりを充実してほしい（親ぶた子ぶたなど）。	5
利用時間を拡大してほしい。	3
土・日・祝も毎週利用できるようにしてほしい。	3
利用料を減額してほしい（18時以降の延長料金、1回毎の料金制等）。	3
指導員の充実や広さの確保等、環境整備に力を入れてほしい。	3
長期休暇中だけでも4年生以上が利用できるようにしてほしい。	2
募集時期に働いていなくても、今後働く予定の人の申し込みも受け入れてほしい。	2
預かるだけでなく、習い事を兼ねたようなスタイルにほしい。	2
就労の有無に関わらず、だれでも利用できればよいと思う。	1
祖父母が同居していても放課後児童クラブに入所できるよう見直してほしい。	1
ひとり親家庭の場合は、希望すればいつでも利用できるようにしてほしい。	1
警報時等にも預かってほしい。	1
地域のために働きたいので、小野市の放課後児童クラブでも正規採用をしてほしい。	1
送迎が負担、送迎ができないなどの理由で、利用できない。	1
手続きが面倒。更新の場合は去年の申請書で対応するなど工夫してほしい。	1
なるべく校区の小学校で利用したい。	1
長期休暇中は給食対応してほしい。	1
子ども自身が過ごしやすく感じるかなど不安がある。	1
放課後子ども教室の内容等について、広報やホームページで情報発信してほしい。	1
放課後子ども教室の日数を増やしてほしい。	1

◆ 障がいのある子ども・発達障がいへの支援について

内容	件数
障がいのある子どもの支援施設を市内に整備してほしい。	4
市内全保育園で障がいのある子どもの受入を整備し、加配制度を導入してほしい。	2
障がいのある子どもの教育方針をもっと明確に示してほしい。	1
障がいのある子どもの放課後の預かりを増やしてほしい。	1

II 調査結果・就学前児童

◆ ファミリー・サポート・センターについて

内容	件数
利用の手続きが面倒で、気軽に利用できない。	2
制度や利用方法をよく知らない。最近までこのサービスを知らなかった。	2
利用料が安くて助かる。	1
一般の家庭に預けることに不安がある。	1
利用したいが、断られることが多い。	1
広報等で利用体験談を掲載してほしい。	1

◆ 児童館・エクラ等について

内容	件数
チャイコムやエクラは赤ちゃん向けで、年長児や小学生は遊びにくい。年齢ごとに遊ぶ場所を分けてほしい。	8
西脇市のミライエのような施設がほしい。子育てに関するさまざまな事業等を1つの場所でまとめてやってほしい。	5
遊んでいる子どもの様子をきちんと見てくれる人を配置してほしい。	5
常連が多く、たまに行く人は気軽に利用しにくい雰囲気がある。	5
チャイコム等の施設に、おもちゃや遊び場を充実させてほしい。	4
小学生や中学生、高校生が学習したり、遊んだりできる施設を整備してほしい。	4
チャイコムでは親子の交流や子育て相談ができて、助かっている。	3
0歳児が遊べる遊具・イベントがない。	2
土・日・祝に参加できる教室やお祭りなどのイベントがあればよい。	2
図書館の幼児・児童書のコーナーを、子どもの興味をひく陳列にしてほしい。	2
エクラの児童が協力して1つのものをつくり上げて発表する場はとてもよい。	1
園や学校の行事でエクラを利用した場合、誰でも観覧できるようにしてほしい。	1
アルゴで幼児対象の教室を増やしてほしい。	1
エクラは利用料がかかるので、気軽に利用できない。	1
車がないと行きにくい。らんらんバスの本数を増やすなどしてほしい。	1
チャイコムでリトミックを増やしてほしい。対象年齢も下げてほしい。	1
児童館で託児サービスがあれば助かる。	1

◆ 公共施設（公園・遊び場等）について

内容	件数
近くに遊び場や公園がないので、もっと増やしてほしい。	14
公園に遊具を増やすなど、充実した公園を増やしてほしい。	11
ボール遊びができる公園、子どもが自由にのびのび遊べる公園がほしい。	6
公園をもっときれいに整備してほしい。	4
幅広い年代の子どもが、自由に遊べる場所がほしい。	4

内容	件数
公園施設の安全管理・防犯・防災対策を推進してほしい。	4
雨天でも遊べる屋内の遊び場がほしい。	3
キャンプ場など、自然と触れ合える場所がほしい。	1
ひまわりの丘公園の「遊べる噴水」の時期を早めてほしい。	1
どの公園でどんな遊びができるのかわかるよう、公園マップを作成してほしい。	1
川遊びができる所がほしい。	1

◆ 公共交通機関・道路整備について

内容	件数
歩道を整備してほしい。	9
通学時間のらんらんバスを増便するか、スクールバスを整備してほしい。	7
らんらんバスを増便するなど、交通網を整備してほしい。	3

◆ 安全・防犯対策について

内容	件数
地域の防犯対策を強化してほしい（防犯カメラの設置等）。	10
通学路等の安全対策を強化してほしい（標識やカーブミラー等の設置等）。	7
見守り活動隊の活動は大変よいと思う。安全パトロールを増やしてほしい。	5
街灯が少なく、防犯面での不安がある。	4
人気の無いところ、子どもの少ない地域の見守りもしてほしい。	2
新低学年も上級生と下校できるようなシステムがあると安心。	1

◆ 医療体制について

内容	件数
夜間や休日の小児医療体制を充実してほしい。	27
北播磨総合医療センターに救急対応がない。24時間365日体制にしてほしい。	13
小児科が少ない。総合病院の整備等、小児医療体制を充実してほしい。	5
大きい病院に行けなくなったので不便。市民病院を残してほしい。	2
救急対応してくれる病院がわかるサイトや情報誌がほしい。	1
ビデオ通話などで、子ども医療電話相談(#8000)が利用できると心強い。	1
小児医療の診察を予約できるようにしてほしい。	1
将来的に医療人材不足が予想されるので、医療系専門学校や短大を設立してほしい。	1

◆ 経済的支援について

内容	件数
医療費無料は魅力的。助かっている。	21
保育料や育児にかかる費用をもっと助成してほしい。	10
子どものインフルエンザ等自費負担の予防接種に助成してほしい。	10
第2子以降の保育料の減額・無償化や多子世帯に対する手当を充実してほしい。	9
保育料・教育費の補助があるので、助かっている。	6
若い人が住みやすいよう、家賃・通勤補助や税の優遇を促進してほしい	5
妊娠・出産にかかる医療費の補助・手当を増やしてほしい。	3
高校生にも児童手当や経済的支援を支給してほしい	3
不妊治療の助成を手厚くしてほしい。	2
児童手当を増額してほしい。特に2人目、3人目はもっと増額してほしい。	2
ひとり親家庭に対する支援を手厚くしてほしい。	2
生活のために働いているのに、収入が多いと免除制度が適応されないのは不公平。	2
医療費無料はありがたいが、病院の正しい受診法等の啓発も行うべきだと思う。	1
育児休業給付金は希望者全員が延長できるようにしてほしい。	1
育休中の人に対する経済的支援があればよい。	1
現在は色々な家庭形態がある。実情に合わせた経済的支援を行ってほしい。	1

◆ 労働環境について

内容	件数
父母ともに育休を摂りやすい、働きやすい環境の整備など、男女がもっと協力して育児にかかわれるような土壌をつくってほしい。	5
小野市で働きたいが、働ける場所が少ないので難しい。企業誘致をしてほしい。	2
女性（特に子育て中の女性）の業務内容、賃金の見直しや補助等をしてほしい。	1
子どもの病気等で急な休みがとりやすい職場が増えてほしい。	1
子育て中の母親が働きやすいよう、企業に多様な働き方の啓発をしてほしい。	1

◆ その他の意見

内容	件数
地域役員、当番、PTAの負担が大きい。	5
小野市は自然があって、子育てに適した環境だと思う。住みやすい。	4
子育てにかかる費用を考えると、子どもを産みにくい。	4
市役所が、18時以降や土・日・祝に開庁している日があればよいと思う。	3
チャイルドシートやベビーベッド等のレンタル制度・購入助成があればよい。	3
子どものおもちゃや洋服のフリーマーケットやバザーが定期的であればよい。	3
ベビーグッズや子供服を扱う専門店の誘致してほしい。	3
食の安全を守る環境の整備や給食内容の充実等、食育に力を入れてほしい。	2

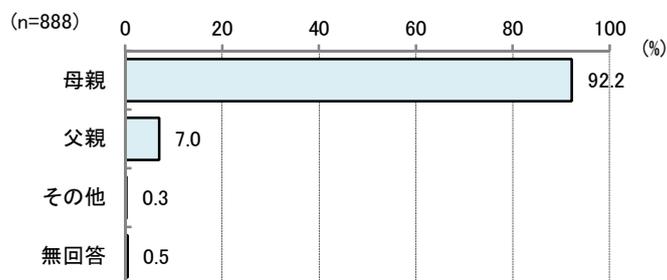
内容	件数
子どもを叱れる親、叱ってくれる大人が少ないと思う。	2
地域が古い考えや伝統に縛られ過ぎているように思う。	2
定期健診や市役所に出向いた際、温かい言葉をかけてもらえ、うれしく思う。	2
窓口での問い合わせの際、市職員の対応が親切でなかった。	2
広報等で子育ては母親がするもの、という意味にとれる発言があり、子育てを応援する市としてふさわしくないと思う。	1
子育てが終わったら、地域のボランティアに参加したい。	1
地域により子どもが減少。子育て世帯が市街地以外に移住する環境を整えてほしい。	1
両親が働かなくてはならないという風潮を改善してほしい。	1
子供会に強制加入させられるのはおかしい。	1
脳科学理論に基づいた教育に疑問がある。	1
教育の低年齢化を推進し小さな頃から能力や個性を引き出す環境を整えてほしい。	1
IOC 教育を取り入れてほしい。	1
モンテッソーリ教育を教える施設があればよい。	1
親が自由参加できるオープンスクールを月に数回設けてほしい。	1
子育て世代（20・30歳代）が検診を受けやすいよう環境整備、助成をしてほしい。	1
市役所内では個人情報の管理は徹底してほしい。	1
公共施設での受動喫煙対策を進めてほしい。	1
子どもが老後安心できるようにしてほしい。	1
地域全体で子どもを育てるまちであってほしい。	1
定期的にアンケートをとって、子育て世代の意見を聞いてほしい。	1
アンケートでの市民の意見を市政にきちんと反映してほしい。	1
無記名式とあっても、学校区、生年月日の記入があるのは、記名式と変わらない。	1
就労時間の間など、平均が出しにくく、答えにくい設問があった。	1

Ⅲ 調査結果・小学生児童

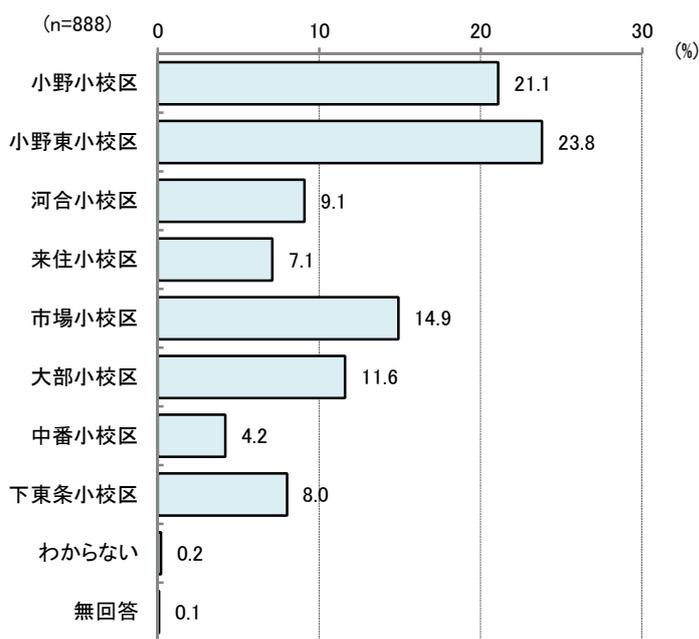
Ⅲ 調査結果・小学生児童

1. お子さんご家族の状況

(1) 調査回答者 (問1)

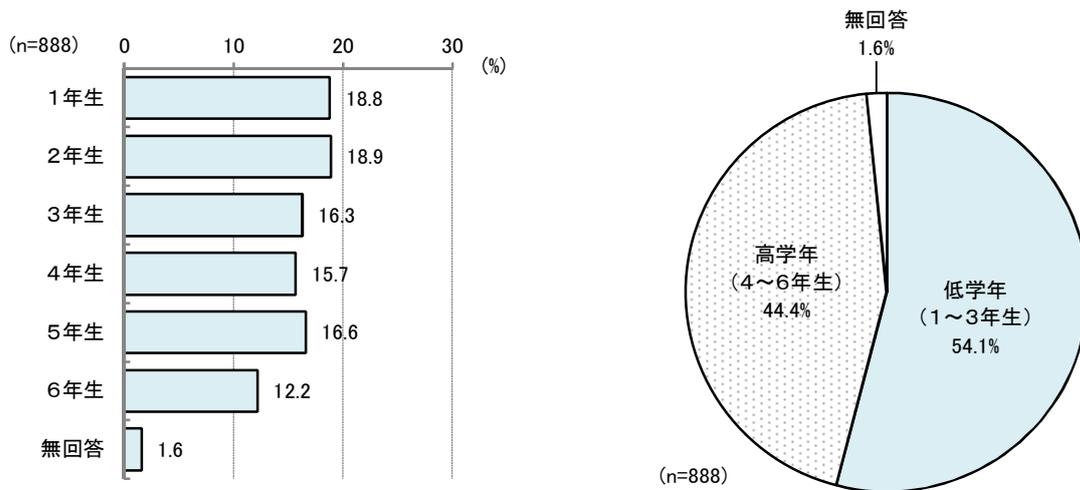


(2) 居住地区 (問2 : 小学校区)

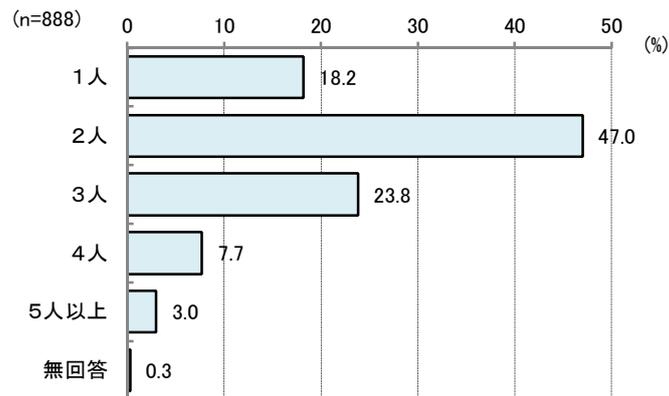


Ⅲ 調査結果・小学生児童

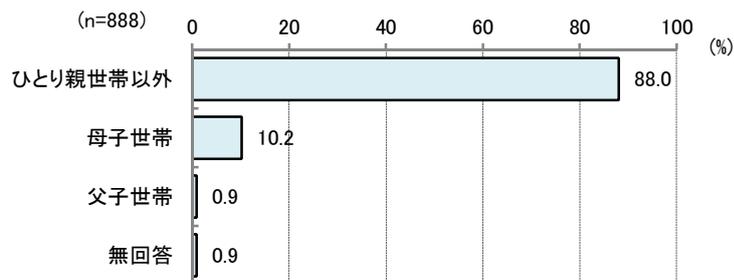
(3) 子どもの学年 (問3: 調査対象の子どもの学年)



(4) 世帯の子ども数 (問4)



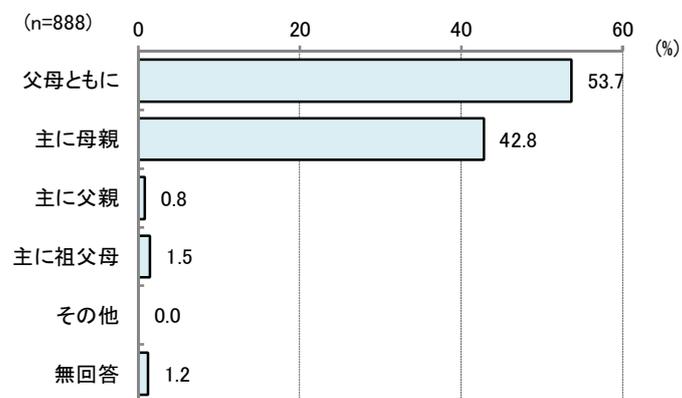
(5) 記入者の世帯構成 (問5)



2. 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てを主に行っている人

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
 お子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つ】

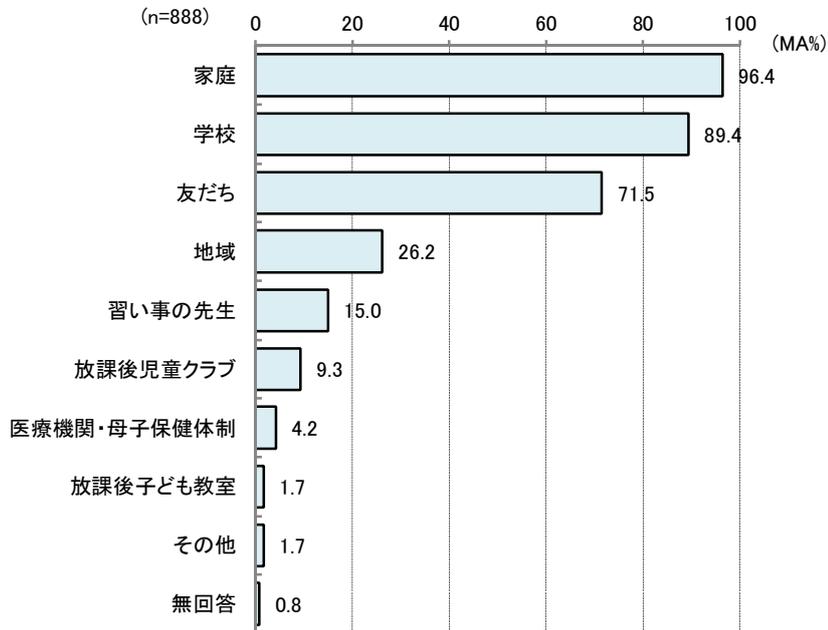


子育てを主に行っている人を見ると、「父母ともに」が53.7%で最も高く、次いで「主に母親」(42.8%)の順となっている。

Ⅲ 調査結果・小学生児童

(2) 子育てに影響すると思う環境

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。
【〇はいくつでも】



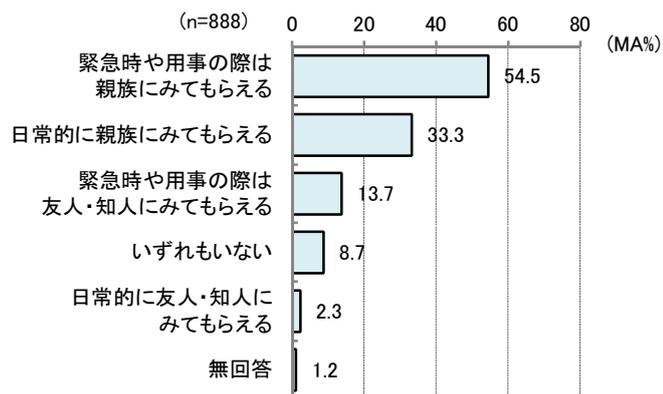
子育てに影響すると思う環境をみると、「家庭」が96.4%で最も高く、次いで「学校」(89.4%)、「友だち」(71.5%)の順となっている。

問7 その他の内容	件数
スポーツクラブ・スポーツ活動	5
祖父母・実家	4
放課後等デイサービス	4
その他	3

(3) 子どもを預かってもらえる人の有無・親族への預けやすさ

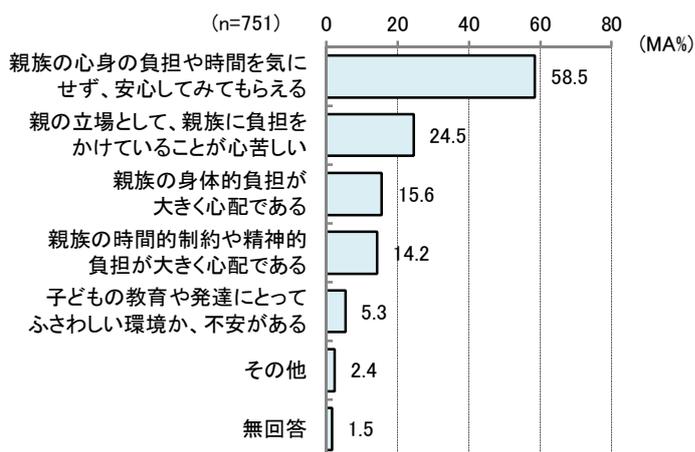
問8 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。【〇はいくつでも】
 問8-1 祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。
 【〇はいくつでも】

【子どもを預かってくれる人の有無】



【親族への預けやすさ】

※子どもを預かってくれる親族がいる人のみ



子どもを預かってもらえる人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には親族にみてもらえる」が54.5%で最も高く、次いで「日常的に親族にみてもらえる」(33.3%)、「緊急時や用事の際には友人・知人にみてもらえる」(13.7%)の順となっている。

親族への預けやすさをみると、「親族の心身の負担や時間を気にせず、安心してみてもらえる」が58.5%で最も高くなっている。次いで「親の立場として、親族に負担をかけていることが心苦しい」(24.5%)、「親族の身体的負担が大きく心配である」(15.6%)の順となっている。

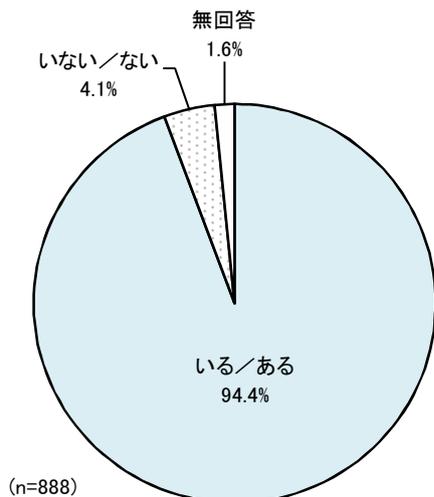
問8-1 その他の内容	件数
調整しながらみてもらっている	3
申し訳なく思ったり、気をつかってしまう	3
短時間ならみてもらえる	2
祖父母が高齢になってきたので、負担を気にする	2
ほとんどみてもらうことはない	2
その他	6

(4) 子育てに関する相談先の有無、相談先

問9 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人、相談できる場所がありますか。【○は1つ】

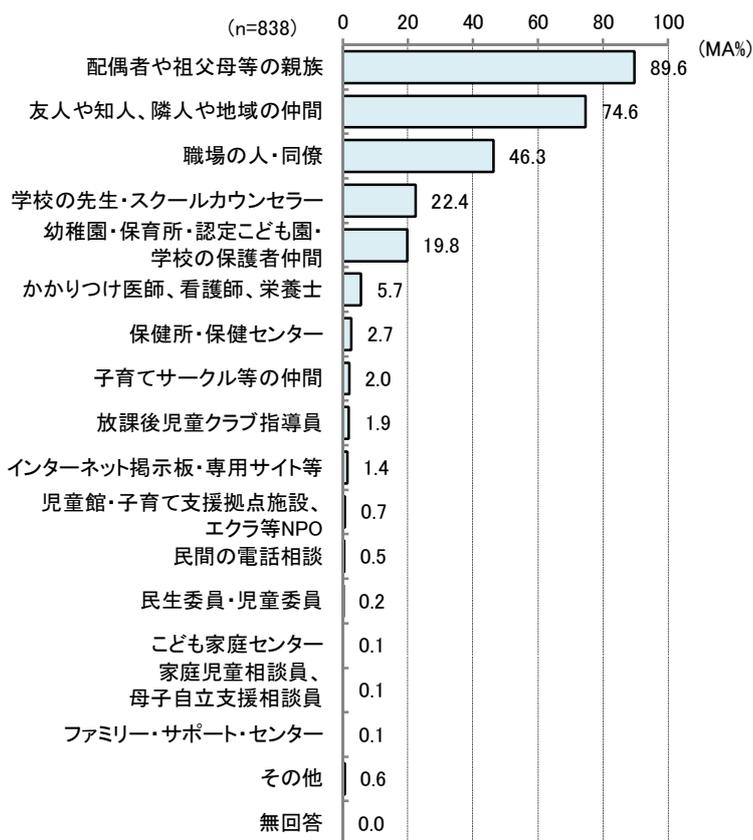
問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【○はいくつでも】

【子育てに関する相談先の有無】



【相談先】

※子育てに関する相談先がある人のみ



子育てに関する相談先の有無をみると、「いる／ある」が94.4%と大半を占めている。

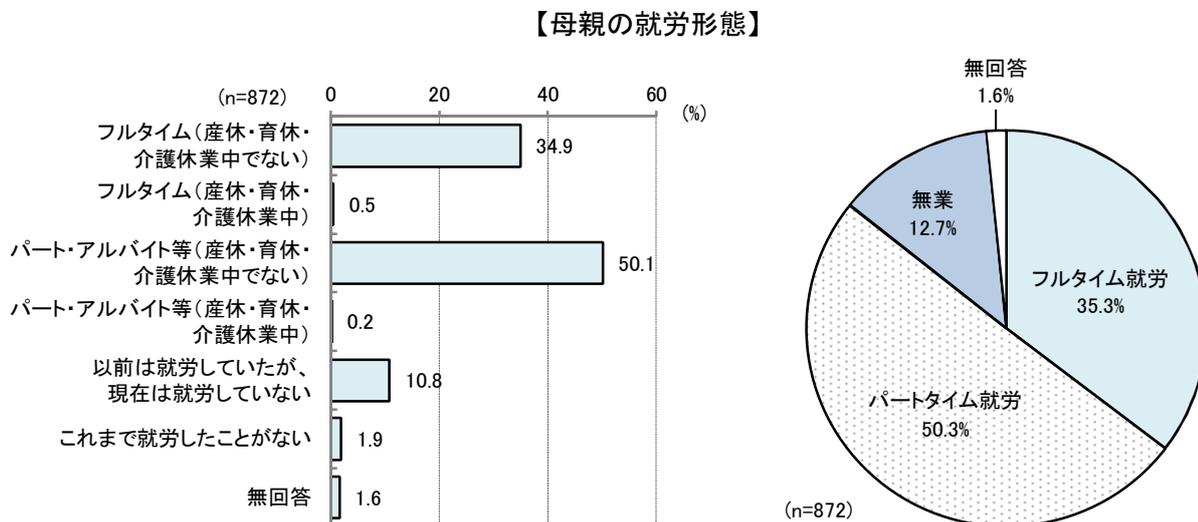
相談先についてみると、「配偶者や祖父母等の親族」が89.6%で最も高く、次いで「友人や知人、隣人や地域の仲間」(74.6%)、「職場の人・同僚」(46.3%)の順となっている。

問9-1 その他の内容	件数
放課後等デイサービス	2
その他	3

3. 保護者の就労状況・就労希望

(1) 母親の就労状況・就労希望（父子家庭以外が回答）

問 10 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。【○は1つ】

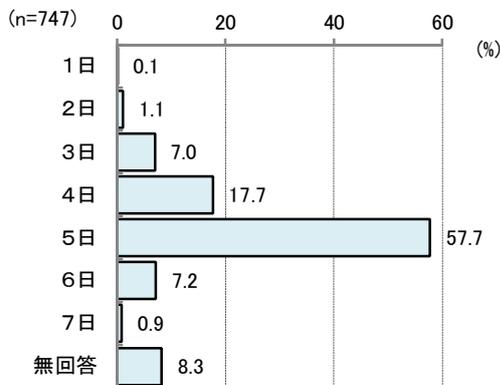


母親の就労形態をみると、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中でない）」が50.1%で最も高く、次いで「フルタイム（産休・育休・介護休業中でない）」（34.9%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（10.8%）の順となっている。

また、フルタイム就労とパートタイム就労を比較すると、パートタイム就労の割合の方が高く（50.3%）、無業については12.7%となっている。

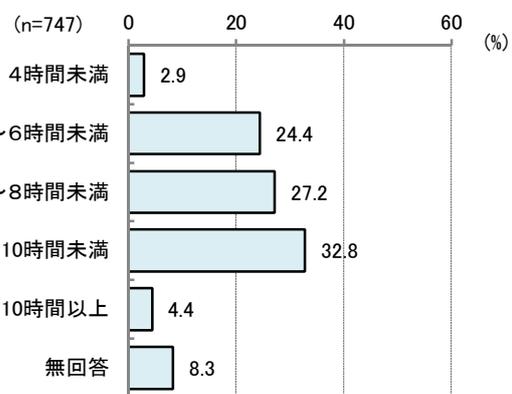
問 10-1 母親の1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」と「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をご記入ください。

【母親の就労日数(週あたり)】



【母親の就労時間(1日あたり)】

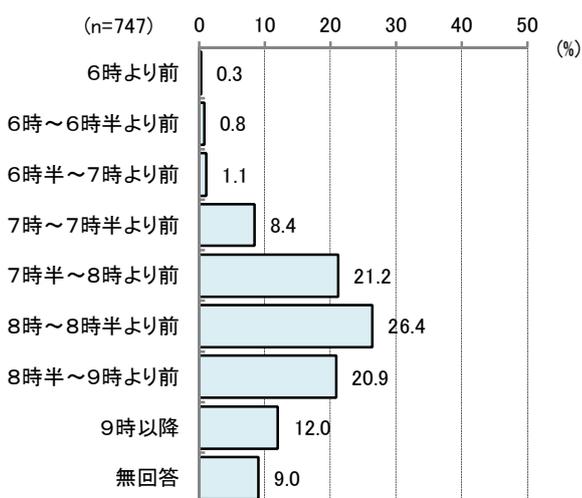
※母親が就労している人のみ



母親の就労日数（週あたり）をみると、「5日」が57.7%で最も高く、次いで「4日」（17.7%）の順となっている。

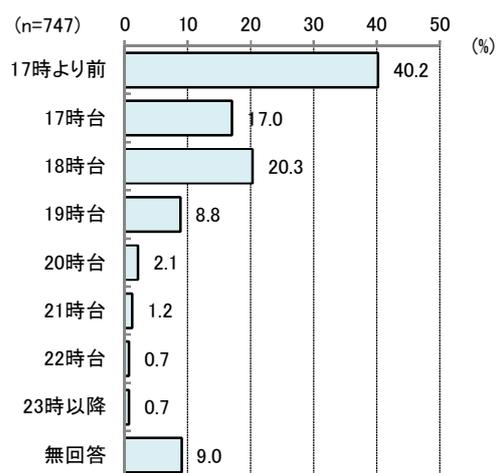
母親の就労時間（1日あたり）をみると、「8～10時間未満」が32.8%で最も高く、次いで「6～8時間未満」（27.2%）、「4～6時間未満」（24.4%）の順となっている。

【母親の家を出る時刻】



【母親の帰宅時刻】

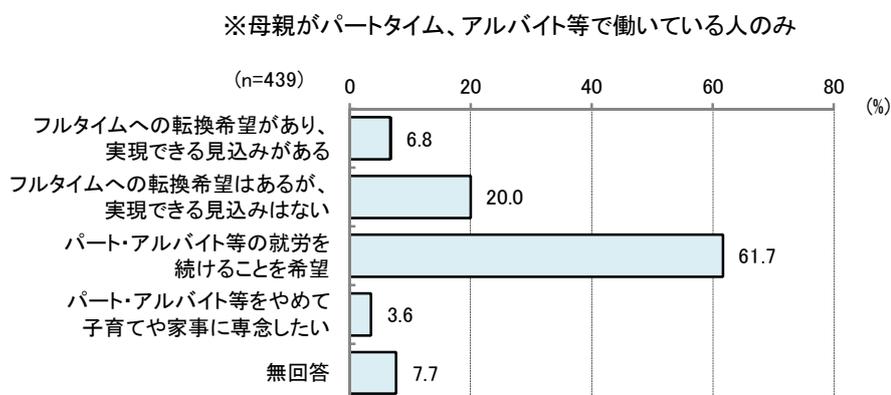
※母親が就労している人のみ



母親の家を出る時刻をみると、「8時～8時半より前」が26.4%で最も高く、次いで「7時半～8時より前」（21.2%）、「8時半～9時より前」（20.9%）の順となっている。

母親の帰宅時刻をみると、「17時より前」が40.2%で最も高く、次いで「18時台」（20.3%）、「17時台」（17.0%）の順となっている。

問 10-2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。
【○は1つ】

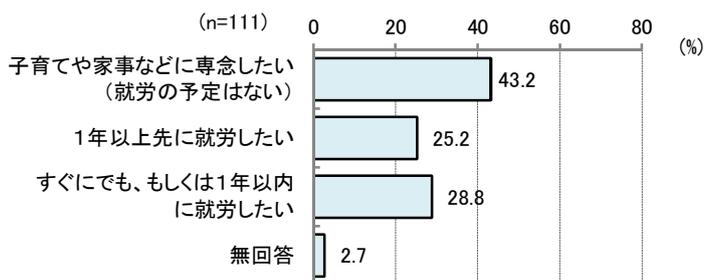


母親のフルタイムへの転換希望をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が61.7%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(20.0%)の順となっている。

問 10-3 就労したいという希望はありますか。【○は1つ】
また、該当する箇所にご記入ください。

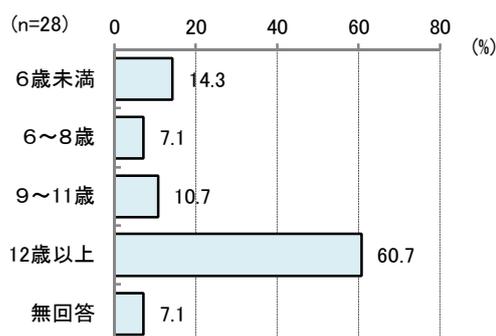
【母親の就労希望】

※母親が就労していない人のみ



【母親の就労希望時の末子の年齢】

※母親の就労希望が1年以上先の人

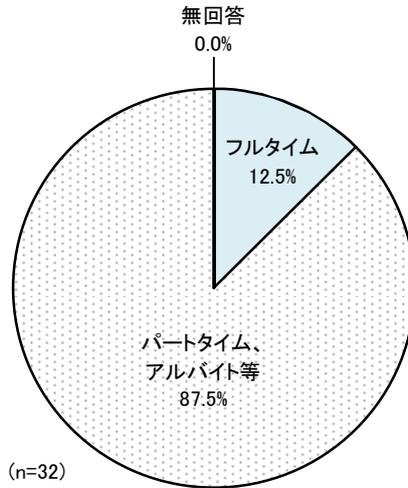


母親の就労希望をみると、「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が43.2%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(28.8%)、「1年以上先に就労したい」(25.2%)の順となっている。

母親の就労希望時の末子の年齢をみると、「12歳以上」が60.7%で最も高く、次いで「6歳未満」(14.3%)、「9～11歳」(10.7%)の順となっている。

【母親の希望就労形態】

※母親の就労希望が1年以内の人のみ

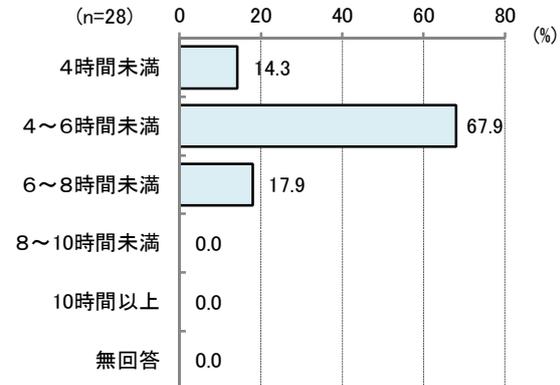
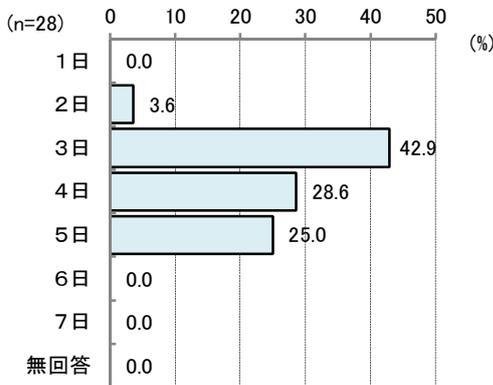


母親の希望就労形態をみると、「パート・アルバイト等」が 87.5%と大半を占め、「フルタイム」は 12.5%となっている。

【母親の希望就労日数(週あたり)】

【母親の希望就労時間(1日あたり)】

※母親の就労希望が1年以内で、希望就労形態がパートタイム、アルバイトの人のみ

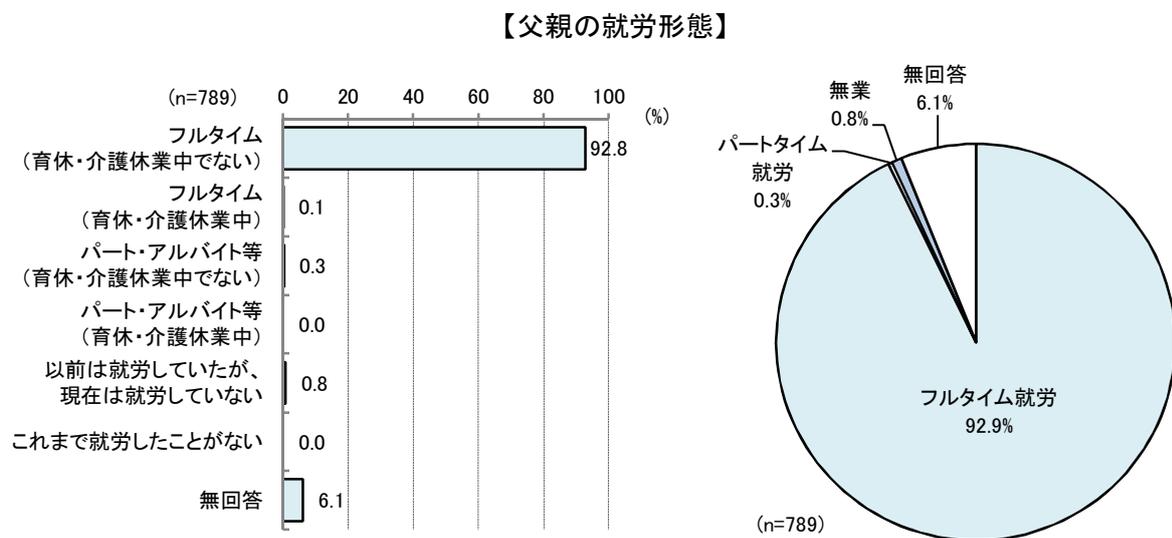


母親の就労希望日数(週あたり)をみると、「3日」が 42.9%で最も高く、次いで「4日」(28.6%)、「5日」(25.0%)の順となっている。

母親の就労希望時間(1日あたり)をみると、「4～6時間未満」が 67.9%で最も高く、次いで「6～8時間未満」(17.9%)、「4時間未満」(14.3%)の順となっている。

(2) 父親の就労状況・就労希望 (母子家庭以外が回答)

問 11 父親の現在の就労状況 (自営業、家族従事者含む) をお答えください。【○は1つ】

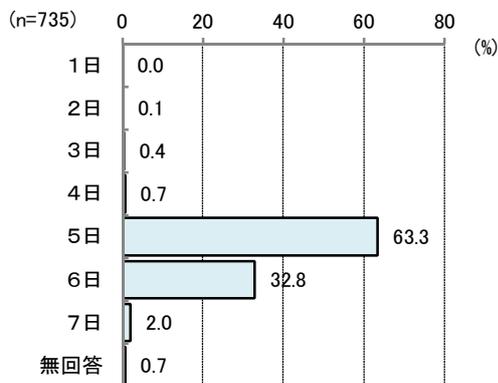


父親の就労形態をみると、「フルタイムで就労 (育休・介護休業中でない)」が 92.8% と大半を占めている。

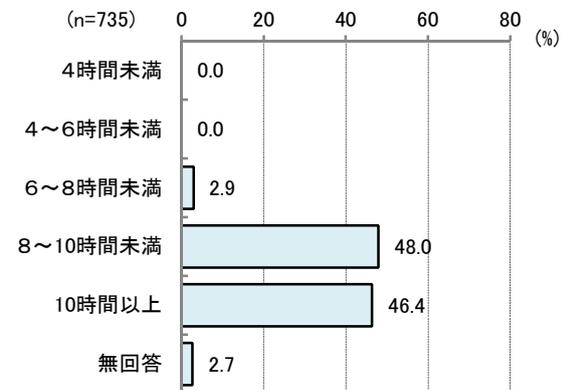
問 11-1 父親の1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」と「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をご記入ください。

【父親の就労日数(週あたり)】

※父親が就労している人のみ



【父親の就労時間(1日あたり)】

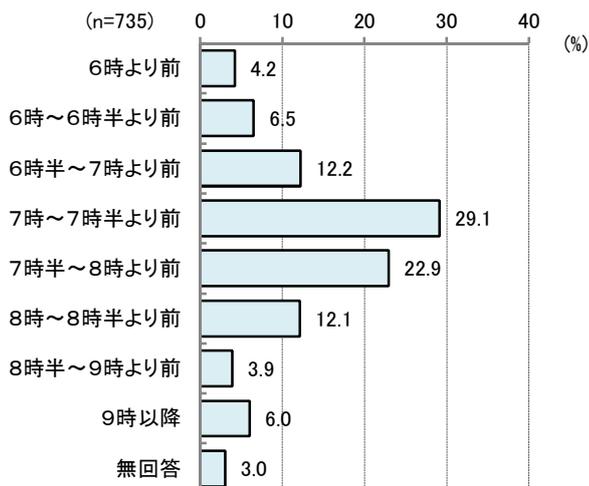


父親の就労日数（週あたり）をみると、「5日」が63.3%で最も高く、次いで「6日」（32.8%）の順となっている。

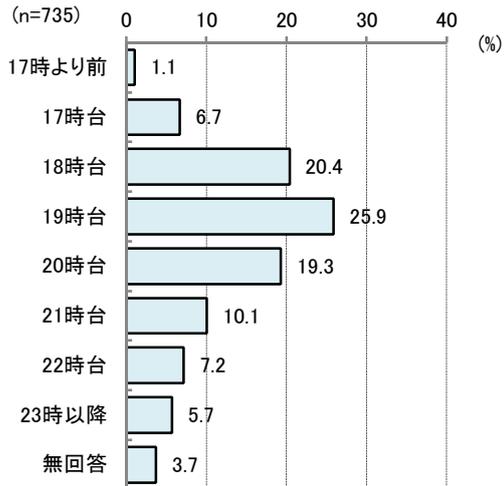
父親の就労時間（1日あたり）をみると、「8～10時間未満」が48.0%で最も高く、次いで「10時間以上」（46.4%）の順となっている。

【父親の家を出る時刻】

※父親が就労している人のみ



【父親の帰宅時刻】



父親の家を出る時刻をみると、「7時～7時半より前」が29.1%で最も高く、次いで「7時半～8時より前」（22.9%）、「6時半～7時より前」（12.2%）の順となっている。

父親の帰宅時刻をみると、「19時台」が25.9%で最も高く、次いで「18時台」（20.4%）、「20時台」（19.3%）の順となっている。

問 11-2 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。
【○は1つ】

※父親がパートタイム、アルバイト等で働いている人のみ

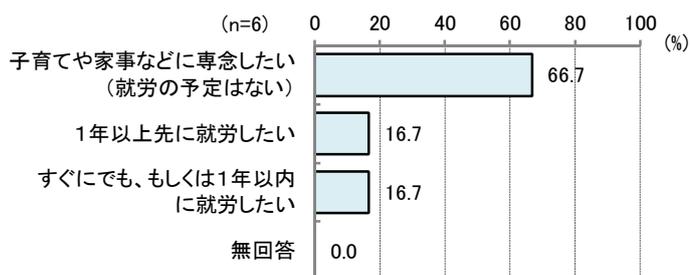


父親のフルタイムへの転換希望をみると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が回答されている。

問 11-3 就労したいという希望はありますか。【○は1つ】
また、該当する箇所に数字をご記入ください。

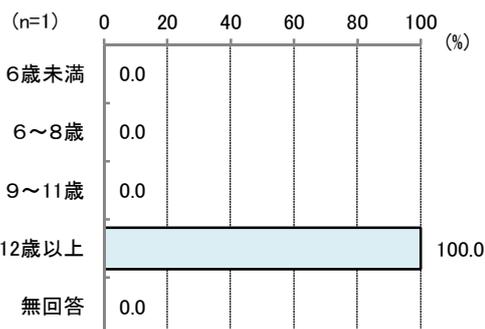
【父親の就労希望】

※父親が就労していない人のみ



【父親の就労希望時の末子の年齢】

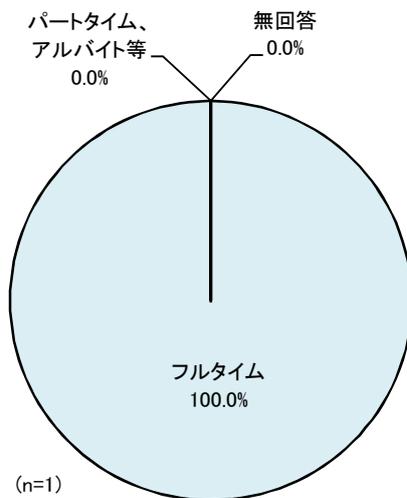
※父親の就労希望が1年以上先の人



父親の就労希望をみると、「子育てや家事などの専念したい（就労の予定はない）」が最も多く回答されている。また、「1年以上先に就労したい」と回答した人は、「子どもが12歳以上になったら働きたい」と回答している。

【父親の希望就労形態】

※父親の就労希望が1年以内の人のみ



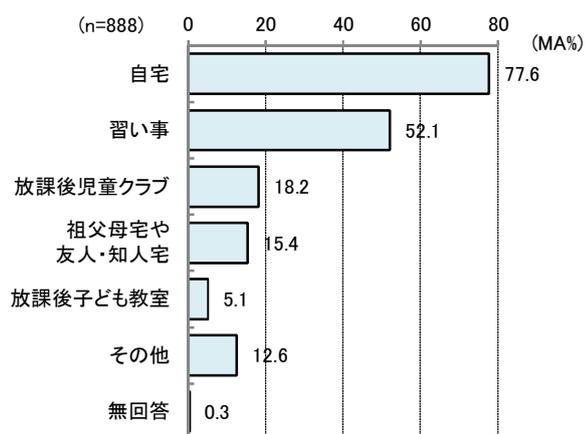
就労希望が「すぐにでも、もしくは1年以内」と回答した父親の希望する就労形態は、「フルタイム」となっている。

4. 平日の放課後の過ごし方、放課後児童クラブの利用状況

(1) 放課後の過ごし方

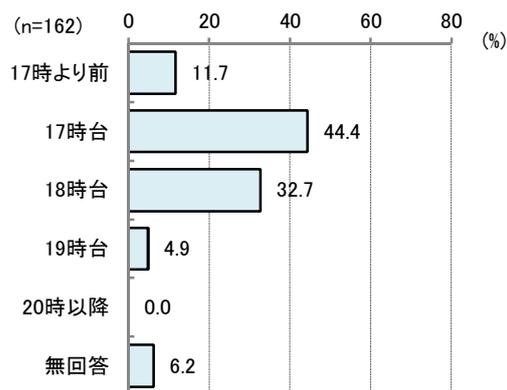
問 12 お子さんは放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。【〇はいくつでも】
希望するおおよその日数もご記入ください。また、放課後児童クラブを選んだ場合は、下
校時から何時まで利用しているかもお答えください。

【放課後の過ごし方】



【放課後児童クラブの利用終了時間】

※放課後児童クラブを利用している人のみ



放課後の過ごし方をみると、「自宅」が77.6%で最も高く、次いで「習い事」(52.1%)、「放課後児童クラブ」(18.2%)の順となっている。

放課後児童クラブの利用終了時間をみると、「17時台」が44.4%で最も高く、次いで「18時台」(32.7%)、「17時より前」(11.7%)の順となっている。

【1週間に過ごす日数(放課後の居場所ごと)】

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	689	49	103	93	63	368	13
	100.0	7.1	14.9	13.5	9.1	53.4	1.9
祖父母宅や友人・知人宅	137	50	35	15	10	27	-
	100.0	36.5	25.5	10.9	7.3	19.7	-
習い事	463	109	138	118	57	39	2
	100.0	23.5	29.8	25.5	12.3	8.4	0.4
放課後児童クラブ	162	3	4	7	23	115	10
	100.0	1.9	2.5	4.3	14.2	71.0	6.2
放課後子ども教室	45	33	6	6	-	-	-
	100.0	73.3	13.3	13.3	-	-	-
その他	112	33	35	19	10	13	2
	100.0	29.5	31.3	17.0	8.9	11.6	1.8

上段：件数、下段：%

Ⅲ 調査結果・小学生児童

(2) 放課後児童クラブを利用している理由・放課後児童クラブへの要望

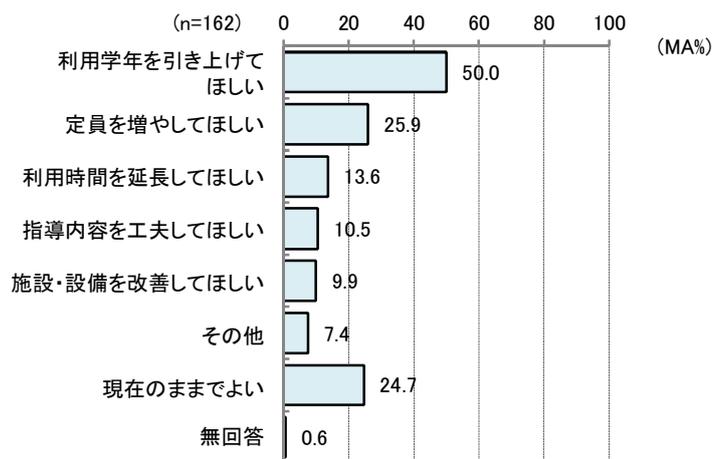
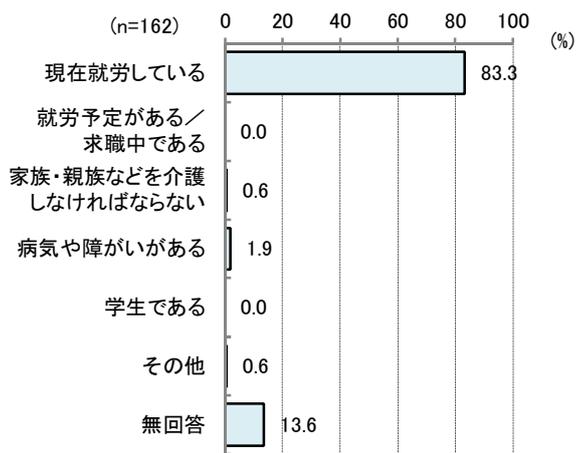
問 12-1 現在、放課後児童クラブ（アフタースクール）を利用している理由をお答えください。
【○は主なもの1つ】

問 12-2 放課後児童クラブ（アフタースクール）に対してどのように感じておられますか。
【○はいくつでも】

【放課後児童クラブを利用している理由】

【放課後児童クラブへの要望】

※放課後児童クラブを利用している人のみ



放課後児童クラブを利用している理由をみると、「現在就労している」が83.3%と大半を占めている。

放課後児童クラブへの要望をみると、「利用学年を引き上げてほしい」が50.0%で最も高く、次いで「定員を増やしてほしい」(25.9%)、「現在のままでよい」(24.7%)の順となっている。

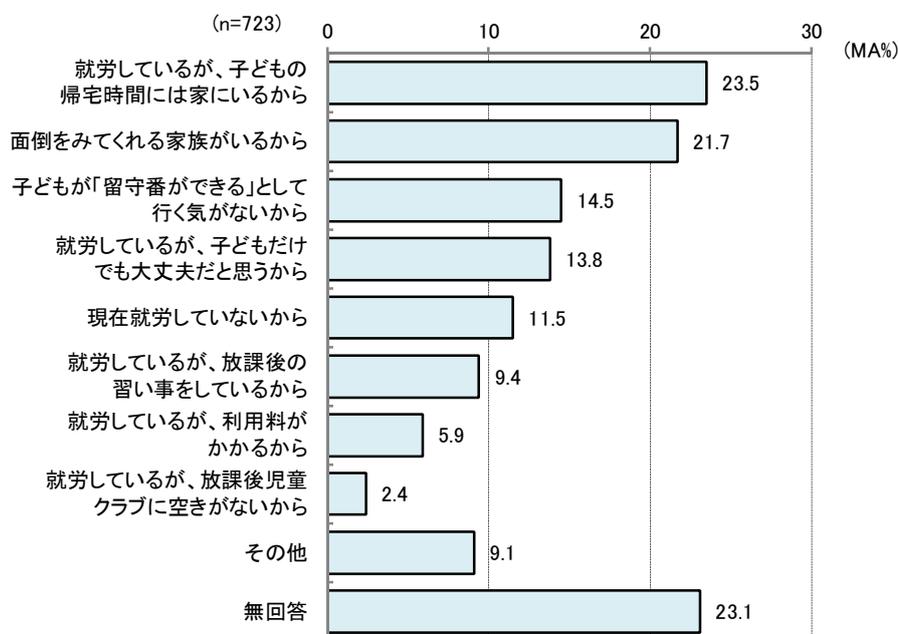
問 12-1 その他の内容	件数
子どもが楽しそうだから	1

問 12-2 その他の内容	件数
利用料を安くしてほしい	3
おやつ（内容・量）を見直してほしい	3
病児・病後児保育の環境を整備してほしい	2
その他	6

(3) 放課後児童クラブを利用していない理由

問 12-3 放課後児童クラブ（アフタースクール）を利用していない理由をお答えください。
【〇はいくつでも】

※放課後児童クラブを利用していない人のみ



放課後児童クラブを利用していない理由をみると、「就労しているが、子どもの帰宅時には家にいるから」が23.5%で最も高く、次いで「面倒をみてくれる家族がいるから」(21.7%)、「子どもが「留守番ができる」として行く気がないから」(14.5%)の順となっている。

問 12-3 その他の内容	件数
対象学年でない	27
きょうだいと留守番している	6
迎えに行くことができない	5
放課後児童クラブでトラブル等に遭遇した	3
放課後児童クラブを知らない	2
1人でいる時間をつくったり、留守番の練習をしている	2
親が自営業のため	2
学校の宿題をみてくれないため	2
母親の就労条件等で、利用できない	2
子どもが嫌がる	2
放課後デイサービスを利用している	2
上の子が対象学年から外れたため	2
近くで働いているので、何かあれば対応できる	2
その他	7

5. 放課後児童クラブの利用希望

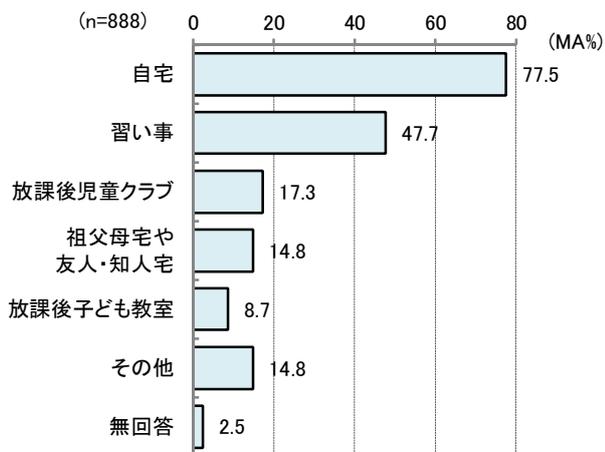
(1) 平日の放課後児童クラブの利用希望

問 13 今後、放課後の時間、お子さんをどのような場所で過ごさせたいですか。

【○はいくつでも】

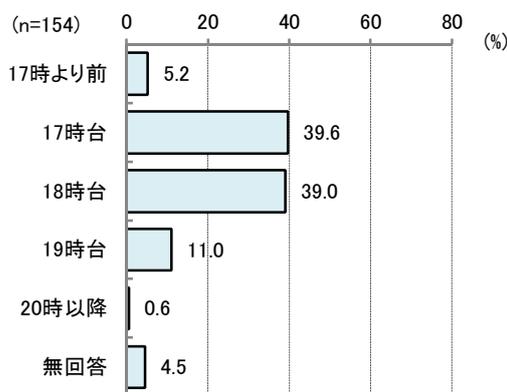
希望するおおよその日数もご記入ください。また、放課後児童クラブを選んだ場合は、下校時から何時まで利用したいかもお答えください。

【希望する放課後の過ごし方】



【放課後児童クラブの希望終了時間】

※放課後児童クラブを希望する人のみ



希望する放課後の過ごし方をみると、「自宅」が77.5%で最も高く、次いで「習い事」(47.7%)、「放課後児童クラブ」(17.3%)の順となっている。

放課後児童クラブの希望終了時間をみると、「17時台」が39.6%で最も高く、次いで「18時台」(39.0%)、「19時台」(11.0%)の順となっている。

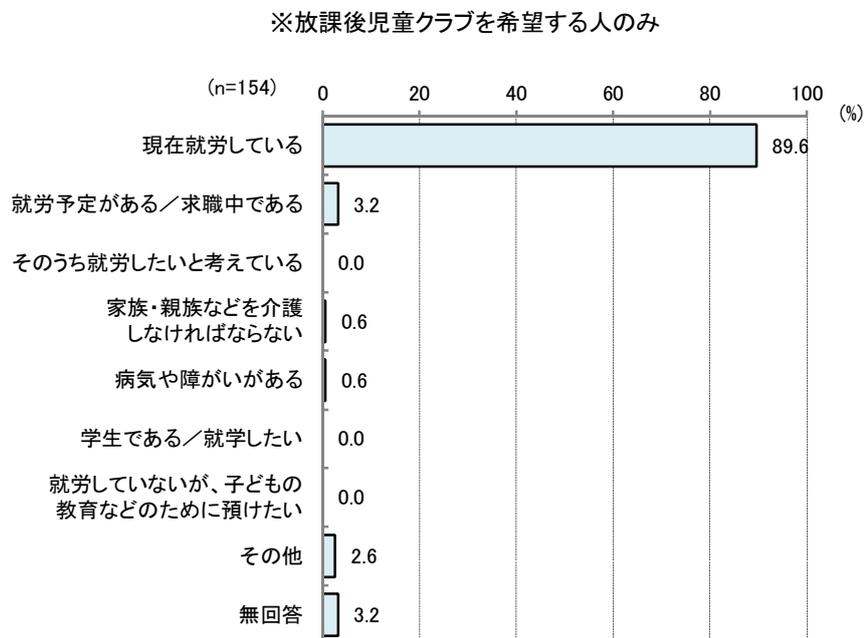
【1週間の希望日数(放課後の居場所ごと)】

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	688	37	118	115	54	319	45
	100.0	5.4	17.2	16.7	7.8	46.4	6.5
祖父母宅や友人・知人宅	131	50	40	15	1	18	7
	100.0	38.2	30.5	11.5	0.8	13.7	5.3
習い事	424	84	156	114	37	27	6
	100.0	19.8	36.8	26.9	8.7	6.4	1.4
放課後児童クラブ	154	5	10	19	10	106	4
	100.0	3.2	6.5	12.3	6.5	68.8	2.6
放課後子ども教室	77	37	20	13	1	2	4
	100.0	48.1	26.0	16.9	1.3	2.6	5.2
その他	131	45	38	27	10	9	2
	100.0	34.4	29.0	20.6	7.6	6.9	1.5

上段：件数、下段：%

(2) 放課後児童クラブを利用したい理由

問 13-1 今後、お子さんの平日の放課後を過ごす場所として、放課後児童クラブ（アフタースクール）を利用したい理由をお答えください。【○は主なもの1つ】



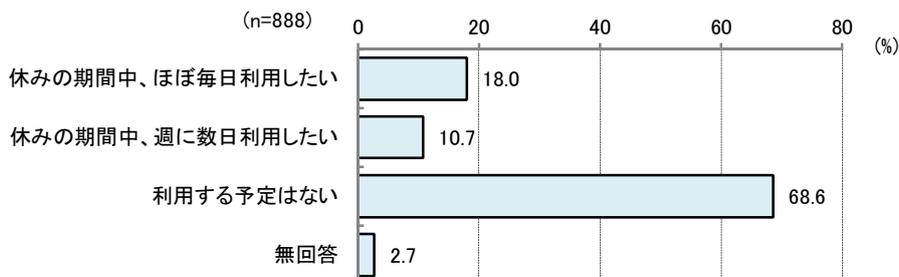
放課後児童クラブを利用したい理由をみると、「現在就労している」が 89.6%と大半を占めている。

問 13-1 その他の内容	件数
1人で留守番させるのが不安	1
人とのつながりをもってほしい	1
遊びに行行って帰ってこない事があるから	1

(3) 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

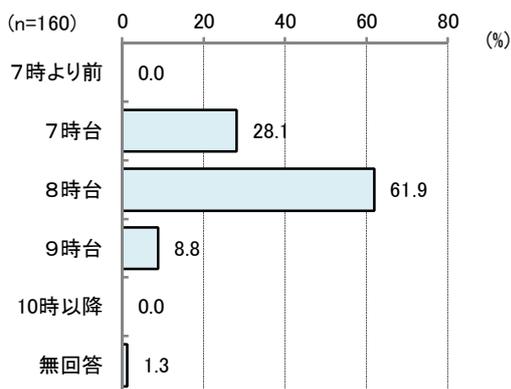
問 14 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（アフタースクール）の利用希望はありますか。【○は1つ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

【長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望】

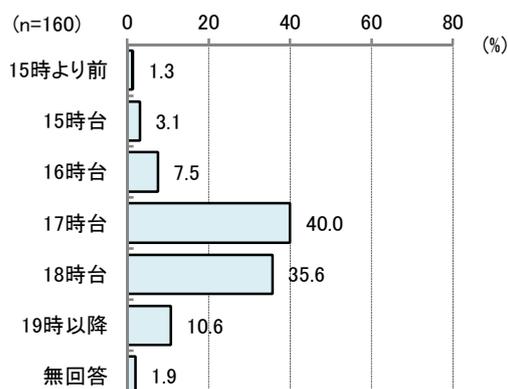


長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する予定はない」が 68.6%で最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(18.0%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(10.7%)の順となっている。

【長期休暇中の希望開始時間】



【長期休暇中の希望終了時間】



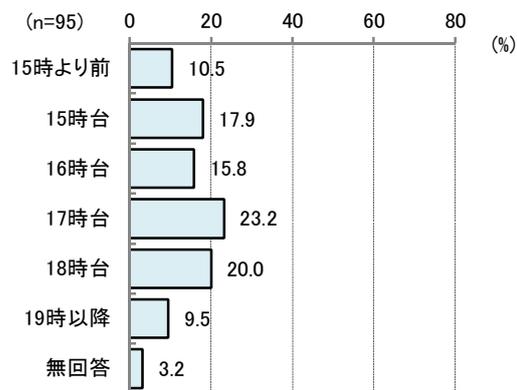
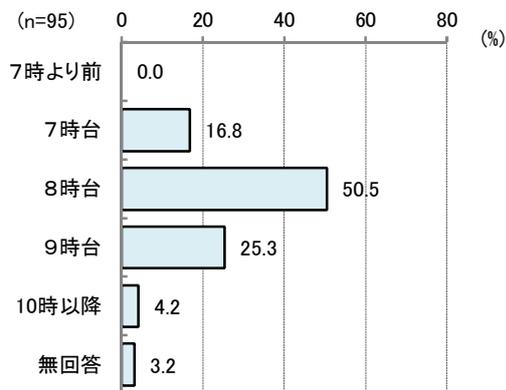
ほぼ毎日利用したい人の長期休暇中の希望開始時間をみると、「8時台」が 61.9%で最も高く、次いで「7時台」(28.1%)の順となっている。

希望終了時間については、「17時台」が 40.0%で最も高く、次いで「18時台」(35.6%)、「19時以降」(10.6%)の順となっている。

【長期休暇中の希望開始時間】

【長期休暇中の希望終了時間】

※週に数日利用したい人のみ



週に数日利用したい人の長期休暇中の希望開始時間をみると、「8時台」が50.5%で最も高く、次いで「9時台」(25.3%)、「7時台」(16.8%)の順となっている。

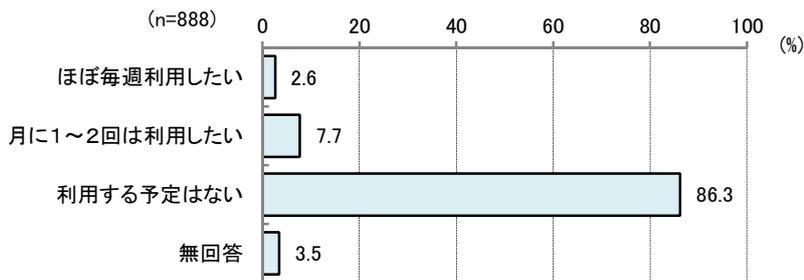
希望終了時間については、「17時台」が23.2%で最も高く、次いで「18時台」(20.0%)、「15時台」(17.9%)の順となっている。

(4) 土曜日、日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問 15 お子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、放課後児童クラブ（アフタースクール）が利用できるとしたら、希望はありますか。【○は1つ】
また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

【土曜日の放課後児童クラブの利用希望】

※放課後児童クラブの利用を希望する人のみ

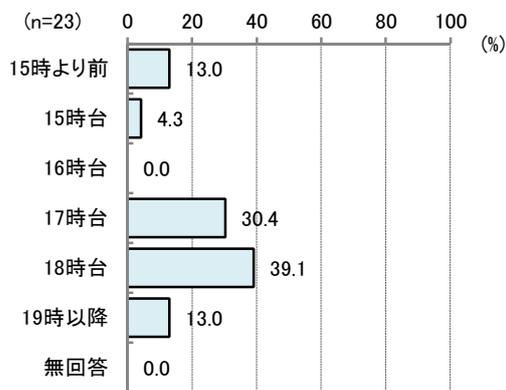
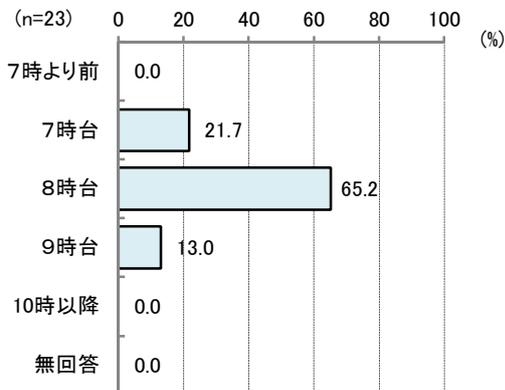


土曜日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する予定はない」が 86.3%と大半を占めている。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人のみ



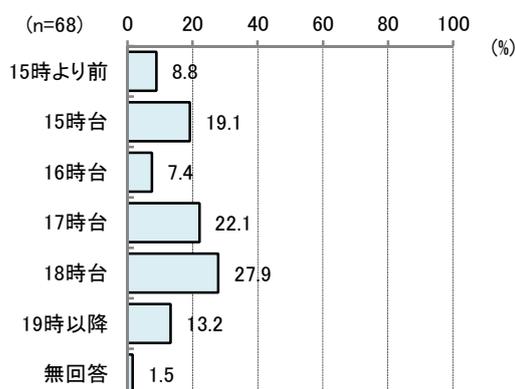
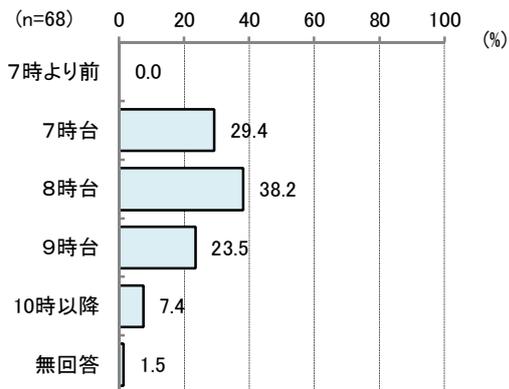
ほぼ毎週利用したい人の土曜日の希望開始時間をみると、「8時台」が 65.2%で最も高く、次いで「7時台」(21.7%)、「9時台」(13.0%)の順となっている。

希望終了時間については、「18時台」が 39.1%で最も高く、次いで「17時台」(30.4%)となっている。その次に「15時より前」と「19時以降」が同率で続いている(13.0%)。

【土曜日の希望開始時間】

【土曜日の希望終了時間】

※月に1～2回利用したい人のみ

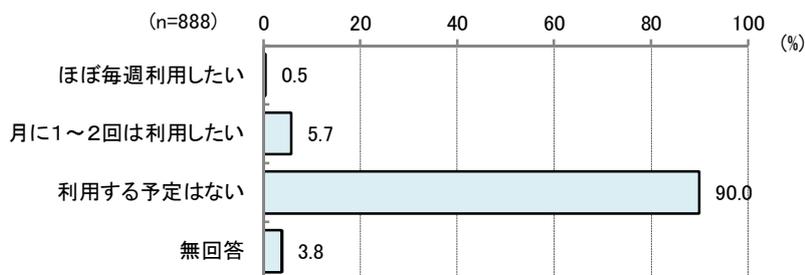


月に1～2回利用したい人の土曜日の希望開始時間をみると、「8時台」が38.2%で最も高く、次いで「7時台」(29.4%)、「9時台」(23.5%)の順となっている。

希望終了時間については、「18時台」が27.9%で最も高く、次いで「17時台」(22.1%)、「15時台」(19.1%)の順となっている。

【日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望】

※放課後児童クラブの利用を希望する人のみ



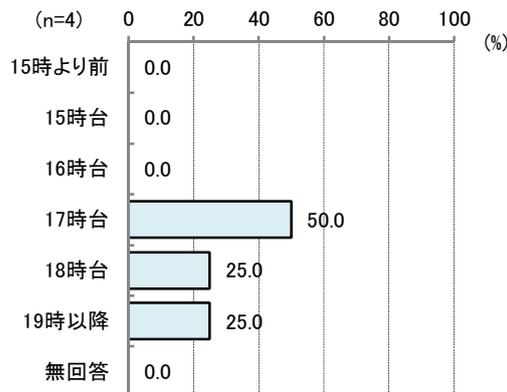
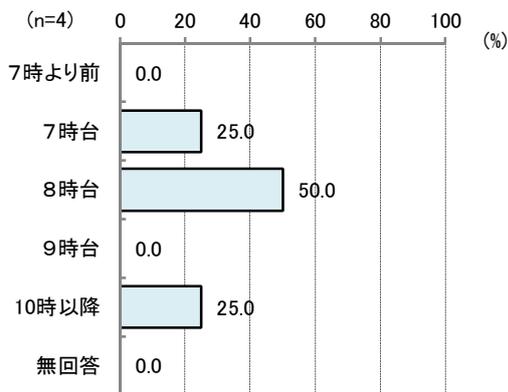
日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する予定はない」が90.0%と大半を占めている。

III 調査結果・小学生児童

【日曜・祝日の希望開始時間】

【日曜・祝日の希望終了時間】

※ほぼ毎週利用したい人のみ



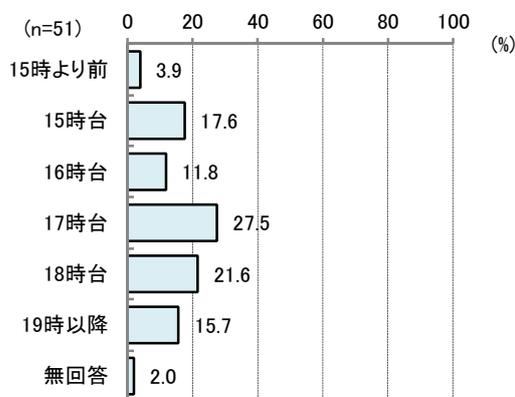
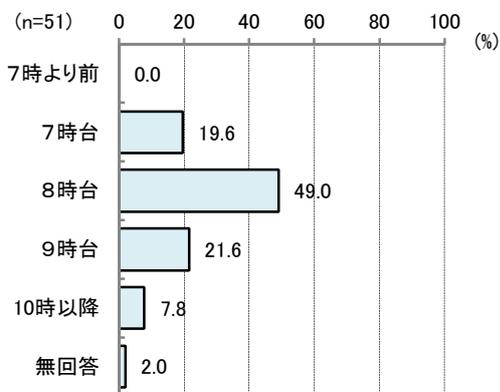
ほぼ毎週利用したい人の日曜・祝日の希望開始時間をみると、「8時台」が最も多く回答されている。

希望終了時間については、「17時台」が最も多く回答されている。

【日曜・祝日の希望開始時間】

【日曜・祝日の希望終了時間】

※月に1~2回利用したい人のみ



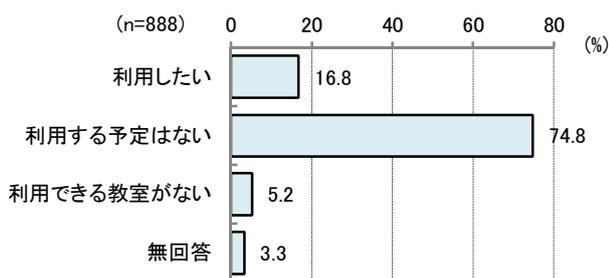
月に1~2回利用したい人の日曜・祝日の希望開始時間をみると、「8時台」が49.0%で最も高く、次いで「9時台」(21.6%)、「7時台」(19.6%)の順となっている。

希望終了時間については、「17時台」が27.5%で最も高く、次いで「18時台」(21.6%)、「15時台」(17.6%)の順となっている。

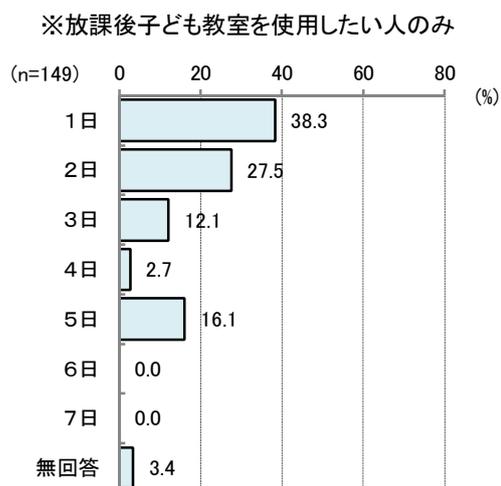
(5) 放課後子ども教室の利用希望

問 16 「放課後子ども教室（寺子屋事業）」が、放課後児童クラブ（アフタースクール）と連携して行う事業として実施されています。お子さんはその事業の利用希望はありますか。
 【○は1つ】
 また、希望がある場合は、利用希望日数を数字でご記入ください。

【放課後子ども教室の利用希望】



【利用希望日数】



放課後子ども教室の利用希望をみると、「利用する予定はない」が 74.8%で最も高く、次いで「利用したい」(16.8%)の順となっている。

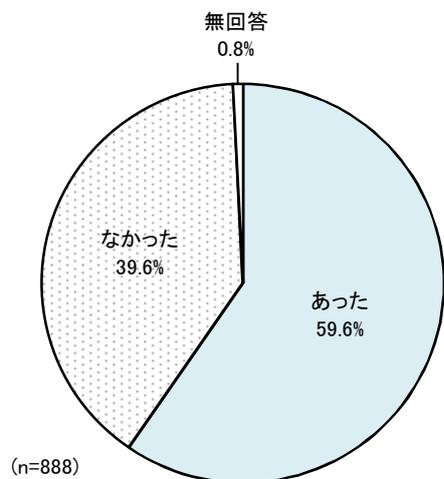
利用希望日数をみると、「1日」が 38.3%で最も高く、次いで「2日」(27.5%)、「5日」(16.1%)となっている。

6. 子どもが病気やケガの際の対応

(1) 病気やケガで学校を休んだ経験の有無とその際の対応

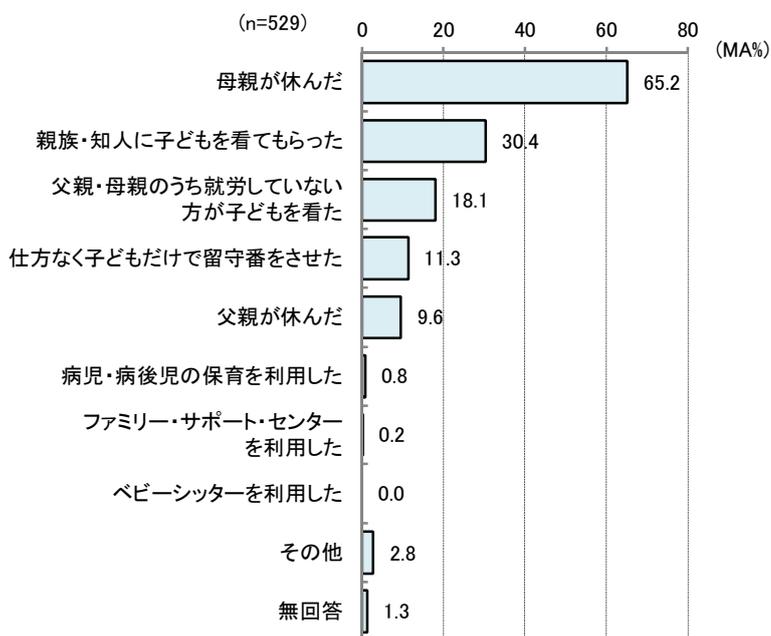
問 17 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。【○は1つ】
 問 17-1 この1年間に、病気やケガで学校を休んだ場合、どのように対応しましたか。
 【○はいくつでも】
 また、休んだ日数（対応ごと）の日数はおおよそ何日ですか。

【病気やケガで学校を休んだ経験の有無】



【休んだときの対応】

※病気やケガで学校を休んだことがある人のみ



病気やケガで学校を休んだ経験の有無をみると、「あった」が 59.6%、「なかった」が 39.6%となっている。

休んだときの対応をみると、「母親が休んだ」が 65.2%で最も高く、次いで「親族・知人に子どもを看てもらった」(30.4%)、「父親・母親のうち就労していない方が子どもを見た」(18.1%)の順となっている。

問 17-1 その他の内容	件数
自営業（自宅勤務を含む）のため、子どもを看ることができた	7
父母のどちらかがたまたま休みだった	4
仕事をしながら見た（職場に連れて行った）	2
仕事を遅刻・早退して見た	2
子どものきょうだいに看てもらった	1

【病気やケガで学校を休んだ日数(対応ごと)】

※病気やケガで学校を休んだことがある人のみ

	調査数	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
父親・母親のうち就労して いない方が子どもを看た	96 100.0	59 61.5	20 20.8	12 12.5	1 1.0	-	4 4.2
父親が休んだ	51 100.0	45 88.2	4 7.8	-	-	-	2 3.9
母親が休んだ	345 100.0	220 63.8	64 18.6	36 10.4	5 1.4	1 0.3	19 5.5
親族・知人に子どもを 看てもらった	161 100.0	118 73.3	27 16.8	5 3.1	-	-	11 6.8
病児・病後児の保育を 利用した	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-
ベビーシッターを利用した	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ファミリー・サポート・ センターを利用した	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	60 100.0	49 81.7	6 10.0	2 3.3	-	-	3 5.0
その他	15 100.0	10 66.7	1 6.7	1 6.7	-	-	3 20.0

上段：件数、下段：%

(2) 病児・病後児保育事業の利用希望

問 17-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思いましたか。

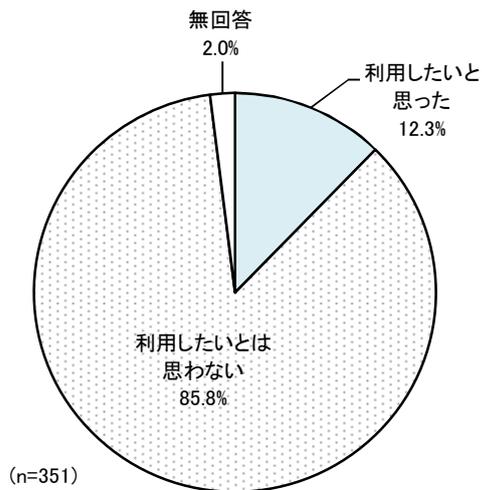
【〇は1つ】

また、利用したいと思った日数はどれくらいありますか。

病児・病後児保育施設等を利用したくない場合は、その理由をお答えください。

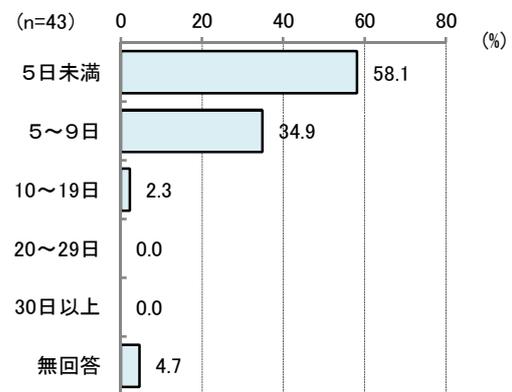
【〇はいくつでも】

【病児・病後児保育事業の利用希望】



【希望利用日数(年間)】

※病児・病後児保育事業を利用したい人のみ

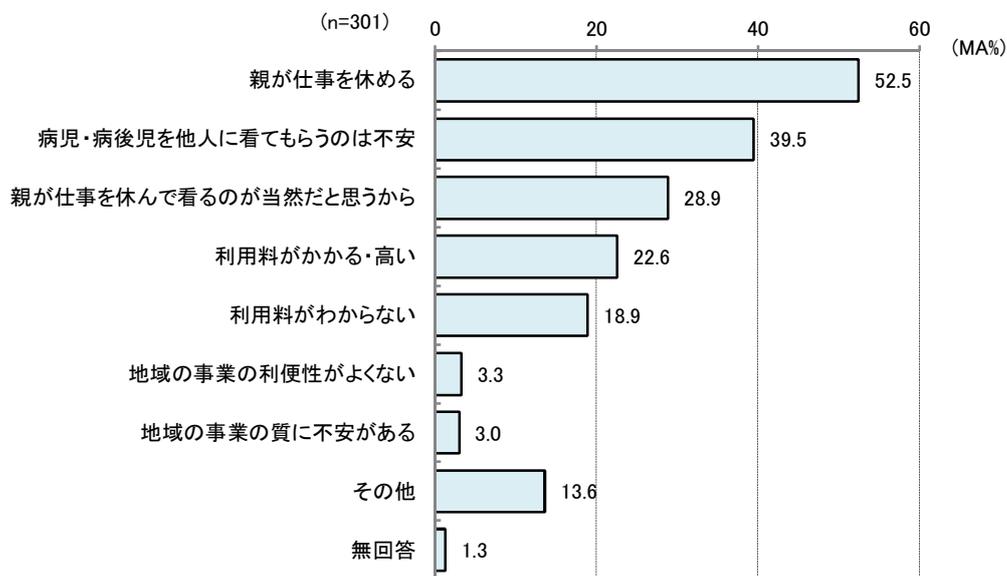


病児・病後児保育事業の利用希望をみると、「利用したいとは思わない」が85.8%と大半を占め、「利用したいと思った」は12.3%となっている。

希望利用日数(年間)をみると、「5日未満」が58.1%で最も高く、次いで「5~9日」(34.9%)の順となっている。

【病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由】

※病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない人のみ



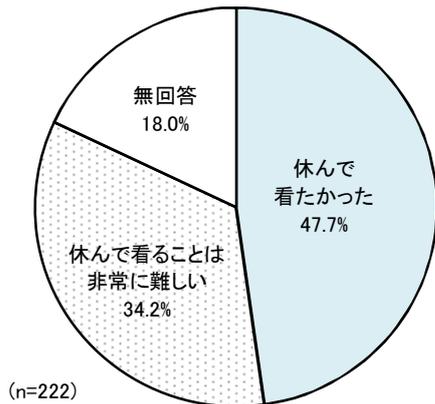
病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由をみると、「親が仕事を休める」が 52.5%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(39.5%)、「親が仕事を休んで看るのが当然だと思うから」(28.9%)の順となっている。

問 17-2 その他の内容	件数
子どもが不安がる・嫌がる・かわいそう	12
施設の場所や内容、システム等をよく知らない	5
病気的时候は側にいてあげたい	5
手続きが面倒	4
祖父母に協力してもらえる	3
留守番できる	2
親が何とか対応できる	2
病気がうつらないか(うつさないか)心配	2
慣れていないところに預けるのが不安	2
その他	4

(3) 父母のいずれかが仕事を休んで見たと思ったか

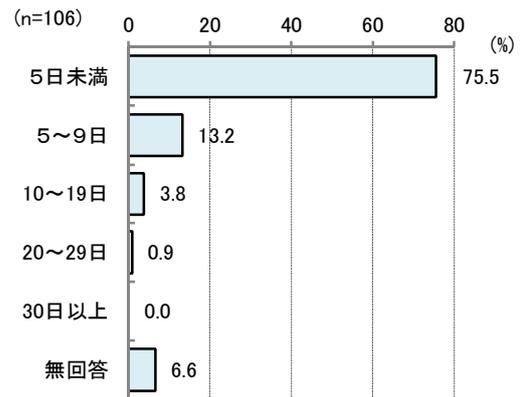
問 17-3 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで見た」と思いましたか。
 【○は1つ】
 また、仕事を休んで見たかった日数はどれくらいありますか。
 休んで見ることは非常に難しい場合は、その理由をお答えください。

【父母のいずれかが仕事を休んで見たかったか】



【休んで見たかった日数(年間)】

※父母のいずれかが休んで見たと思った人のみ

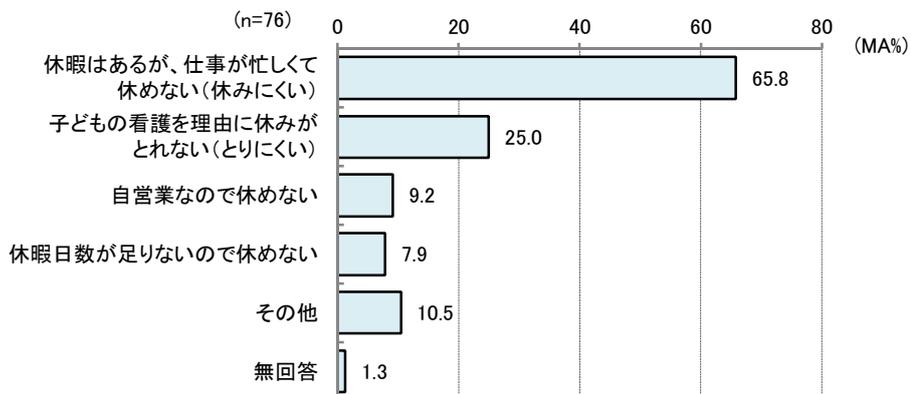


父母のいずれかが仕事を休んで見たかったかをみると、「休んで見たかった」が47.7%、「休んで見ることは非常に難しい」が34.2%となっている。

休んで見たかった日数(年間)をみると、「5日未満」が75.5%で最も高く、次いで「5~9日」(13.2%)の順となっている。

【仕事を休んで看ることが非常に難しい理由】

※父母のいずれかが仕事を休んで看るのは非常に難しい人のみ



父母が仕事を休んで看ることが難しい理由をみると、「休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない（休みにくい）」が65.8%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」（25.0%）の順となっている。

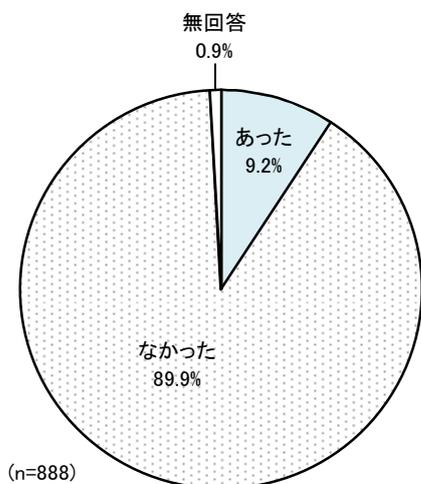
問 17-3 その他の内容	件数
収入が減る	3
急には休めない（休みにくい）	2
その他	3

7. 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

(1) 泊まりがけで子どもを預けた経験の有無（ここ1年間）

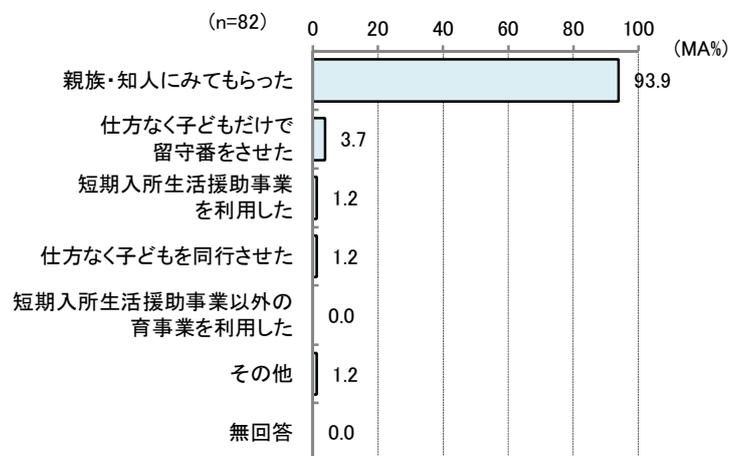
問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）で、お子さんを泊まりがけで、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。【○は1つ】
 （預け先が見つからなかった場合も含みます）。
 問 18-1 その場合、どのように対応しましたか。【○はいくつでも】
 それぞれのおおよその泊数もお答えください。

【泊まりがけで子どもを預けた経験の有無(ここ1年間)】



【預け先】

※泊りがけで子どもを預けたことがある人のみ



泊まりがけで子どもを預けた経験の有無（ここ1年間）をみると、「なかった」が89.9%と大半を占め、「あった」は9.2%となっている。

預け先をみると、「親族・知人にみてもらった」が93.9%と大半を占めている。

問 19-1 その他の内容	件数
預け先が見つからなかった	1

【泊まりがけで子どもを預けた日数(預け先ごと)】

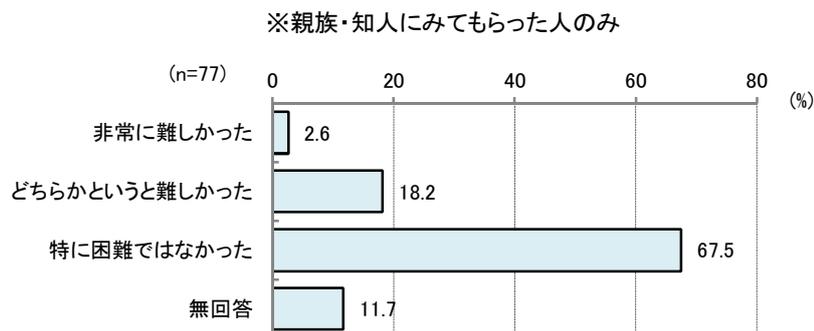
※預けたことがある人のみ

	調査数	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上	無回答
親族・知人にみてもらった	77	24	16	7	1	23	6
	100.0	31.2	20.8	9.1	1.3	29.9	7.8
短期入所生活援助事業を利用した	1	-	-	-	-	1	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-
短期入所生活援助事業以外の事業を利用した	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	1	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	2	-	-	-	-	1
	100.0	66.7	-	-	-	-	33.3
その他	1	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	100.0

上段：件数、下段：%

(2) 泊まりがけで親族・知人に子どもを預けたときの困難度

問 18-2 その場合、頼みやすかったですか。【〇は1つ】



泊まりがけで親族・知人に子どもを預けたときの困難度をみると、「特に困難ではなかった」が67.5%で最も高く、次いで「どちらかというと難しかった」(18.2%)の順となっている。

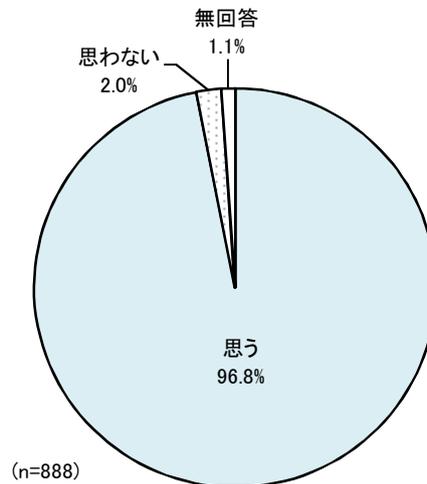
Ⅲ 調査結果・小学生児童

8. 子育て全般

(1) 今後、小野市で子育てをしたいと思うか。

問 19 今後も小野市で子育てをしたいと思いますか。【〇は1つ】

【今後、小野市で子育てをしたいと思うか】



今後、小野市で子育てをしたいと思うかをみると、「思う」が96.8%と大半を占めている。

【(居住地区別)今後、小野市で子育てをしたいと思うか】

	調査数	思う	思わない	無回答
全 体	888	860	18	10
	100.0	96.8	2.0	1.1
小野小校区	187	179	5	3
	100.0	95.7	2.7	1.6
小野東小校区	211	205	5	1
	100.0	97.2	2.4	0.5
河合小校区	81	80	1	-
	100.0	98.8	1.2	-
来住小校区	63	62	1	-
	100.0	98.4	1.6	-
市場小校区	132	126	4	2
	100.0	95.5	3.0	1.5
大部小校区	103	101	1	1
	100.0	98.1	1.0	1.0
中番小校区	37	35	-	2
	100.0	94.6	-	5.4
下東条小校区	71	69	1	1
	100.0	97.2	1.4	1.4
わからない	2	2	-	-
	100.0	100.0	-	-

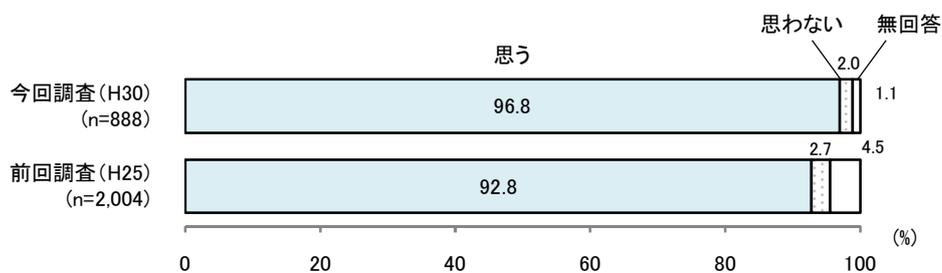
上段：件数、下段：%

【(世帯構成別)今後、小野市で子育てをしたいと思うか】

	調査数	思う	思わない	無回答
全 体	888	860	18	10
	100.0	96.8	2.0	1.1
ひとり親世帯以外	781	759	15	7
	100.0	97.2	1.9	0.9
母子世帯	91	86	3	2
	100.0	94.5	3.3	2.2
父子世帯	8	8	-	-
	100.0	100.0	-	-

上段：件数、下段：%

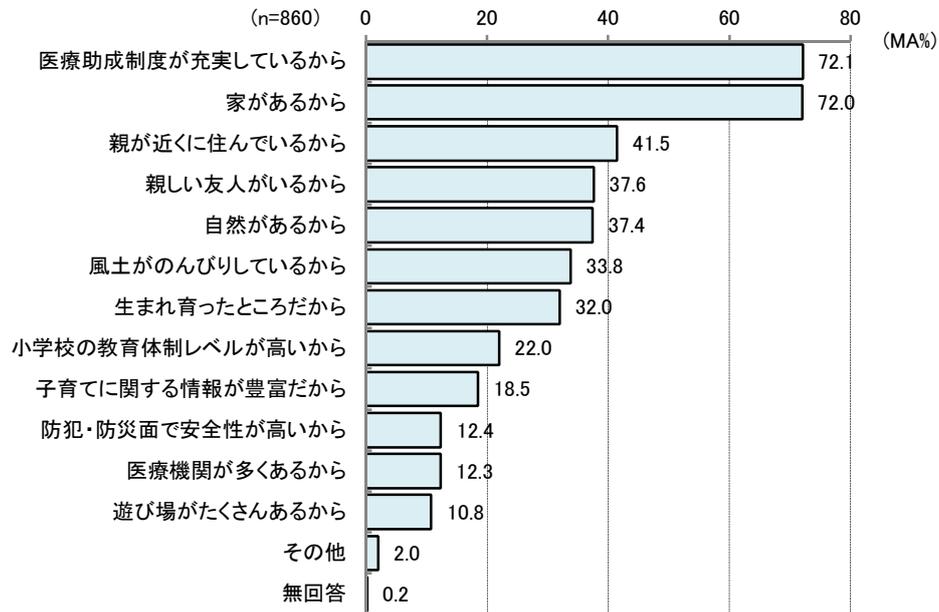
【(経年比較)今後、小野市で子育てをしたいと思うか】



今後、小野市で子育てをしたいと思うかを経年でみると、「思う」の割合は今回が96.8%と前回(92.8%)よりも4.0ポイント高くなっている。

【小野市で子育てしたい理由】

※小野市で子育てをしたい人のみ

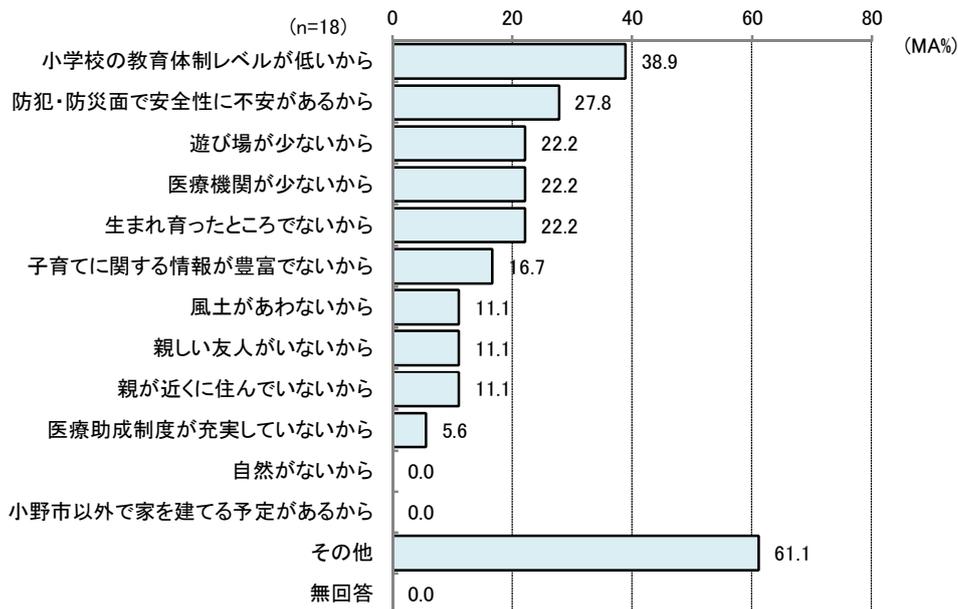


小野市で子育てしたい理由をみると、「医療助成制度が充実しているから」が72.1%で最も高く、次いで「家があるから」(72.0%)、「親が近くに住んでいるから」(41.5%)の順となっている。

問 19 小野市で子育てしたい理由 その他の内容	件数
職場が近いから	4
便利・住みやすい	3
子どもの友だちがいるから	2
子どもを転校させたくない	2
その他	6

【小野市で子育てしたくない理由】

※小野市で子育てをしたくない人のみ

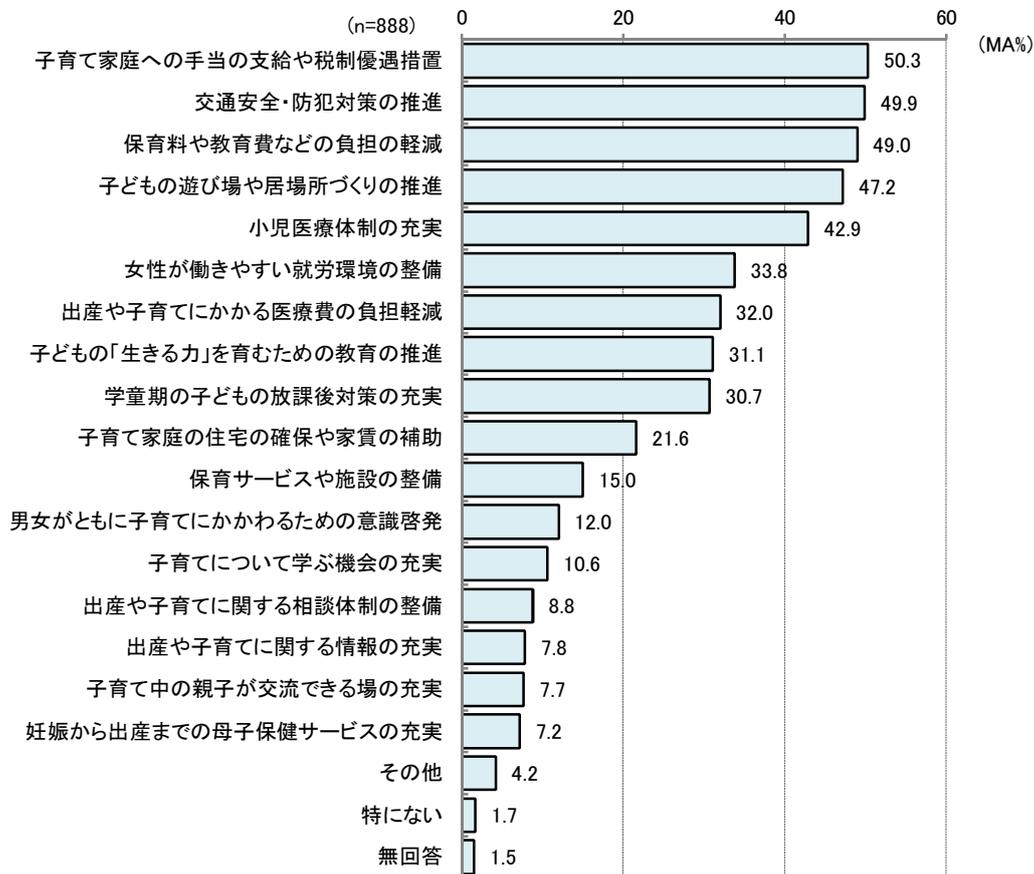


小野市で子育てしたくない理由をみると、「小学校の教育体制レベルが低いから」が 38.9%で最も高く、次いで「防犯・防災面で安全性の不安があるから」(27.8%)となっており、次に「遊び場が少ないから」、「医療機関が少ないから」、「生まれ育ったところでないから」が同率で続いている(22.2%)。

問 19 小野市で子育てしたくない理由 その他の内容	件数
教育方針に不満がある	3
教育委員会や地域の人柄に不満がある	2
その他	7

(2) 子どもを健やかに生み育てるために小野市に期待すること

問 20 子どもを健やかに生み育てるために、小野市にどのようなことを期待しますか。
【〇はいくつでも】



子どもを健やかに生み育てるために小野市に期待することをみると、「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」が 50.3%で最も高く、次いで「交通安全・防犯対策の推進」(49.9%)、「保育料や教育費などの負担の軽減」(49.0%) の順となっている。

問 20 その他の内容	件数
交通網の充実	3
障がい児に対する支援の充実	3
各種助成制度の見直し・充実	2
インフルエンザ予防接種の助成	2
母子医療体制の充実・成人医療費の助成	2
学校の指導内容・教育委員会の体制の見直し	2
小中一貫教育の周知徹底・見直し	2
教職員のレベルの向上	2
いじめ対策の充実	2
その他	17

9. 自由記述

【項目ごとの意見件数】

項目	件数
放課後児童クラブについて	62
小学校・中学校について	51
経済的支援について	36
公共施設（公園・遊び場等）について	32
安全・防犯対策について	30
子育て支援について	28
医療体制について	16
放課後子ども教室について	15
保育・幼稚園について	14
公共交通機関・道路整備について	12
障がいのある子ども・発達障がいへの支援について	9
労働環境について	9
ファミリー・サポート・センターについて	6
その他の意見	27
合 計	347

Ⅲ 調査結果・小学生児童

◆ 子育て支援について

内容	件数
小野市の子育て支援は充実している。子育てしやすい。	16
市職員の資質の向上を（子育て相談・発達相談・妊婦相談の説明技術や知識等）。	4
作り置き食事メニューの教室開催など、母の息抜き・負担軽減を考えた支援を。	2
小・中学生向けにアルゴのバスケ・卓球・テニスの無料開放をしてほしい。	1
休日に楽しめるイベント等を企画してほしい。	1
働いている人でも参加できるように、子育て教室等の開催時間を見直してほしい。	1
息長く継続してできる子育て支援を実施してほしい。極端な施策は不要。	1
産後うつなどの知識を身近なところでもっと周知してほしい。	1
行政には期待していないので訪問などしないでほしい。	1

◆ 小学校・中学校について

内容	件数
教員の質の向上を図ってほしい。	9
不登校対策の充実を図ってほしい。	7
スクールカウンセラーを常駐させてほしい。	5
学力向上ばかりが優先されている。	3
高齢者から学ぶなど、人を思いやれる心を育む教育を進めてほしい。	3
おの検定は役に立たないと思う。	2
校区を選択できるようにしてほしい。	2
校区により制度などで差があるのはおかしい。	2
放課後に運動場を開放してほしい。	2
英検、漢字検定に力を入れてほしい。	2
教員の人数を増やしてほしい。	1
学校と保護者が話し合う場を増やしてほしい。	1
親が宿題の採点等をしないといけないのは困る。	1
学習環境が整っていると思う。	1
ハートフル弁当の日が負担になっている。	1
土曜行事後の代休日は預かり先がなく困る。	1
小中一貫教育は6年生に負担が多い。	1
放課後に、小学校内で体操クラブなどがあれば利用したい。	1
中学校があられていると聞いて不安がある。	1
中学校の部活動ガイドラインの実行を徹底してほしい。	1
中学校の部活動の時間を増やしてほしい。	1
小学校の防犯対策を強化してほしい。	1
給食をもう少し魅力的なものにしてほしい。	1
通学バスを整備してほしい。	1

◆ 放課後児童クラブについて

内容	件数
4年生以上も利用できるようにしてほしい。	21
長期休暇中だけでも4年生以上が利用できるようにしてほしい。	11
定員枠を増やしてほしい。	10
長期休暇中のみの利用ができるようにしてほしい。	4
早朝の預かり等利用時間を拡大してほしい。	4
放課後に子どもが交流できるような場があればよい。	3
土・日・祝も毎週利用できるようにしてほしい。	2
送迎が負担、送迎ができないなどの理由で、利用できない。	2
警報時等に預けられないのは困る。	1
指導員の質を向上してほしい。	1
おやつ代込みの利用料にしてほしい。	1
お迎えは父母でなくきょうだいでも可能にほしい。	1
放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携しているのを知らなかった。	1

◆ 放課後子ども教室について

内容	件数
利用時間・日数を増やしてほしい。	7
送迎が負担、送迎ができないなどの理由で、利用できない。	4
長期休暇中だけでも4年生以上が利用できるようにしてほしい。	1
利用したい日だけ利用できるようにしてほしい。	1
校区で利用条件が異なるのはおかしい。	1
高校生・大学生の参加は良い。	1

◆ 保育・幼稚園について

内容	件数
子どもが病気の時に安心して預けられる施設がほしい。	7
無償化を進めるよりも、教育・保育環境の整備に力を入れてほしい。	2
きょうだいで同じ保育所に入れるようにしてほしい。	1
きょうだいの保育所利用の届け出をスムーズにほしい。	1
必要以上の行事があり、保育士の待遇が悪い。	1
自営や非就労に対するチェックが甘いのではないか。	1
市内幼稚園が3歳から利用できれば行きたかった。	1

Ⅲ 調査結果・小学生児童

◆ 障がいのある子ども・発達障がいへの支援について

内容	件数
放課後デイサービス等の定員増など環境を整備してほしい。	3
療育施設・支援学校の高校をつくってほしい。	2
障がい者支援が充実していない。	1
障がい者差別のない環境づくりをしてほしい。	1
障がい者が住みやすく、働きやすい環境を整備してほしい。	1
相談支援を充実させてほしい。	1

◆ ファミリー・サポート・センターについて

内容	件数
急な時間変更等に対応してもらえず、利用しにくい。	1
利用の手続きが面倒で、気軽に利用できない。	1
知らない人に子どもをみてもらうのは不安。	1
協力会員が少ないのが実情だと思う。	1
半額助成のありがたさを感じている。	1
習い事の送迎を助けてもらえてありがたい。	1

◆ 公共施設（公園・遊び場等）について

内容	件数
ボール遊びができる公園、子どもが自由にのびのび遊べる公園がほしい。	22
近くに小学生が遊びやすい公園がないので、もっと増やしてほしい。	4
天候に関わらず、子どもが遊んだり、勉強したりできる居場所がほしい。	3
公園に遊具が少ないので、もっと増やしてほしい。	1
子供の少ない地域にも図書館や、学習できる場所、公園がほしい。	1
西脇市のミライエのような施設がほしい。	1

◆ 公共交通機関・道路整備について

内容	件数
歩道・通学路を整備してほしい。	10
交通網を整備してほしい。らんらんバスは市外にも行ってほしい。	1
自転車が通れる歩道がほしい。	1

◆ 安全・防犯対策について

内容	件数
通学路の安全対策を強化してほしい（標識やカーブミラー等の設置等）。	16
登下校の防犯対策を強化してほしい。	9
街灯が少なく、防犯面での不安がある。	4
見守り隊の活動は大変よいと思う。	1

◆ 医療体制について

内容	件数
夜間・休日の小児医療体制や救急の受入体制を充実させてほしい。	12
北播磨総合医療センターに救急対応がない。24時間365日体制にしてほしい。	2
紹介状がなくても、北播磨総合医療センターで受診できるようにしてほしい。	1
子どものこころの問題に対応してくれる専門病院を充実してほしい。	1

◆ 経済的支援について

内容	件数
学費や教育費・通学にかかる費用の補助を充実させてほしい。	10
医療費無料は魅力的。助かっている。	8
ひとり親家庭に対する支援を手厚くしてほしい（医療費・家賃の補助等）。	6
インフルエンザの予防接種を無料にしてほしい。	4
児童手当を充実させてほしい。子育てに必要な費用の負担を軽減させてほしい。	4
同時に保育園児でないと安くないのは不平等。3人目は一律で減額を。	1
保育料の補助が多すぎると思う。今まで払ってきた人もいるので不公平。	1
学校給食費の助成をしてほしい。	1
高校の授業料無償化を進めてほしい。	1

◆ 労働環境について

内容	件数
女性が働きながら子育てしやすい環境を整えてほしい。	6
子どもの病気等で急な休みがとりやすい職場が増えてほしい。	1
残業なく定時に帰るのが当たり前の社会になってほしい。	1
企業へ正社員採用を積極的に働きかけてほしい。	1

Ⅲ 調査結果・小学生児童

◆ その他の意見

内容	件数
地域役員、当番、PTAの負担が大きい。	8
小野市の行政に満足している。	3
小野市は自然環境に恵まれている。	1
子育てが終わっても、子どもに優しい地域であり続けられるよう協力したい。	1
警報が発令された際、保育所・子ども園・幼稚園・学校の対応を統一してほしい。	1
PTA 役員活動の時に託児システムをつくってほしい。	1
スマートフォンの利用規制を呼びかけてほしい。	1
市立の高校をつくってみてはどうか。	1
北播磨総合医療センターに隣接した所に学校と連携された保健室的な施設を。	1
防災の教育を充実してほしい。	1
リサイクルできない資源は使用しない等、資源再生の取り組みに力を入れてほしい。	1
市内での格差が激しいので、市街地周辺地区にも配慮してほしい。	1
小学生のために公民館の開放してくれたのは良かった。	1
明石市が取り組みはじめた養育費の取り組みはとてもよいと思う。	1
母親は子どもが小学生になってから、働いた方がよいと思う。	1
国として学校教育にもっとお金をかけてほしい。	1
こんなアンケートをしても何も変わらない。	1
こまめにアンケートを取って反映してくれることに感謝している。	1

小野市
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査結果報告書

平成31年3月

発行 小野市 市民福祉部 子育て支援課
〒675-1380 兵庫県小野市王子町806番地の1
TEL 0794-63-1000（代表） FAX 0794-63-1990